

SUBARU®

E-KK3

E-KK4

E-KW3

E-KW4

SUBARU
VIVIO

整備解説書

下 卷

'92.3

G5243A

SUBARU VIVIO

まえがき

本書は、**VIVIO** 整備解説書下巻としてボデー、空調システム、エレクトリカルに関する整備要領および巻末資料について説明したものです。上巻、中巻と併せて、ご熟読のうえ車両の正確・迅速な整備を実施するための資料としてご活用下さい。

本書の他に次の資料を発行しておりますので、併せてご活用くださるようお願い致します。

VIVIO	整備解説書 上巻	'92.3	G5241A
VIVIO	整備解説書 中巻	'92.3	G5242A
VIVIO	新型車解説書	'92.3	U5241A
VIVIO	新型車解説書 概要編	'92.3	U5242A
VIVIO	電気配線図集	'92.3	X5241A

なお、本書の内容は1992年3月発売の車両を基に作成してあります。車両の仕様変更等により今後の車両と内容が一致しないことがありますので、あらかじめご承知おきください。今後、仕様変更などがあつた場合には、テクニカルインフォメーションその他でご連絡いたします。

1992年3月

富士重工業株式会社

目 次

上 巻	総 説	1
	エンジン	2
中 巻	動力伝達システム	3
	シャシ	4
下 巻	ボデー	5
	空調システム	6
	エレクトリカル	7
	巻末資料 新設特殊工具一覧表 点検整備方式 サービスデータ 給油脂	8

5 ボデー

5-1 ボデー

〔1〕 フロント フード

- 構成部品3
- 整備要領4
 - (1) フロント フード.....4
 - (2) フード ロック.....4

〔2〕 ドア

- 準備品5
- 構成部品5
- 整備要領11
 - (1) フロント ドア11
 - (2) リヤ ドア12
 - (3) ドア トリム (フロント)12
 - (4) ドア ガラス&レギュレータ (フロント)13
 - (5) ドア ラッチ15
 - (6) アウタ ハンドル15
 - (7) パワー ウィンドウ スイッチ.....16

〔3〕 リヤ ゲート

- 整備要領.....17

〔4〕 パワー ウィンドウ

- 構成部品.....18
- トラブルシューティング.....19
 - (1) 回路図.....19
 - (2) トラブルチャート.....20
 - (3) リレー.....20
 - (4) ドライバ ドア モータ.....21
 - (5) パッセンジャ ドア モータ.....21
 - (6) ドライバ ドア スイッチ.....22
 - (7) サブ スイッチ24

〔5〕 シールド ガラス

- 準備品.....25
- 整備要領.....25
 - (1) フロント ウィンドウ ガラス.....25
 - (2) リヤ ゲート ガラス.....27

〔6〕 サン ルーフ

- 構成部品.....29
- トラブルシューティング.....30
 - (1) 回路図.....30
 - (2) トラブルシューティング.....30
- 整備要領.....31
 - (1) サンルーフ ガラス31
 - (2) サンルーフ モータ31

- (3) サンルーフ フレーム32

〔7〕 ボデー基準寸法および基準点

- (1) アンダ ボデー (3 ドア&5 ドア共通)33
- (2) エンジンルーム.....36
- (3) ラジエータ パネル37
- (4) フロント ガラス窓枠37
- (5) ボデー側面.....38
- (6) 室内.....42
- (7) リヤ ゲート45

5-2 ボデー外装

〔1〕 バンパ

- 構成部品.....46
 - (1) フロント バンパ47
 - (2) リヤ バンパ48

〔2〕 ドア リヤビュー ミラー

- 整備要領.....48

〔3〕 エアロ パーツ

- 整備要領.....49
 - (1) リヤ スポイラ49
 - (2) サイド スポイラ49

〔4〕 エア インテーク グリル

- 整備要領.....50

5-3 ボデー内装

〔1〕 インストルメント パネル

- 構成部品.....51
- 整備要領.....52

〔2〕 フロント シート

- 整備要領.....53

〔3〕 リヤ シート

- 整備要領.....54
 - (1) クッション.....54
 - (2) バック レスト (一体式)54

〔4〕 シートベルト

- 構成部品.....55
- 整備要領.....56
 - (1) フロント シートベルト56
 - (2) リヤ シートベルト56

〔5〕 エアバッグ

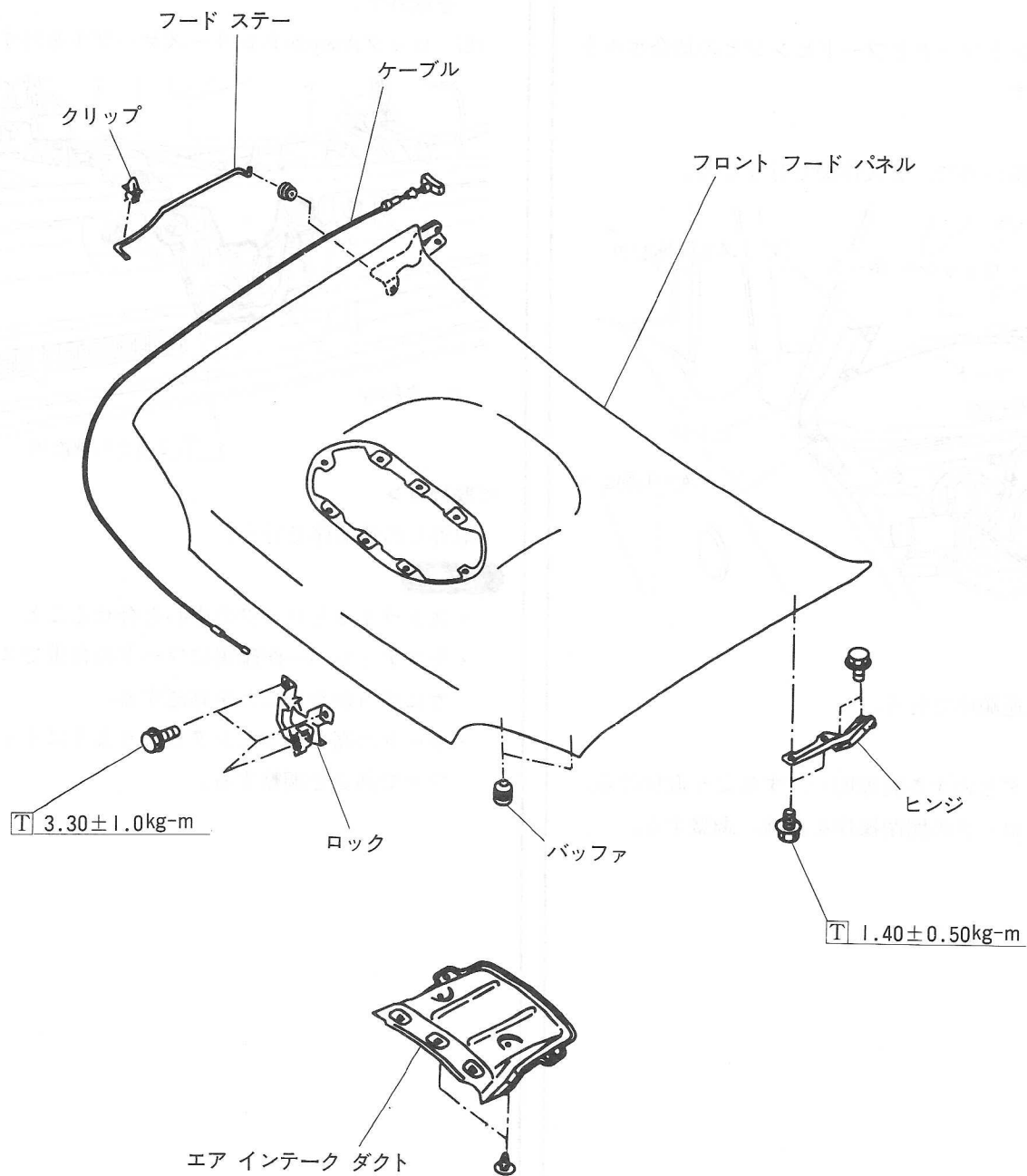
- 準備品.....57
- 構成部品.....57
- 整備要領.....57

(1) エアバッグ取扱いおよび作業上の注意.....	57
(2) ステアリング ホイールパッド.....	59
(3) ステアリング ホイールパッドの廃却.....	61
〔6〕 トリム類.....	
■ 構成部品.....	63
■ 整備要領.....	65

(1) リヤ クォータ トリム.....	65
(2) ピラー トリム	66
(3) ルーフ トリム	66
〔7〕 フロアマット.....	
■ 整備要領.....	67
〔8〕 インテリア アタッチメント.....	
■ 整備要領.....	68



〔1〕 フロント フード ■ 構成部品



■ 整備要領 (1) フロント フード

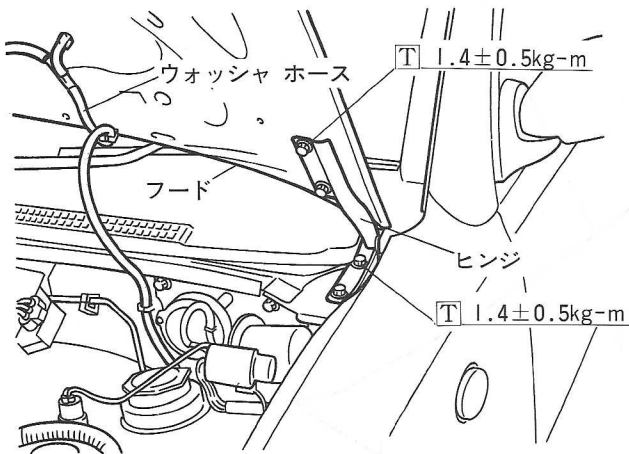
脱着

<取外し>

- (1) フロントフードを開け、ウォッシャホースを外す。
- (2) フロントフードとフードヒンジとの結合ボルトを取外す。

注意

フードは重いので、2人作業で行うこと。



<取付け>

取外しの逆順序で行う。

注意

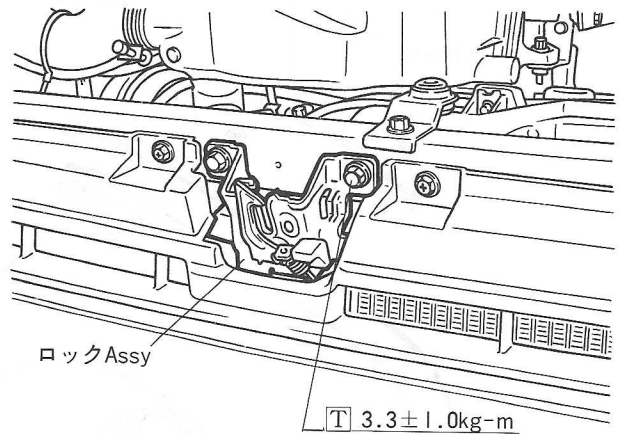
- ・フェンダとのすき間等均一にするよう取付ける。
- ・フードロックの開閉操作を点検，調整する。

(2) フード ロック

脱着

<取外し>

- (1) フロントフードをあけ、ロックAssy取付ボルトを取外す。
- (2) ロックAssyからリリースケーブルを外す。



<取付け>

取外しの逆順序で行う。

注意

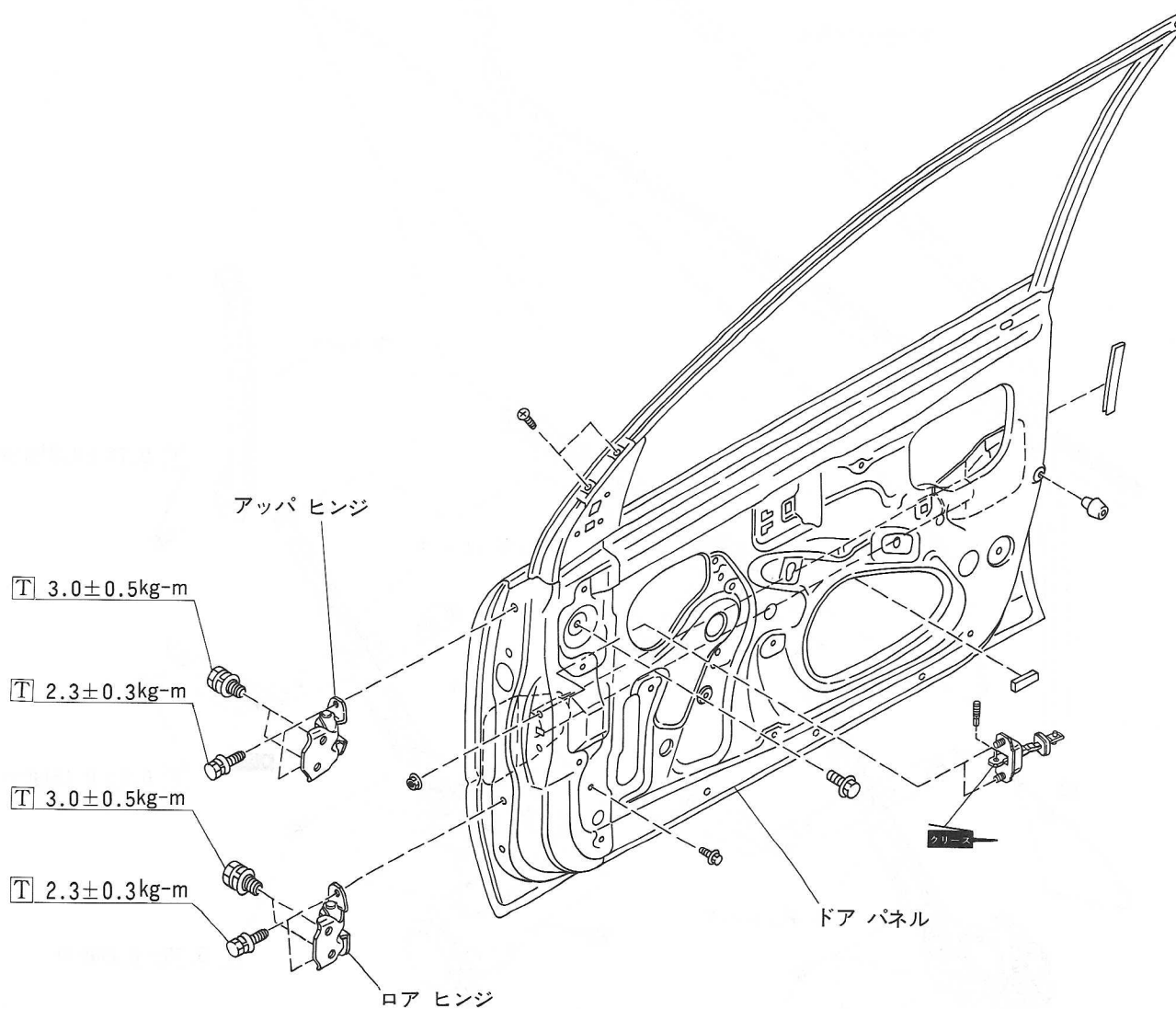
- ・ストライカとロックの中心を合せること。
- ・セフティレバーが確実にフードの自重でストライカにひっかかることを確認する。
- ・フードの高さがフェンダと合うように4ヶのバッファで高さを調整する。

〔2〕 ドア ■ 準備品

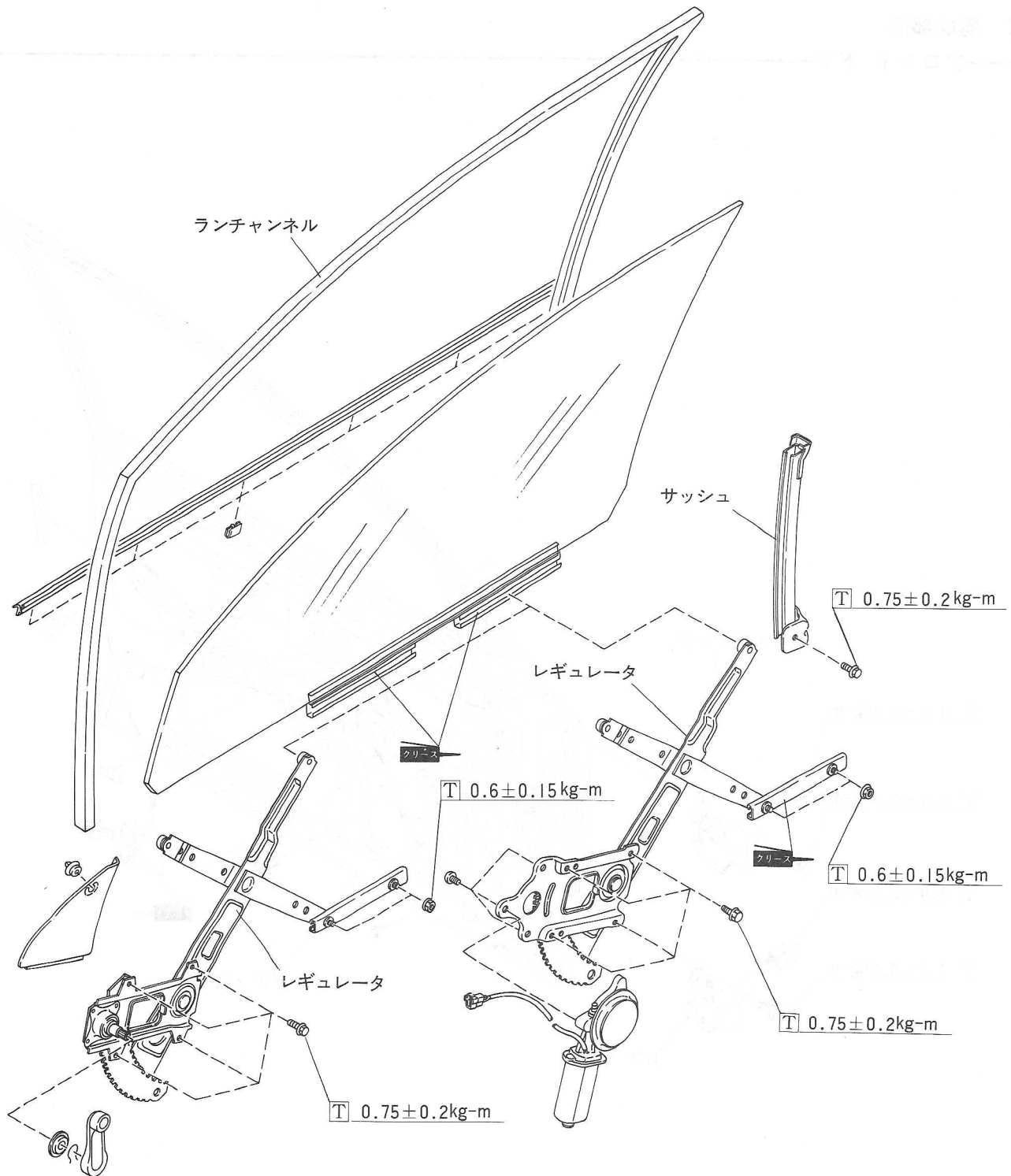
ST	925580000	プーラ (クリップ)	トリムパネル取付クリップの取外しに使用する。
----	-----------	------------	------------------------

■ 構成部品

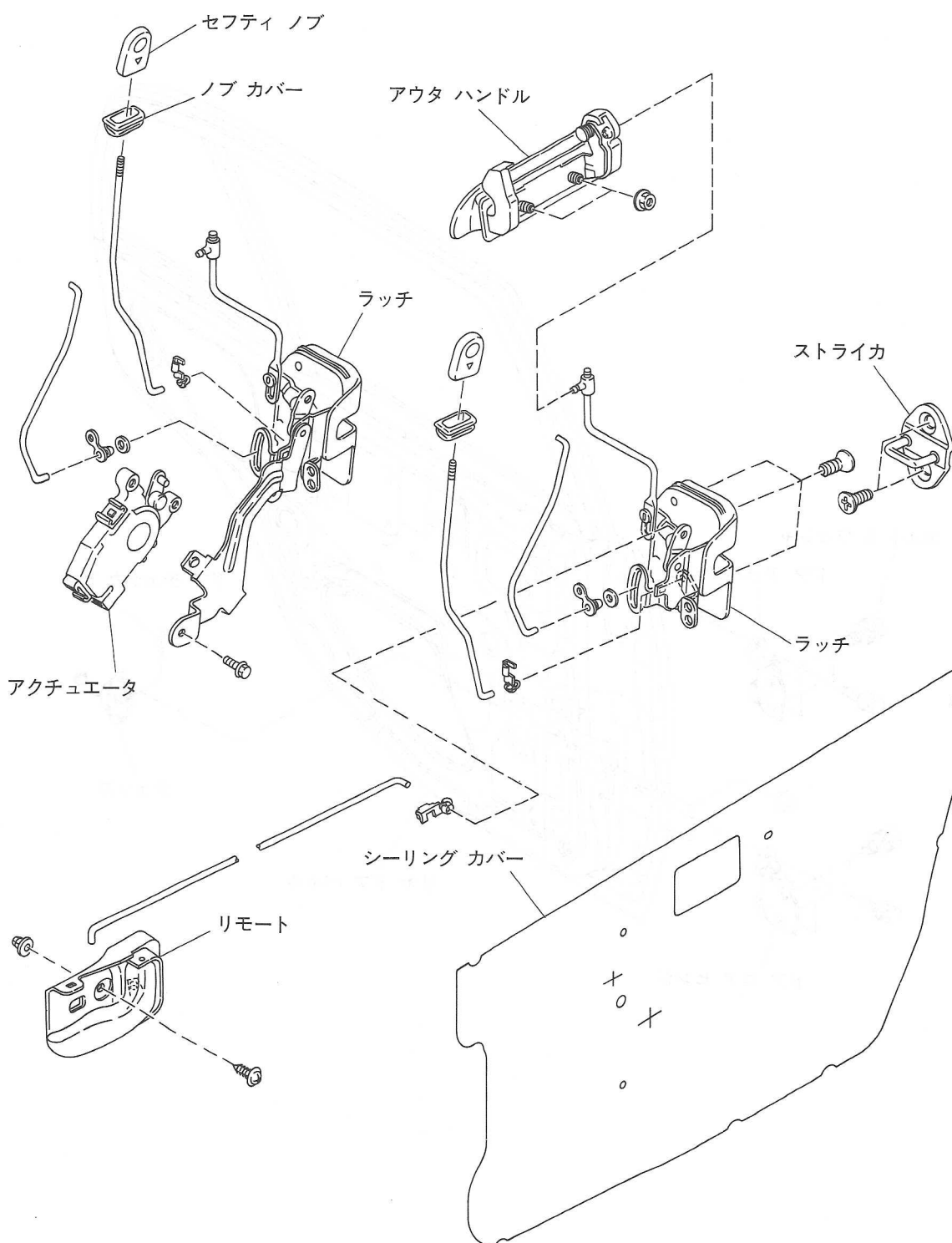
フロント ドア



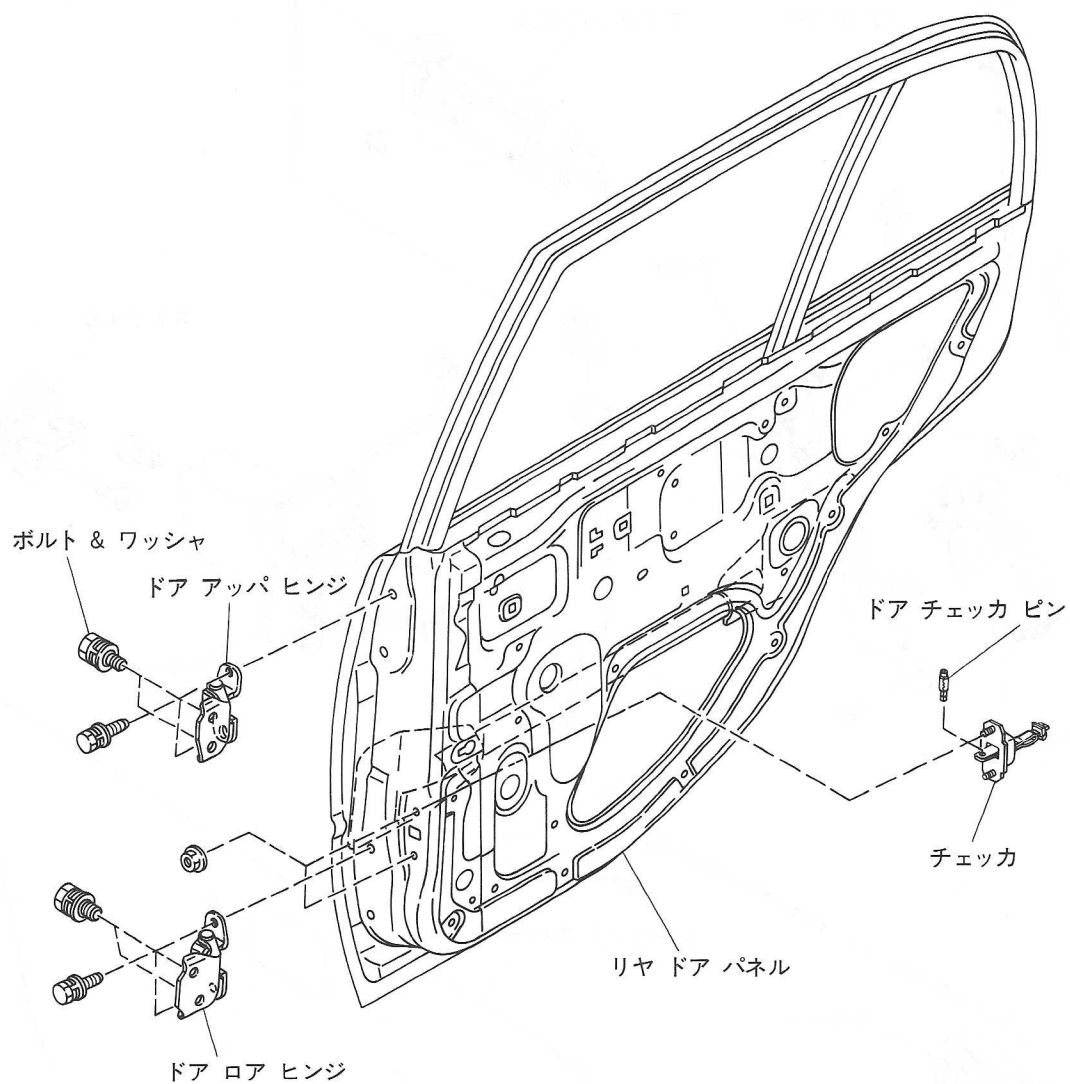
フロント ドア



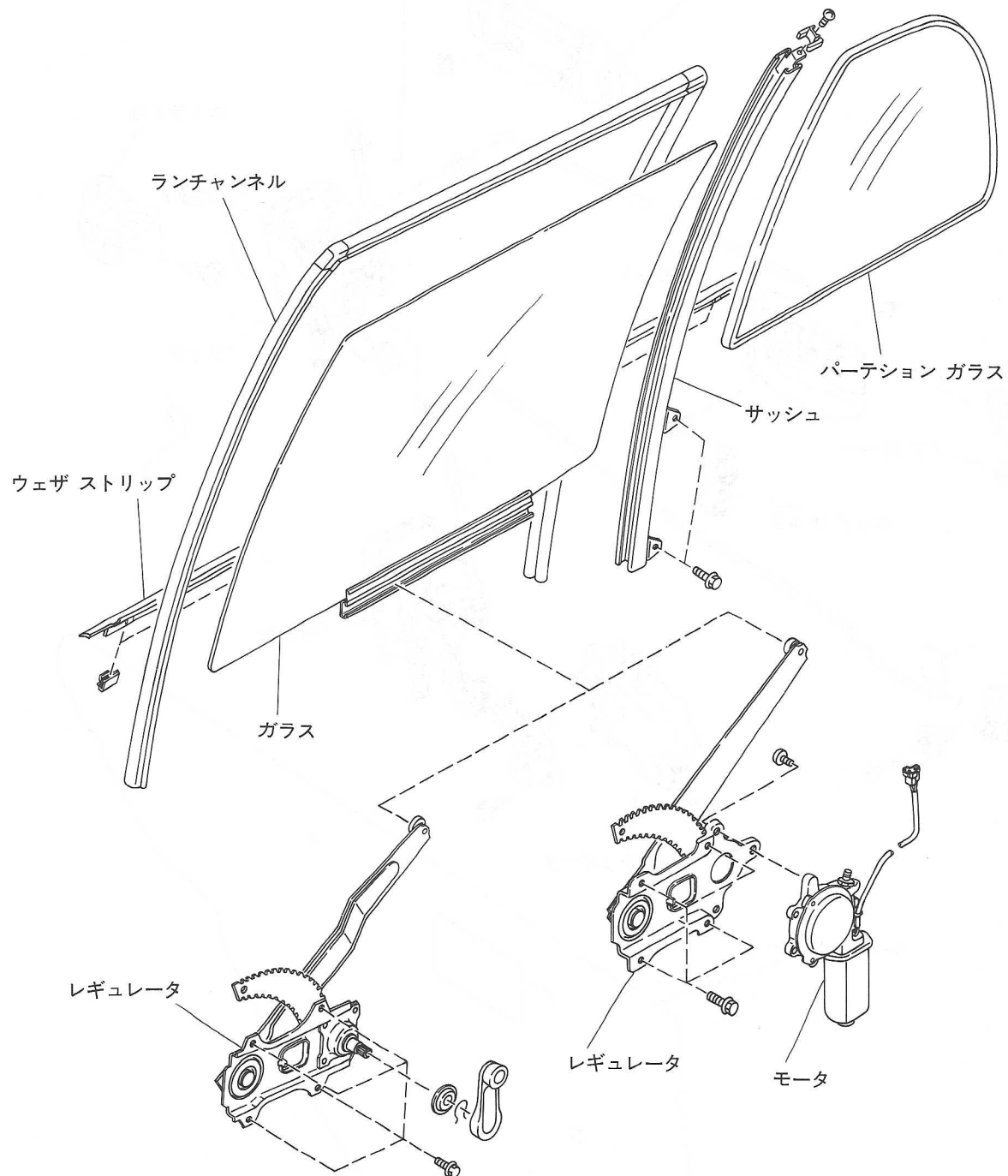
フロント ドア



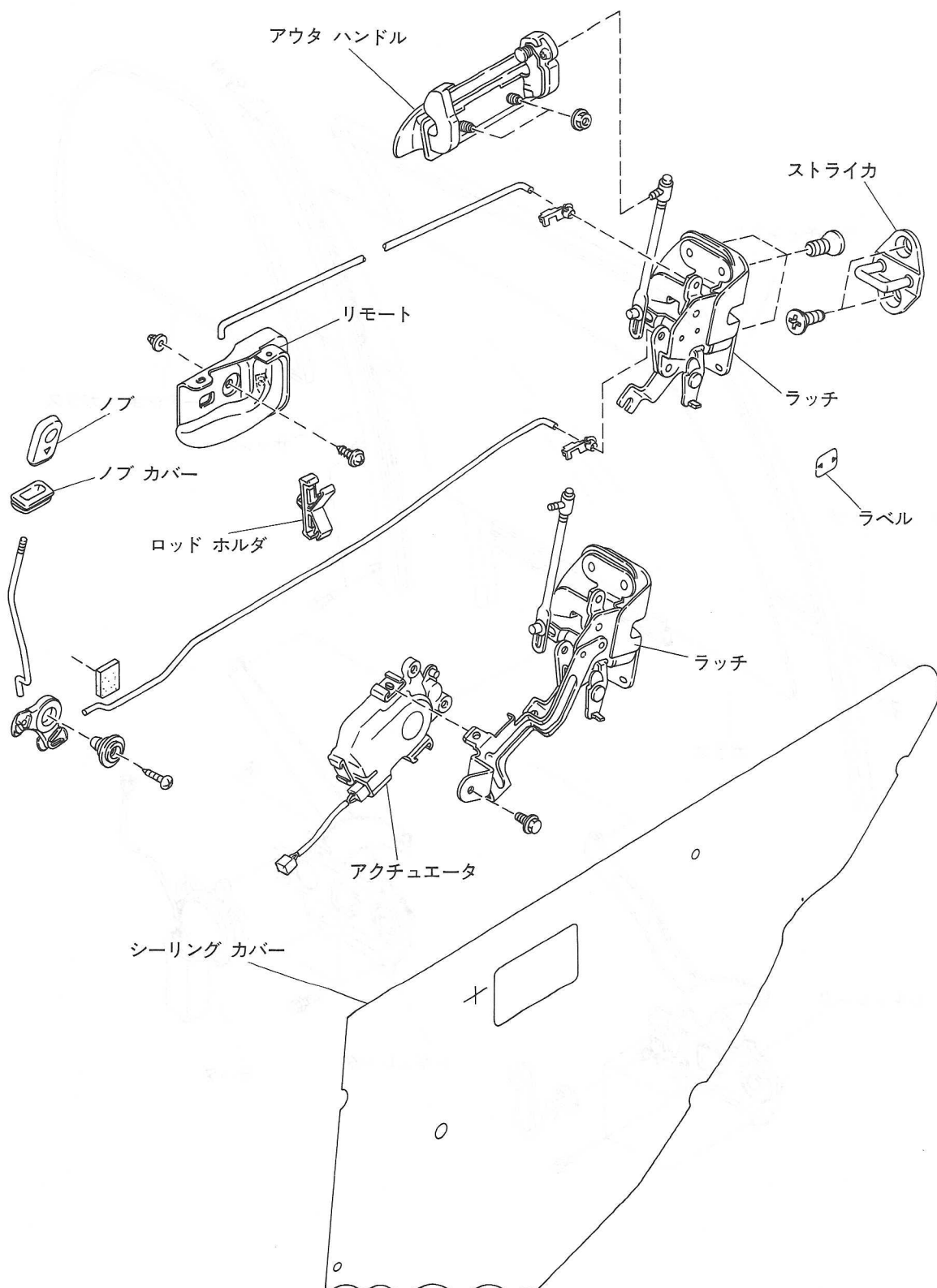
リヤ ドア



リヤ ドア



リヤ ドア

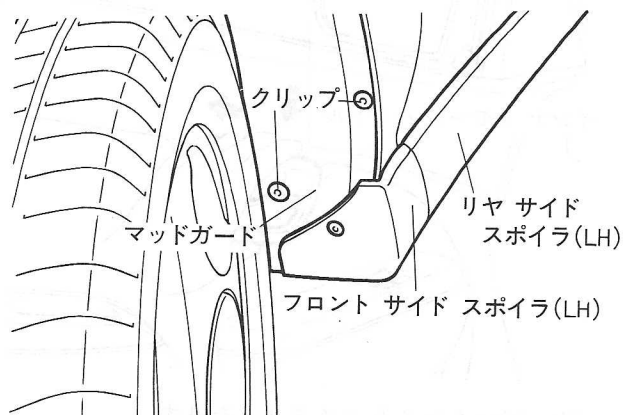


■ 整備要領 (1) フロント ドア

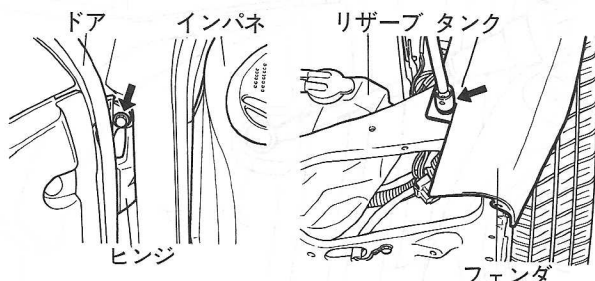
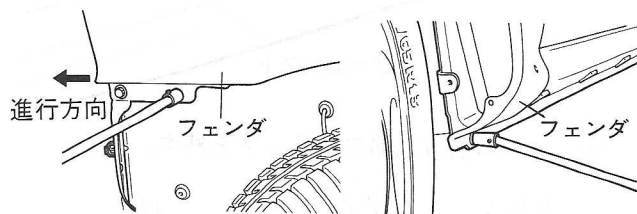
脱着

<取外し>

- (1) フロントバンパを取外す。
- (2) サイドスポイラを取外す。
- (3) マッドガードを取外す。



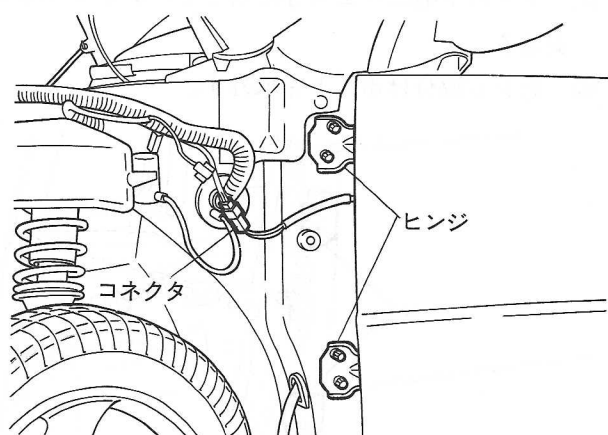
- (4) サイドフラッシュランプを取外す。
- (5) フェンダ取付けボルトを取外す。
 - ・フェンダの前方下端、後方下端、後方上部（室内側より外す）、前方上部の取付ボルトを取外す。



- (6) ドア内部よりのハーネスコネクタを分離する。
- (7) チェッカピンを上方に打抜く。

注意

- ・ボデー，ドアにウェスを当てて傷付けないようにする。
- (8) ドアの下端にウェス等を当ててジャッキ等で支える。
- (9) ドアヒンジの取付ボルト（ボデー側）を取外す。



<取付け>

取外しの逆順序に行う。

<建付け調整>

- (1) 前後および上下方向の調整は，取付ボルトで行う。
- (2) ドアの開閉方向の調整は，ドアストライカをゆるめて行う。

(2) リヤ ドア

脱着

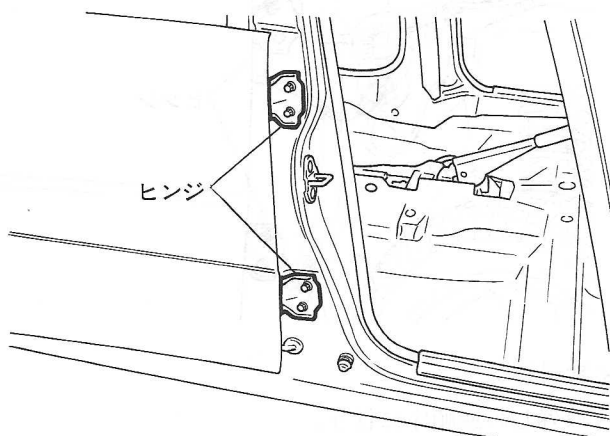
<取外し>

- (1) リヤドアトリムを外す。
- (2) ボデー側のハーネスのコネクタを分離する。
- (3) チェッカピンを打抜く。

注意

ボデー、ドアを傷付けないようウェス等をボデー、ドアに当てがって行う。

- (4) ドアの下端にウェス等を当てて、ジャッキ等で支える。
- (5) ヒンジ取付けボルトを取外す。



<取付け>

取外しの逆順序に行う。

<建付け調整>

- (1) 前後、および上下方向の調整は、取付ボルトで行う。
- (2) ドアの開閉方向の調整は、ドアストライカをゆるめて行う。

(3) ドア トリム（フロント）

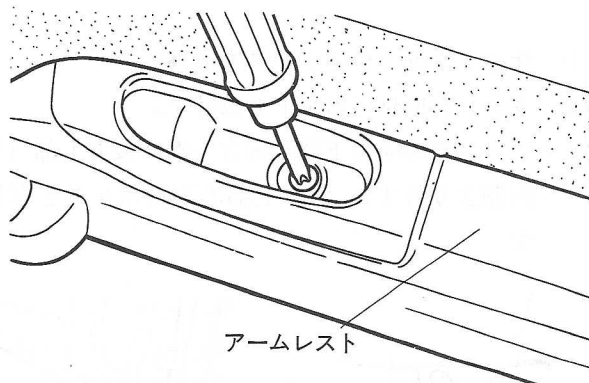
脱着

<取外し>

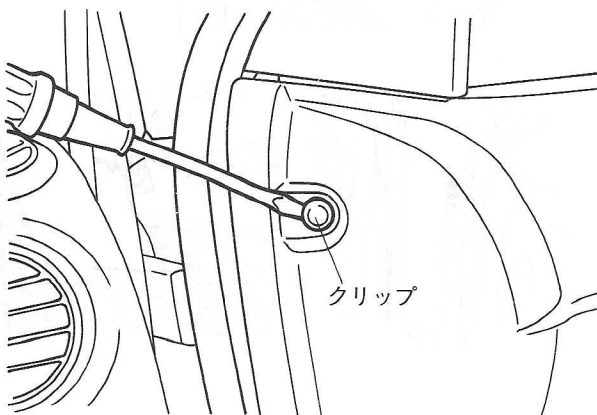
- (1) インナリモートハンドルカバーを外す。



- (2) アームレストのスクリュを外す。



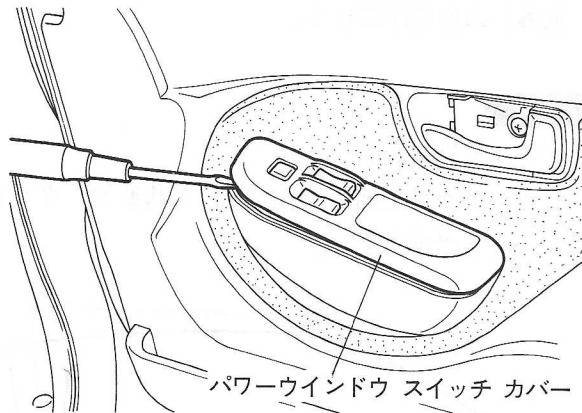
- (3) トリム前方上隅のクリップを外す。



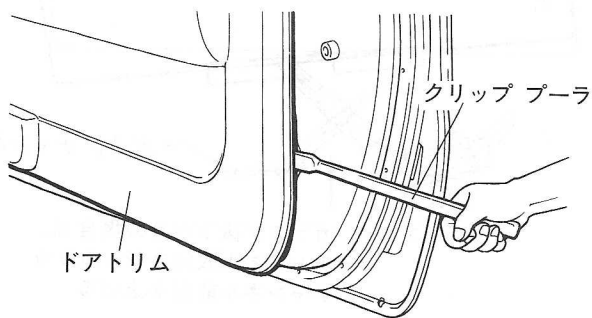
(4) ドアガラス&レギュレータ(フロント)

脱着

- (4) パワーウインドウスイッチカバーを外す。



- (5) クリッププーラを使用して、トリムを取外す。

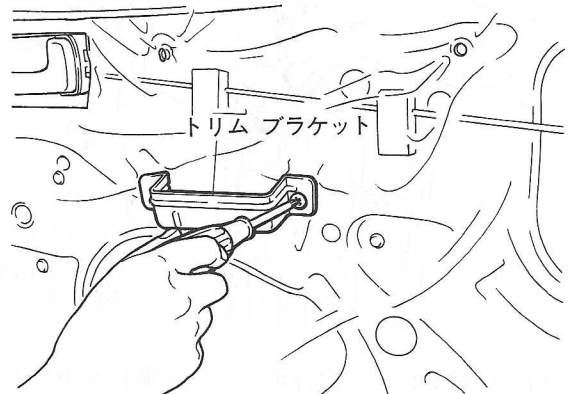


【注記】

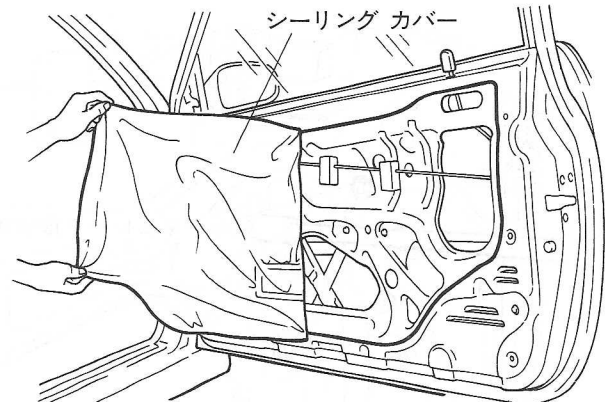
リヤドアガラス&レギュレータはフロントドアに準ずる。

＜取外し＞

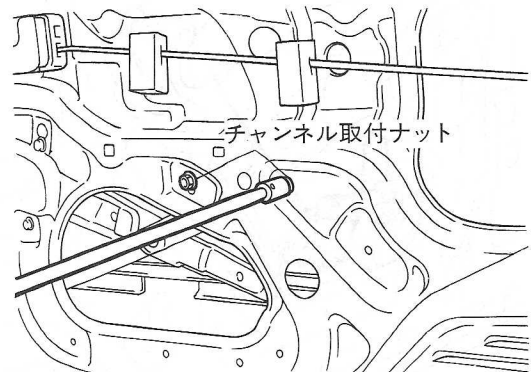
- (1) ドアトリムを取外す。
(2) トリムブラケットを取外す。



- (3) シーリングカバーを丁寧に外す。

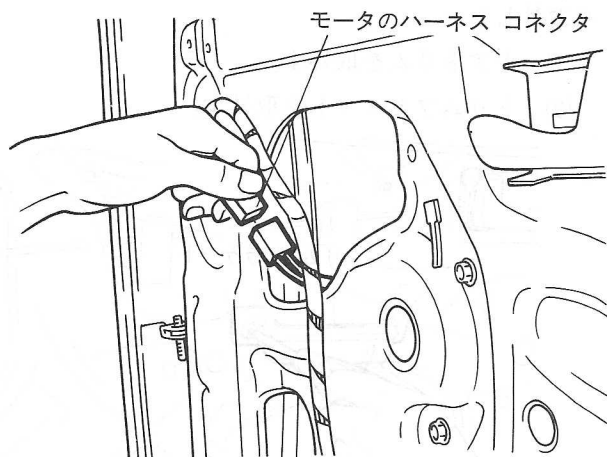


- (4) ガラスを全開より100mm下にさげて、レギュレータのチャンネルの取付けナットを取外し、チャンネルをパネルより外す。

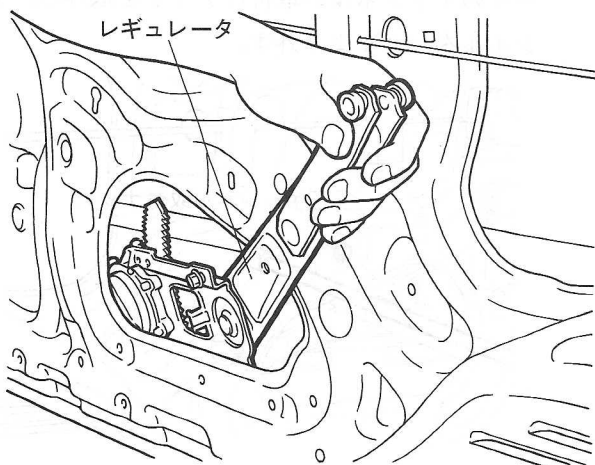
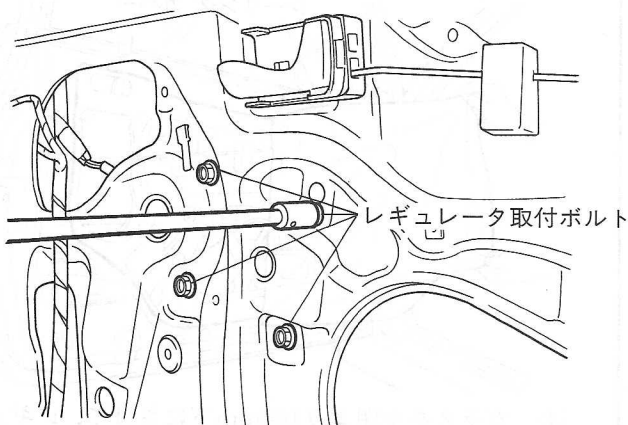


- (5) ガラスを前ころびにして、取出す。

- (6) パワーウインドウのモータのハーネスコネクタを分離する。



- (7) レギュレータ取付ボルト（4個）を取外し、レギュレータを取出す。



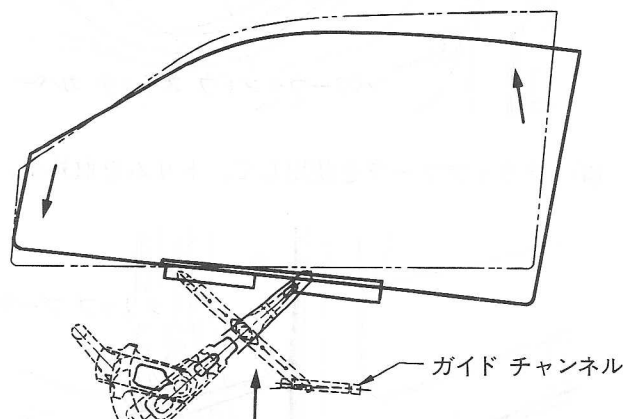
<取付け>

取外しの逆順序に行う。

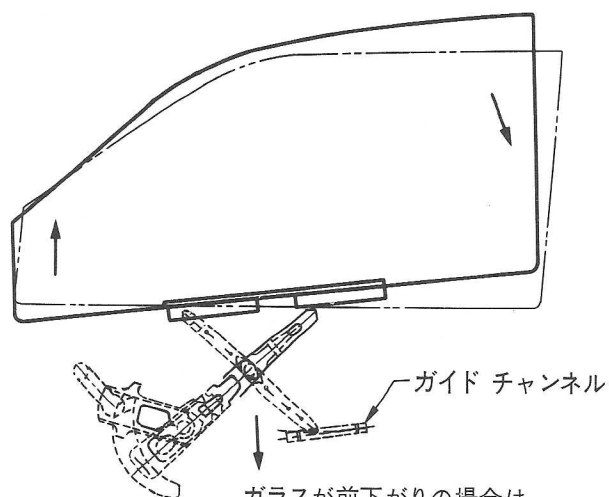
注意

・ガラス姿勢調整

ガラスが最上部まで上りきった状態で、ガイドレールを微調整する。



ガラスが後下がりの場合は、チャンネル取付ネジをゆるめチャンネル前部を上げる。

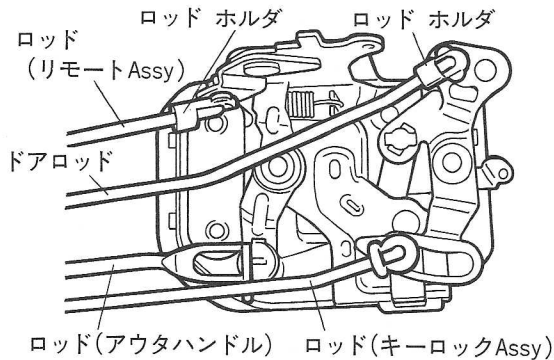


ガラスが前下がりの場合は、チャンネル取付ネジをゆるめチャンネル前部を下げる。

(5) ドア ラッチ

脱着

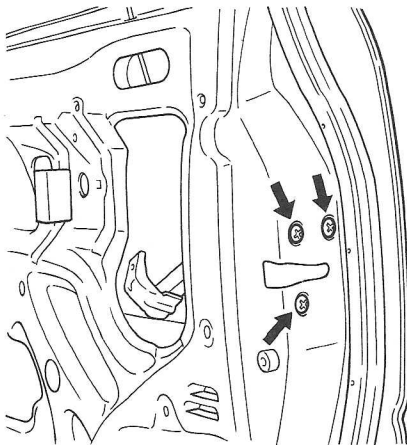
- (1) ドアトリムを取外す。
- (2) トリムブラケットを取外す。
- (3) シーリングカバーを取外す。
- (4) ウィンドウガラスを完全にしめる。
- (5) ラッチからリモートAssyからのロッドを取外す。
- (6) ラッチからキーロックAssyからのロッドをロッドホルダをまわしてジョイントより分離する。
- (7) ラッチからアウタハンドルからのロッドをジョイントより分離する。



- (8) ラッチを締付けているスクリュを外し、作業孔よりラッチを取出す。

注意

ラッチスクリュは取外し後、再使用しない事。



<取付け>

取外しの逆順序に行う。

(6) アウタ ハンドル

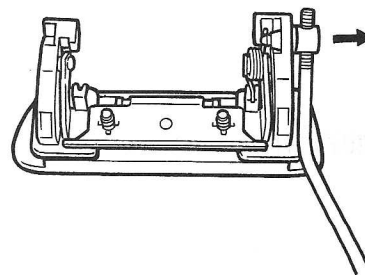
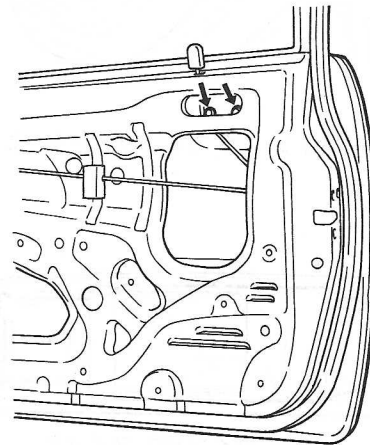
脱着

<取外し>

- (1) ドアトリムを取外す。
- (2) トリムブラケットを取外す。
- (3) シーリングカバーを取外す。
- (4) ウィンドウガラスを完全にしめる。
- (5) ドアラッチからロッド (アウタハンドル) を分離する。
- (6) アウタハンドル取付ナットを取外す。
- (7) ドアの外側よりアウタハンドルを取出す。

注意

ドアの外板を傷付けないよう注意する。



<取付け>

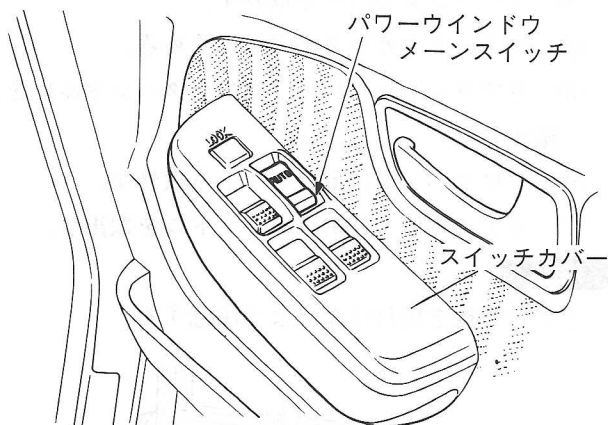
取外しの逆順序に行う。

(7) パワーウィンドウ スイッチ(運転席側)

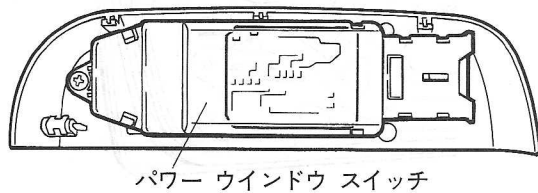
脱着

<取外し>

- (1) ドアトリムよりパワーウィンドウスイッチカバーを外す。



- (2) パワーウィンドウスイッチカバーよりスイッチを取外す。



<取付け>

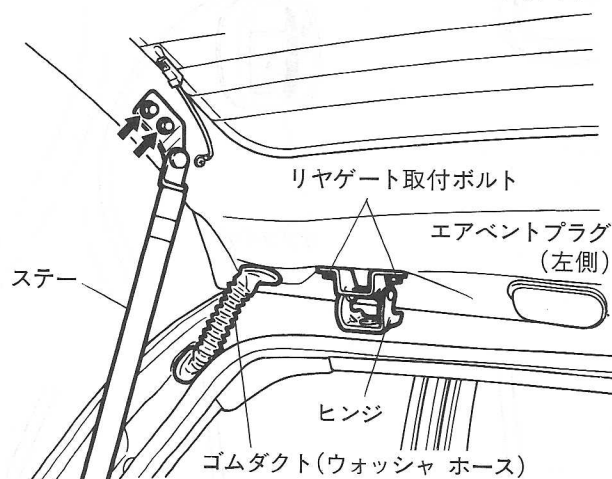
取外しの逆順序に行う。

〔3〕 リヤ ゲート ■ 整備要領

脱着

<取外し>

- (1) 左側エアベントプラグを外して、取付穴からビニールホースの結合部を外す。
- (2) リヤウインドウシールドウォッシャのゴムダクトを外して、ビニールホースをパネルより抜く。



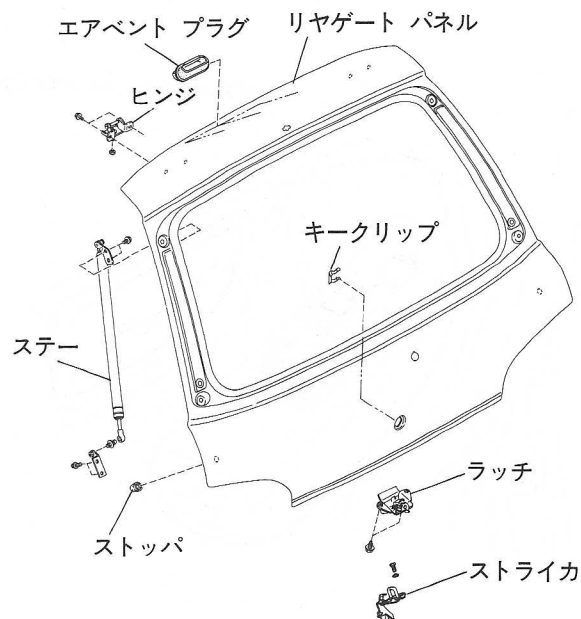
- (3) トリムカバー（リヤゲート）を外し、リヤワイパ、アース、リヤデフォグの結合を分離した後、ハーネス（右側）にワイヤ等を接続する。

注意

- ・ハーネス結合部を分離した後、ハーネスより十分長いワイヤまたは紐等を結わえて、引き抜きワイヤまたは紐をリヤゲートに残しておくと、ハーネスを入れる時、作業が容易である。
- (4) ダンパステー（右）をリヤゲートから外し、ハーネスをリヤゲートから抜き出す。

注意

- ・ハーネスをリヤゲートパネルより引き抜く際、ステアの取付ボルトおよびガラスのクリップ先端に引掛って抜けにくい場合は、コネクタとハーネスを分離すると、スムーズに抜ける。



- (5) ダンパステー（左）をリヤゲートから取外す。

注意

- ・リヤゲートを二人で支えながら作業する。
- (6) リヤゲートを二人で充分支えながら、リヤゲート取付ボルト（左右各2ヶ）を取外し、リヤゲートを外す。

<取付け>

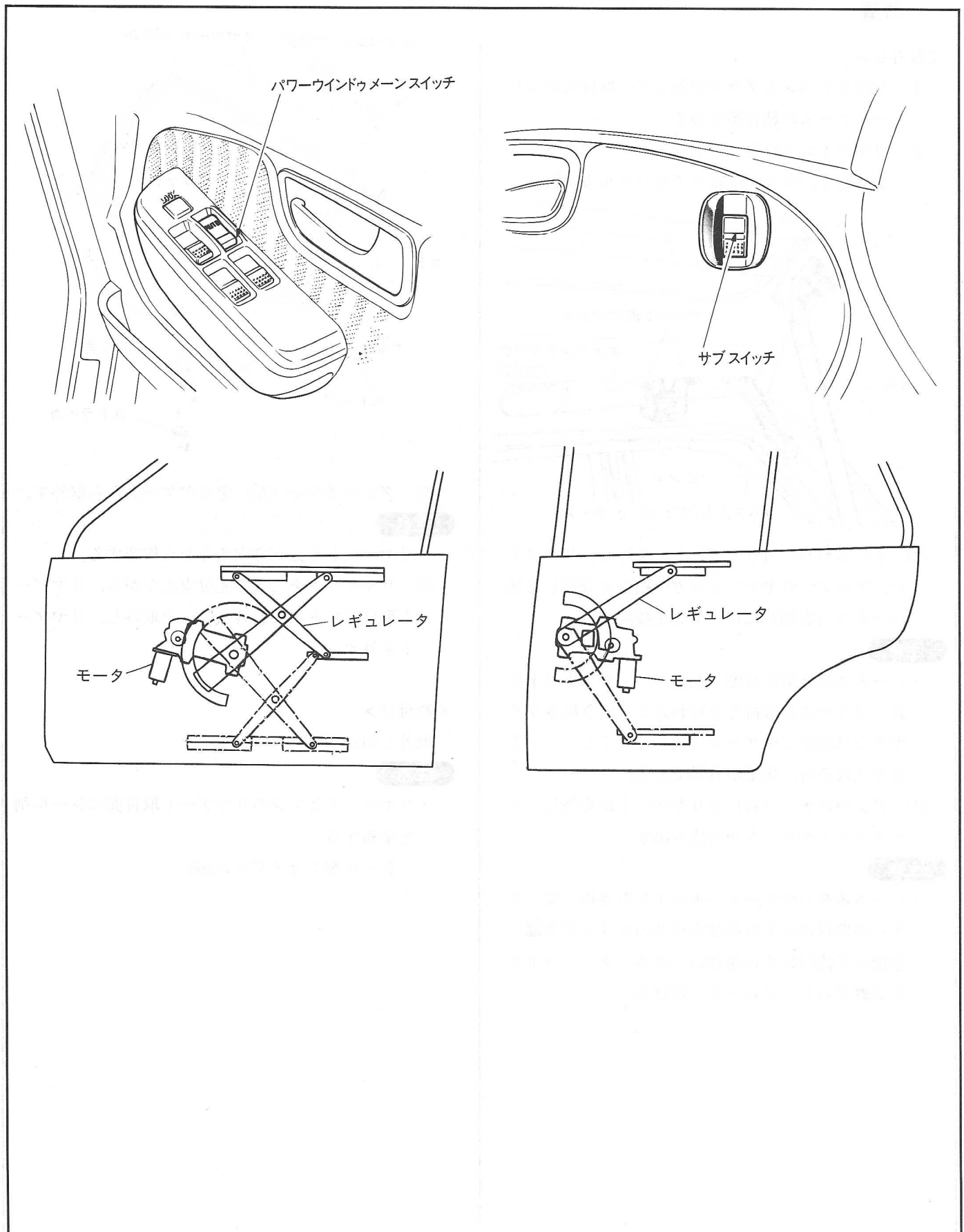
取外しの逆順序に行う。

注意

- ・リヤゲートヒンジのリヤゲート取付面にシール剤を塗布する。

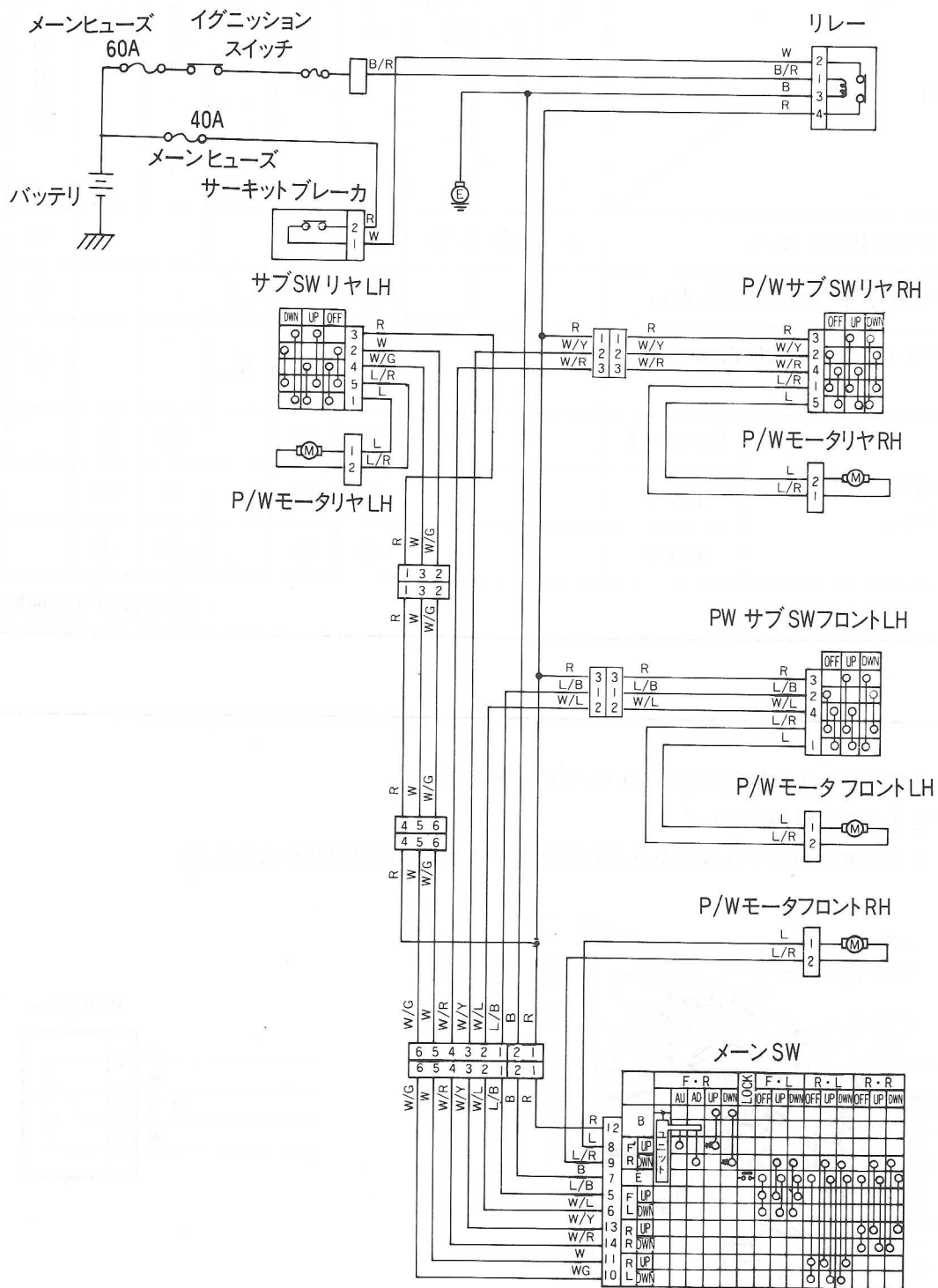
シール剤：セメダイン366

〔4〕 パワー ウィンドウ ■ 構成部品



■ トラブルシューティング (1) 回路図

<パワーウィンドウ 5ドア>



(2) トラブル チャート

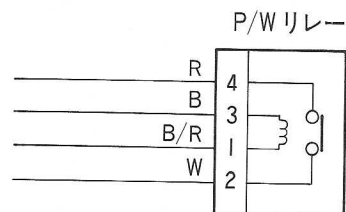
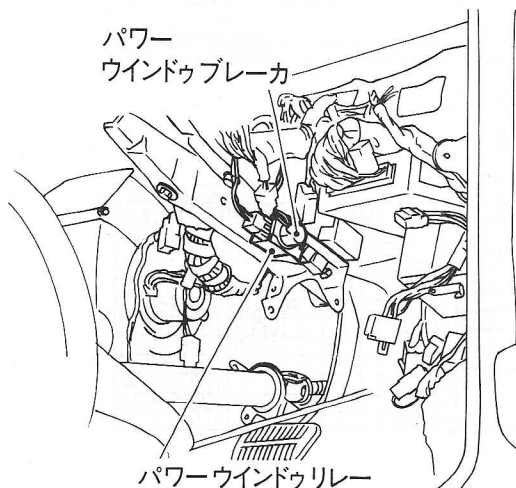
点検項目 不具合項目		バッテリーの充電状態	ヒューズの熔断 メインヒューズボックス(40A)	サーキットブレーカ パワーウィンドウリレー・	ドライバ ドアスイッチ	各パッセンジャ ドアスイッチ	ドライバ ドアモータ	各パッセンジャ ドアモータ	各ウィンドウレギュレータ	ドライバ ドアスイッチの入力点検	アースの不良	コードの断線及び端子の接続状態
全てのウィンドウが作動しない。		①	②	③	④					⑤	⑥	⑦
ドライバ ドアウィンドウのみ作動しない					①		②			③		⑦
ドライバ ドアウィンドウのAUTOが作動しない。					①		②			③		⑦
パッセンジャ ドアのウィンドウが作動しない。	Lフロント				①	②		③	④			⑦
	Lリヤ				①	②		③	④			⑦
	Rリヤ				①	②		③	④			⑦

○内の数字は点検順序を示す。

(3) リレー

点検

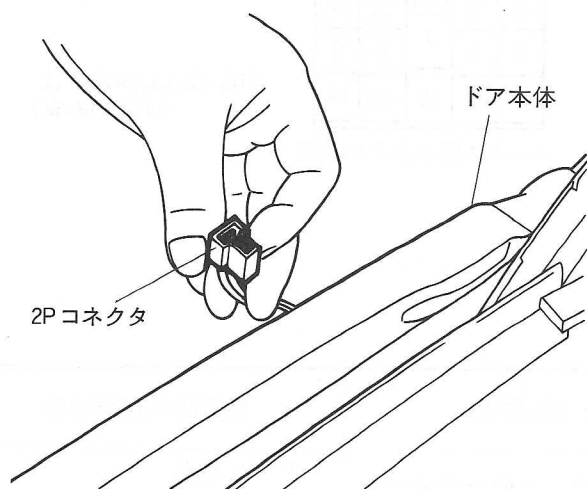
- (1) クラッチブラケットに取付けられているリレーを取外す。
- (2) 端子2と4の間に導通がないこと。
- (3) 端子1と3の間にバッテリー電圧を与えた時に端子2と4の間に導通があること。



(4) ドライバ ドア モータ

点検

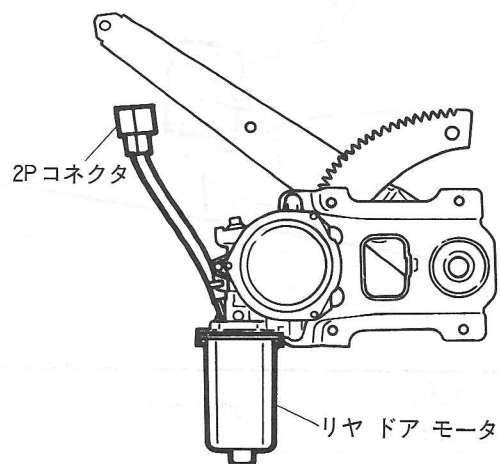
- (1) フロントドア (RH) からトリムを取外す。
- (2) 2Pコネクタの接続を外す。
- (3) 端子1と2の間にバッテリー電圧を与えた時、モータが異音なくめらかに回転することを確認する。



(5) パッセンジャ ドア モータ

点検

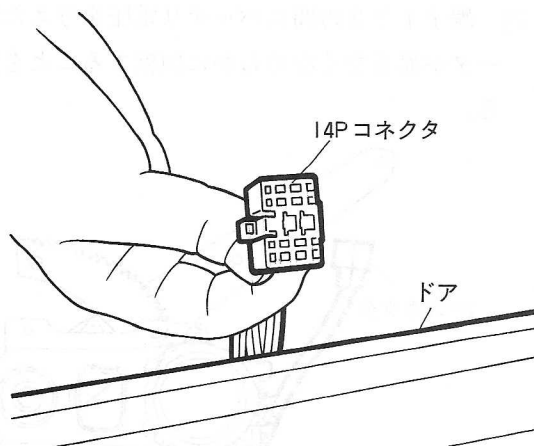
- (1) パッセンジャドアからドアトリムを取外す。
- (2) 2Pコネクタの接続を外す。
- (3) 端子1と2の間にバッテリー電圧を与えた時、モータが異音なくめらかに回転することを確認する。



(6) ドライバ ドア スイッチ

入力点検

- (1) フロントドア (RH) からドアトリムを取外す。
- (2) メーンスイッチから14Pコネクタの接続を外す。



空	空	×	空	空
5	6	7	8	9
10	11	12	13	14

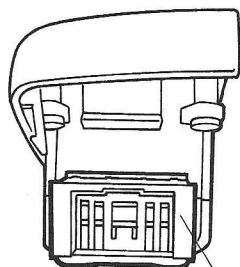
ハーネス側コネクタ配列

(10, 11, 13, 14端子は
5ドアのみ有)

No.	点検端子	測定条件	結果 (正常時)	異常時の点検項目
1	7	常時	点検端子とアース間に導通があること。	・アース不良 ・コードの断線及び端子の接続状態
2	12	イグニションスイッチ "ON"	点検端子とアース間にバッテリー電圧があること。	・ヒューズボックスの40Aヒューズの熔断 ・パワーウィンドウサーキットフレーカ, リレーの不良 ・コードの断線及び端子の接続状態
3	7, 8, 9, 12,	端子8と12(9と12), 端子7と9(7と8)を短絡し, イグニションスイッチを "ON" にする。	ドライバドアモータが上昇(下降)作動すること。	・ドライバドアモータ不良 ・コードの断線及び端子の接続状態
4	5, 6, 7, 12,	端子5-12(6-12), 端子6-7(5-7)を短絡し, イグニションスイッチを "ON" にする。	フロントドア(LH)のモータが上昇(下降)作動すること。	・フロントドア(LH)のモータ不良 ・フロントドア(LH)のスイッチ不良 ・コードの断線及び端子の接続状態
5	7, 10, 11, 12,	端子11-12(10-12), 端子7-10(7-11)を短絡し, イグニションスイッチを "ON" にする。	リヤドア(LH)のモータが上昇(下降)作動すること。	・リヤドア(LH)のモータ不良 ・リヤドア(LH)のスイッチ不良 ・コードの断線及び端子の接続状態
6	7, 12, 13, 14,	端子12-13(12-14), 端子7-14(7-13)を短絡し, イグニションスイッチを "ON" にする。	リヤドア(RH)のモータが上昇(下降)作動すること。	・リヤドア(RH)のモータ不良 ・リヤドア(RH)のスイッチ不良 ・コードの断線及び端子の接続状態

単体点検

- (1) ドアトリムよりパワーウィンドウスイッチカバーを外す。
- (2) コネクタを分離し、スイッチの端子間の導通を点検し、○—○間のみ導通があることを確認する。



スイッチ側コネクタ

空	空	空	空	空
9	8	7	6	5
14	13	12	11	10

スイッチ側コネクタ配列

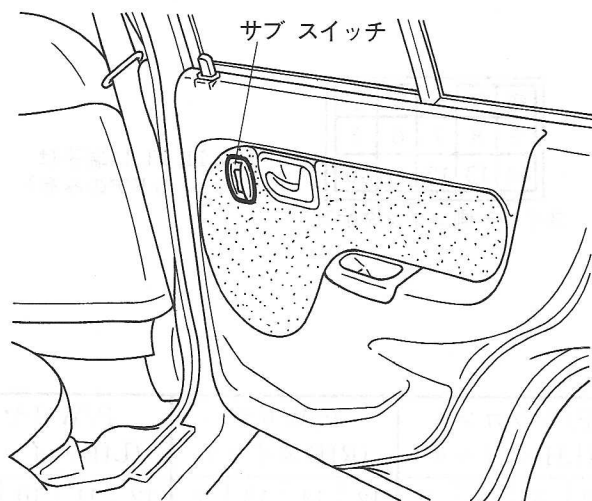
(10, 11, 13, 14端子は
5ドアのみ有)

ウインドウ スイッチ		P/Wフロント (RH) スイッチ				P/Wフロント (LH) スイッチ				P/Wリヤ (RH) スイッチ				P/Wリヤ (LH) スイッチ			
		12	8	9	7	12	5	6	7	12	14	13	7	12	11	10	7
ノーマル	UP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	OFF		○	○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○
	DOWN	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ロック	UP	○	○	○	○	○	○			○	○			○	○		
	OFF		○	○	○		○	○			○	○			○	○	
	DOWN	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	

(7) サブ スイッチ

点検

- (1) ドアトリムを取外す。
- (2) 各ポジションでの端子間の導通を点検し、
○—○間のみ導通があることを確認する。



スイッチ側コネクタ端子配列(リヤLH)

3	2	4	5	1
---	---	---	---	---

接続表

端子 \ 切替	3	2	4	5	1
UP	○		○	○	○
OFF		○	○	○	○
DOWN	○	○		○	○

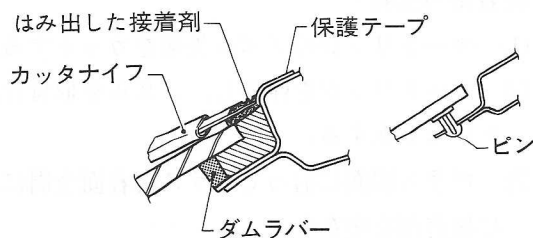
〔5〕 シールド ガラス ■ 準備品

工 具	_____	ウインドウシールドナイフ (あるいはピアノ線)	ウインドウシールド切断用
	_____	シーライトガン	接着剤塗布用
油 脂 その他	_____	補修用接着剤セット ・ 1 液型ウレタン接着剤 カートリッジ ・ ガラス、ボデー兼用プライマ	サンスター製品 No.580 サンスター製 No.435-580
	_____	吸引ゴム盤	ガラス保持用

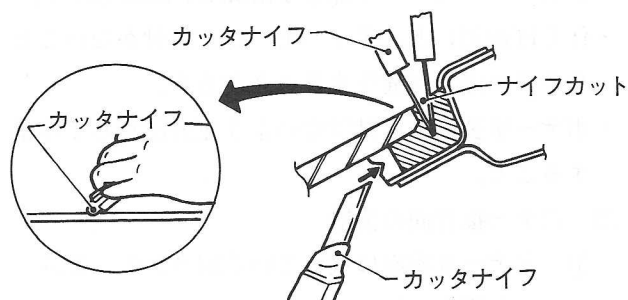
■ 整備要領 (1) フロント ウィンドウ ガラス 脱着

< 取外し >

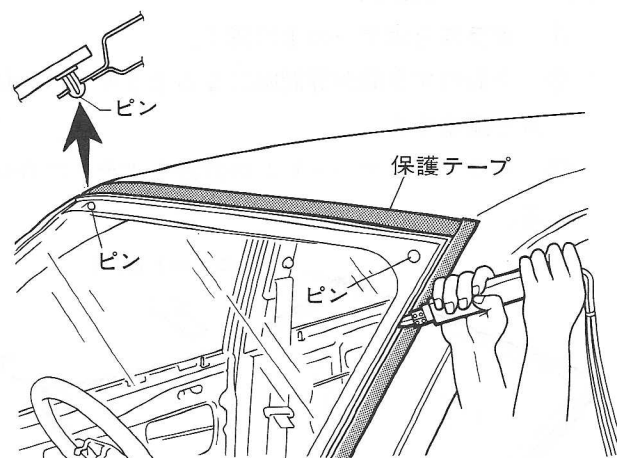
- (1) ワイパームを取外す。
- (2) フロントウィンドウモールアップを外す。
- (3) フロントウィンドウモールLH, RHを取外す。
- (4) カウルパネルを取外す。
- (5) ガラスを取外す。
 - ① ボデーに傷が付かないように保護テープを貼る。
 - ② 接着剤部に筆等を用いて石鹼水を十分に塗布する。(刃物のすべりを良くするため)
 - ③ はみ出している接着剤をカッタナイフで除去する。



- ④ 接着剤にナイフカットを入れる。(ホットウィンドウナイフの動きを容易にするため)



- ⑤ ホットウィンドウシールドナイフを用いて接着層を切断し、ピンのアンカ部を穴から外し、ガラスを取りはずす。



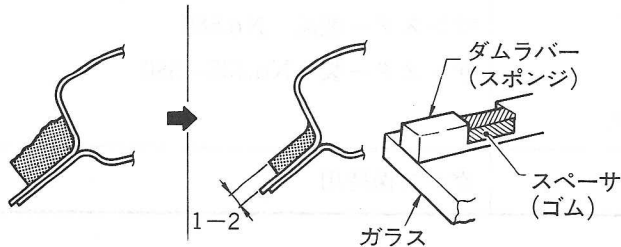
注意

- ・ ピアノ線で行う場合は、車体に傷をつけぬように注意する。

脱着

<取付け>

- (1) カッタナイフ等でボデー側に固着している接着層を削り、平滑な面にし、全周を約1～2mmの厚さに仕上げる。



注意

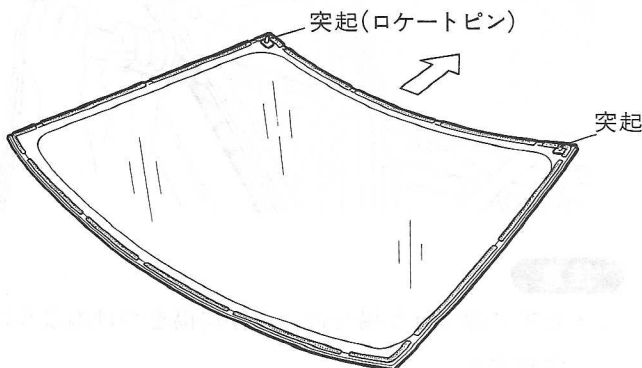
- ・ アップモール取付部は1mm以下の厚さに仕上げる。
- ・ ダムラバー・スペーサ部も1mm以下に仕上げる。
- ・ 仕上げが悪いと、アップモールが組付かないことやガラス浮きが発生することがある。
- ・ ボデー塗装面を傷付けないよう充分注意して作業すること。

(2) ボデー接着面の清掃

- ① ボデー接着面に残っている削りかす、ごみ、ほこり等をきれいに除去する。
- ② ボデー接着面、接着層上面をアルコールまたは白ガソリン等の溶剤できれいに清掃する。

(3) ガラスの位置決め

- ① ガラスをボデーの上に置く。
- ② 全周のすき間が等間隔になるようガラスの位置を調整する。
- ③ ガラスのロケットピンの位置をボデーに合わせる。

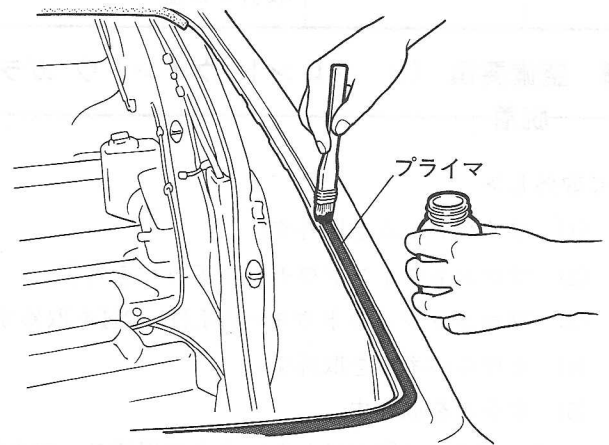


(4) ガラスの清掃

- ① ボデーからガラスをおろす。
- ② ガラスの接着面をアルコールまたは白ガソリンできれいに清掃する。

(5) プライマの塗布

- ① 刷毛を用いてプライマをガラス接着面に塗布する。
- ② 同様にボデー接着面に塗布する。

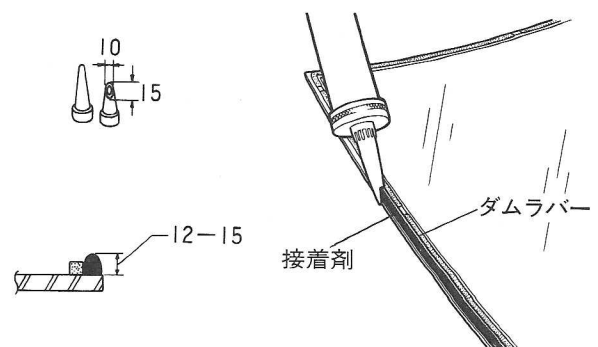


注意

- ・ ボデー塗布面、インパネ、インナトリム等にプライマをこぼすと拭きとりが困難なのでマスキングすること。
- ・ 塗布後、約10分間程度自然乾燥させること。
- ・ プライマ塗布面に絶対に手を触れないこと。

(6) 接着剤の塗布

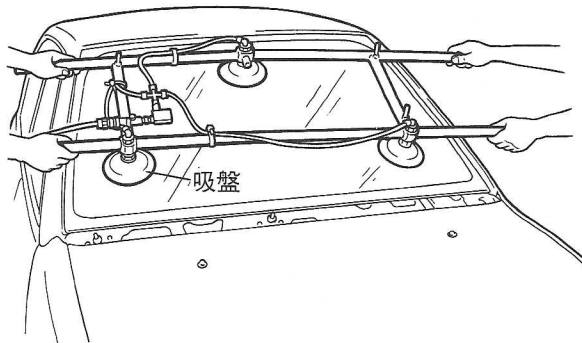
- ① カートリッジのノズル先端をカットする。
- ② カートリッジを開栓し、ノズルを取付け、ガンにセットする。
- ③ ガラス端面に沿ってガラス接着面全周に均一に接着剤を塗布する。



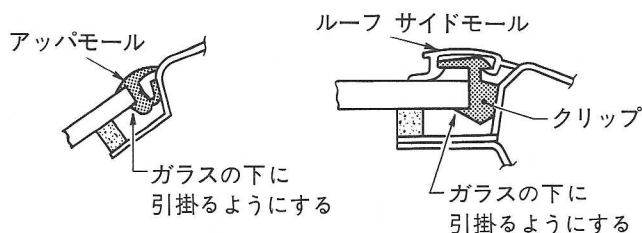
脱着

(7) ガラスの取付け

- ① ガラスをゴム吸盤で固定する。
- ② ガラスをロケットピンに合せボデーに乗せる。



- ③ 全周を軽く押して完全に密着させる。
- ④ はみ出した接着剤をへら等で除去し、アルコールまたは白ガソリンで清掃する。
- ⑤ 接着剤が硬化前にモール類を取付ける。



- (8) カウルパネル、ワイパアームを取付ける。
- (9) 水漏れテスト

取付け後、1時間経ってから水漏れテストを行う。

注意

- ・車の移動は静かに行う。
- ・ホースの先端をしぼって水をかけないこと。

(10) 自然乾燥

作業完了後、(ガラス取付け後)24時間、静かに放置する。

注意

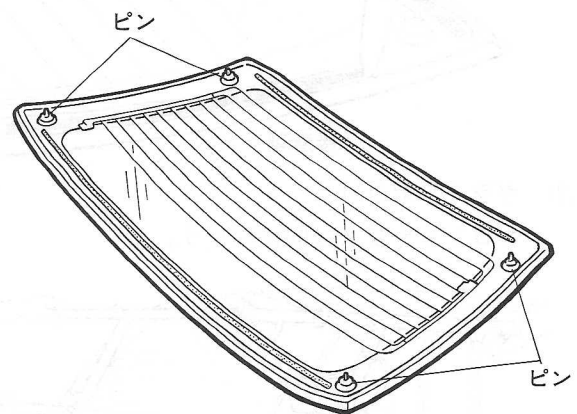
- ・24時間放置後、ユーザに車を引渡すとき、3日間程度は車に大きな振動を与えないよう注意する。

(2) リヤ ゲート ガラス

脱着

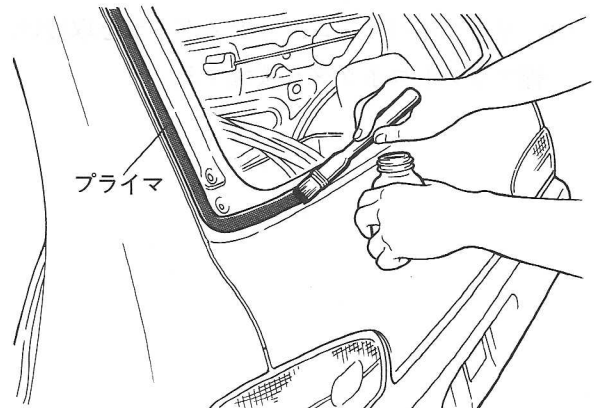
<取外し>

- (1) リヤワイバアームを取外す。
- (2) リヤスポイラを取外す。
- (3) 熱線プリントコネクタを外す。
- (4) リヤゲートに傷が付かないように保護テープを貼る。
- (5) フロントガラスと同様にカッタナイフとホットウインドウシールドナイフを用いて接着層を切断する。
コーナ部のピン部はピアノ線を通して接着剤をカットする。
- (6) ガラスを取外す。



<取付け>

- (1) フロントガラスと同様に、接着層を平滑に仕上げ、接着面の清掃、ガラスの位置決め、ガラスの清掃、を行う。
- (2) プライマの塗布
刷毛を用いて、ボデー接着面とガラス接着面にプライマを塗布する。

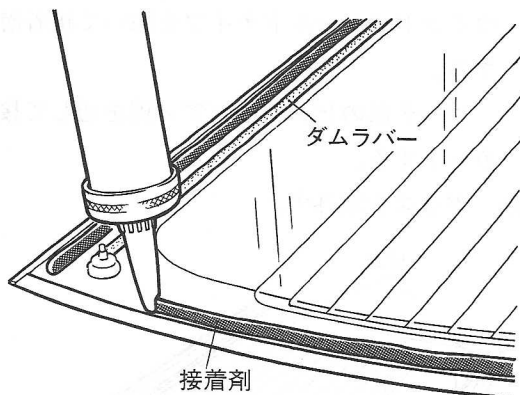


注意

- ・ボデー塗装面、インナトリム等にプライマをこぼすと拭きとりが困難なのでマスキングすること。
- ・塗装後、約10分間程度自然乾燥させること。
- ・プライマ塗布面に絶対に手を触れないこと。

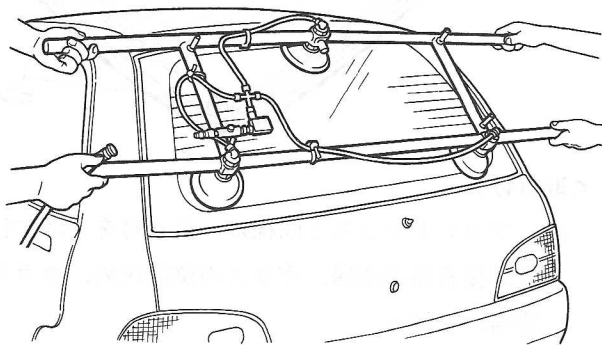
(6) 接着剤の塗布

フロントガラスと同様に行う。



(7) ガラスの取付け

フロントガラスと同様に行う。

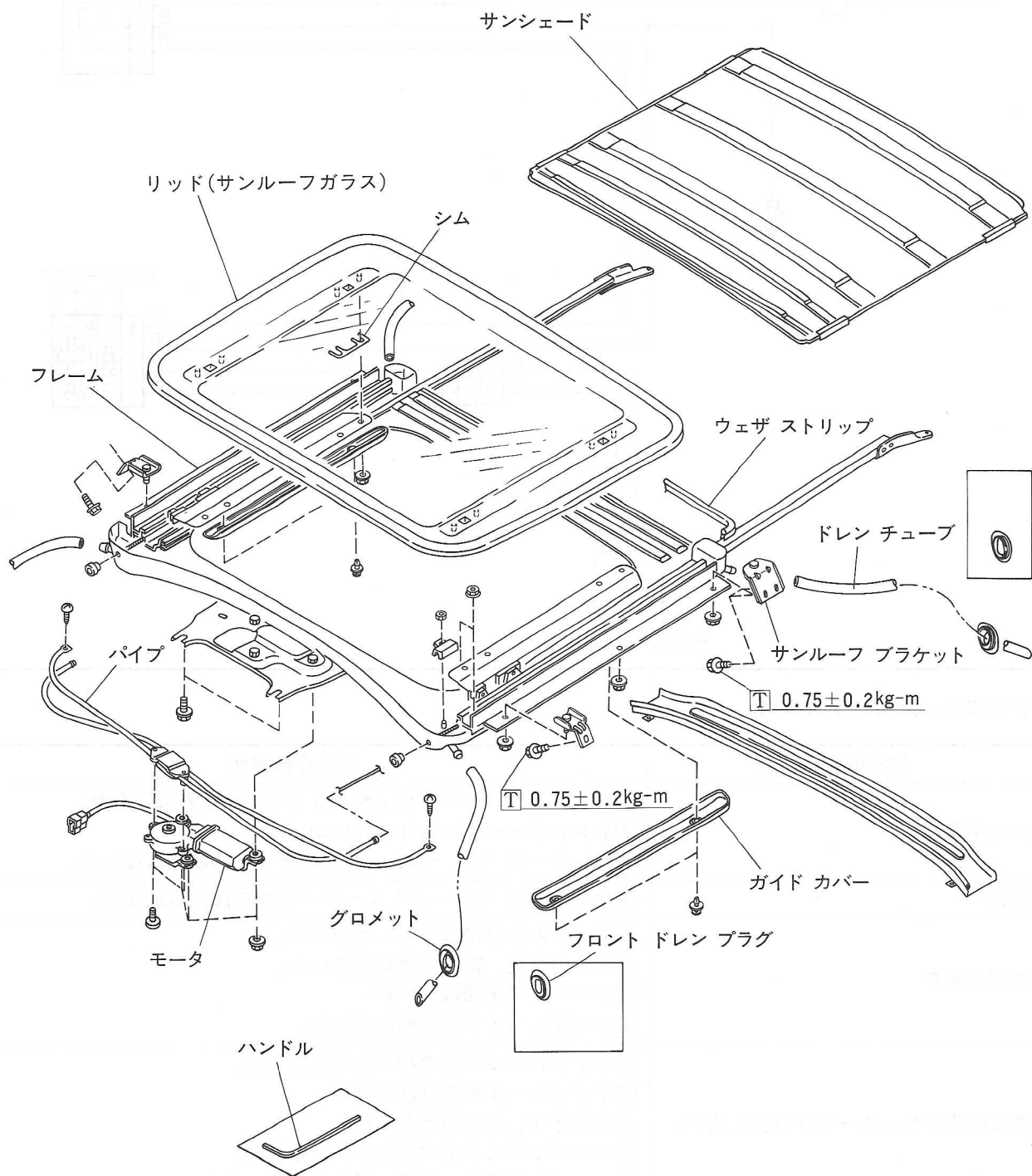


(8) 水漏れテスト、フロントガラスと同様に行う。

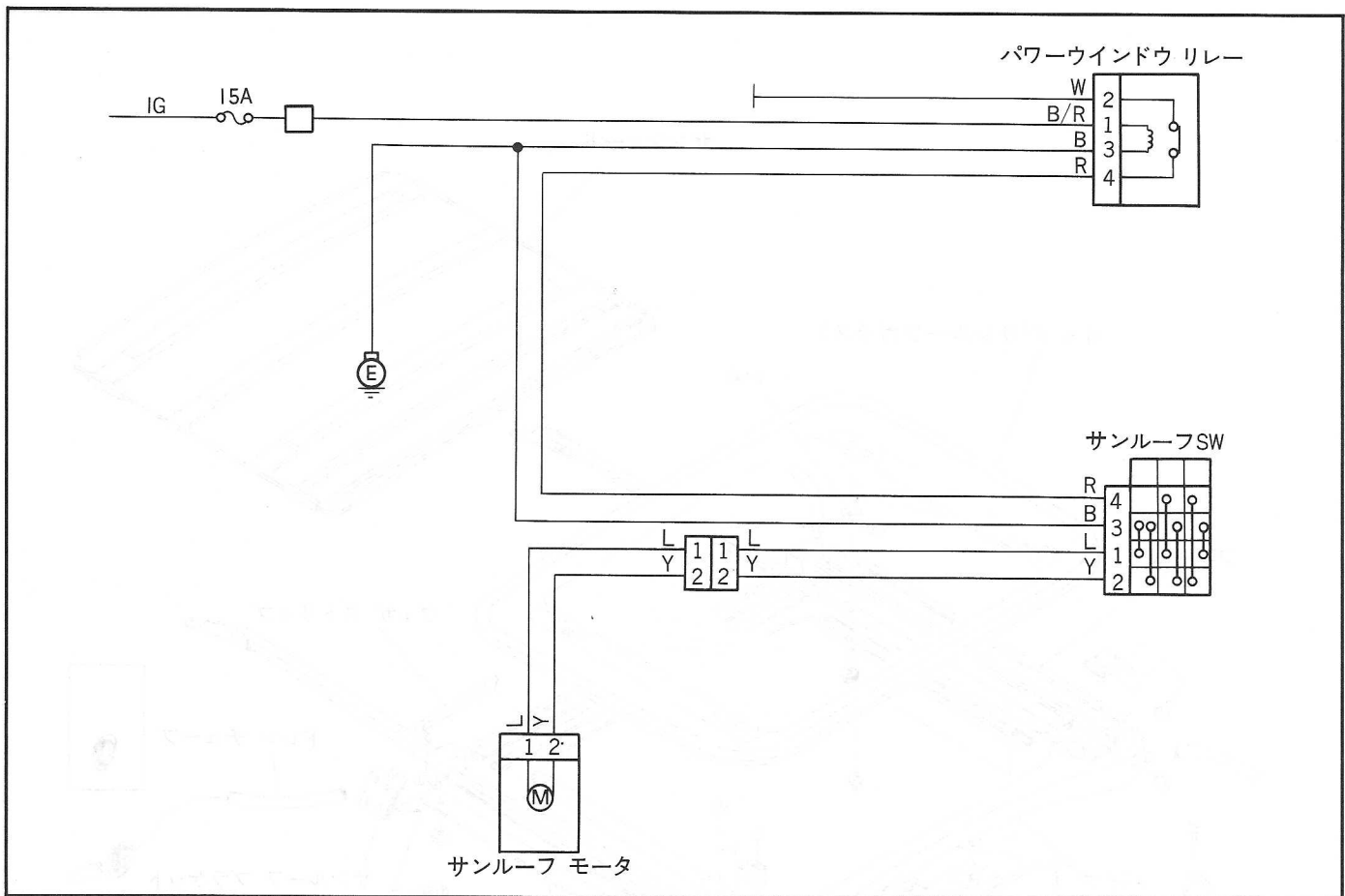
(9) 自然乾燥、フロントガラスと同様に行う。

(10) リヤワイパーアーム、リヤスポイラを取付け、熱線プリントコネクタを接続する。

〔 6 〕 サンルーフ ■ 構成部品



■ トラブルシューティング (1) 回路図



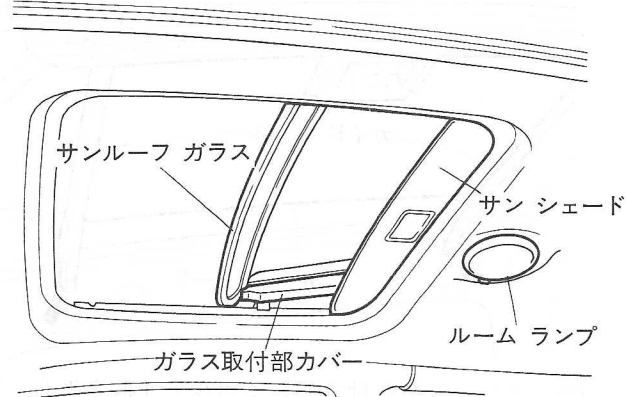
(2) トラブルシューティング

故障項目	主な点検箇所
室内への水漏れ	①リッドとサンルーフウェザストリップの圧着は完全か。 ②ドレンチューブの詰りはないか。 ③サンルーフ フレームシールとボデーとの隙間はないか。
風洩れ音	①サンルーフ フレームとルーフパネルの隙間は適正か。
モータ部の異音	①モータの取付けはゆるんでないか。 ②ギヤの摩耗, 軸受の摩耗はないか。 ③ケーブルの摩耗はないか。 ④ケーブルパイプの変形はないか。
モータは回るがサンルーフが作動しない。	①ガイドレールに物のかみこみはないか。 ②ガイドレールの取付け不良。 ③部品どうしの干渉はないか。 ④ケーブルのスライダ部カシメは正常か。 ⑤ケーブルは正規の位置に固定されているか。
モータが回らない。動きが異常 (サンルーフハンドルで作動確認)	①ヒューズが切れていないか。 ②スイッチの機能は正常か。 ③モータの端子電圧は正常か。 ④リレーの作動は正常か。 ⑤アース不良。 ⑥コードの断線及び端子の接続状態。

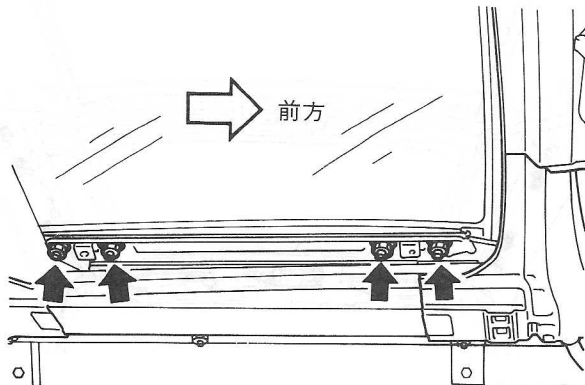
■ 整備要領 (1) サンルーフ ガラス
脱着

<取外し>

- (1) サンシェードを全開にする。
- (2) サンルーフガラスの取付部カバーを取外す。



- (3) サンルーフガラス取付けナット (左右各4個)を取外し、ガラスを外す。

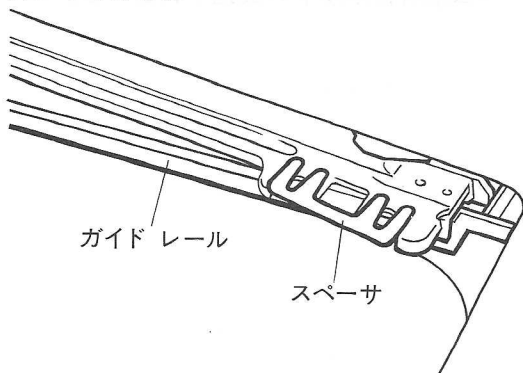


<取付け>

取外しの逆順序に行う。

注意

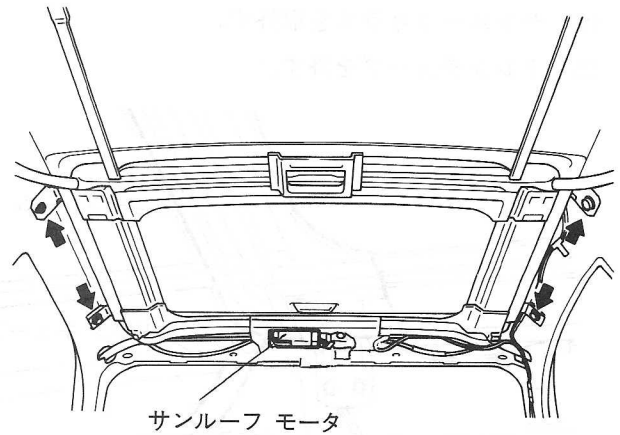
- ・サンルーフガラス上面とルーフの段差が出た場合
取付面にスペーサをかって、調整する。
標準はスペーサ (厚さ1mm) 2枚であるが、限度
4枚までである。



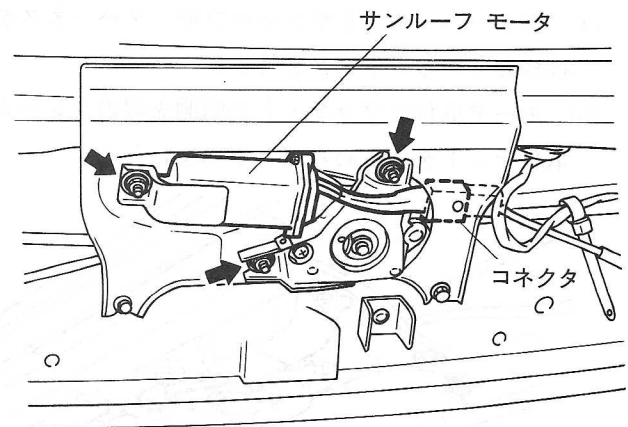
(2) サンルーフ モータ
脱着

<取外し>

- (1) フロントピラートリム、サンバイザ、ルームミラー、ルーフトリム等を取外す。



- (2) コネクタを分離し、モータ取付ナットを取外す。



<取付け>

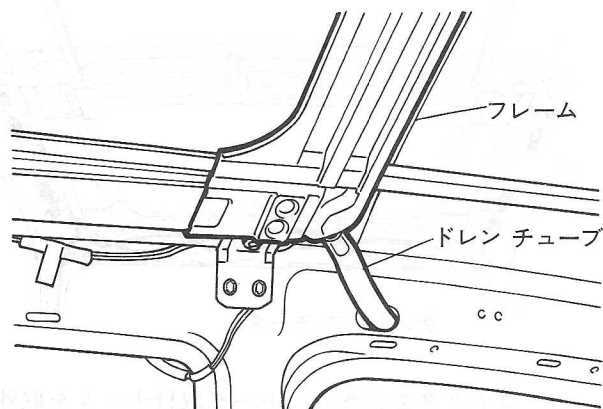
取外しの逆順序で行う。

(3) サンルーフ フレーム

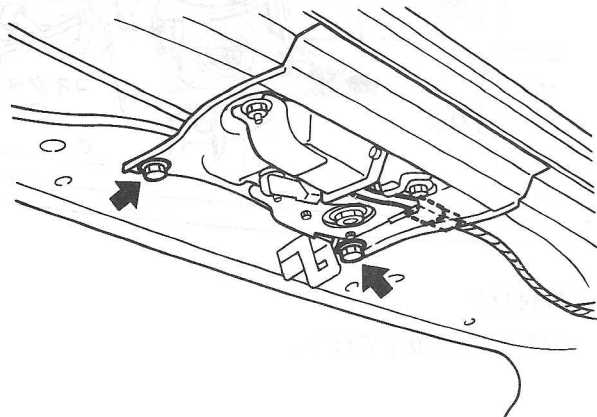
脱着

<取外し>

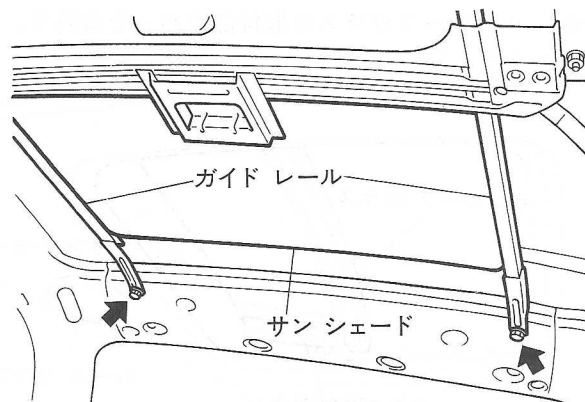
- (1) フロントピラートリム、ルーフトリム等を取外す。
- (2) サンルーフガラスを取外す。
- (3) ドレンチューブを外す。



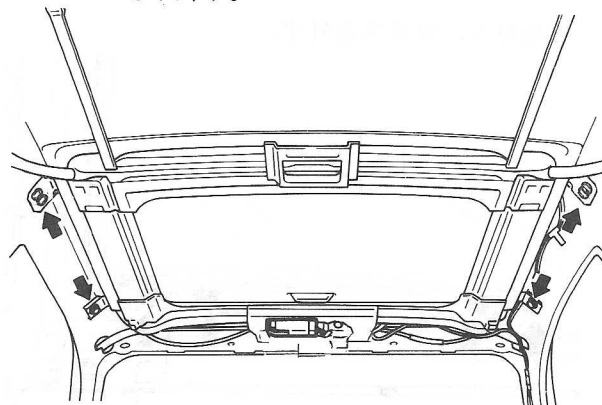
- (4) ボデーハーネスとサンルーフモータハーネスを接続しているコネクタを外す。
- (5) モータ取付けブラケットの両側先端のフレーム取付ナットをゆるめる (はずさないこと)



- (6) サンシェードガイドレールの後部取付ボルト (2個) を取外す。



- (7) フレームを取付けているボルト 4 個を外し、フレームを取外す。



<取付け>

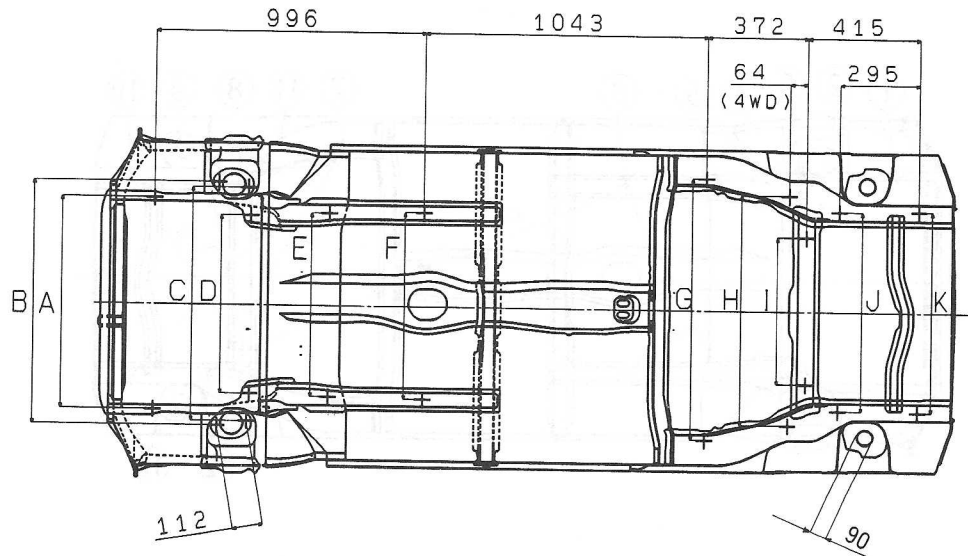
取外しの逆順序に行う。

注意

- ・サンルーフ全開、全閉時ガラスがスムーズに動き、異音なきこと、調整はガイドレール取付け部で行う。
- ・ボデーroof面とガラス面に段差なきよう。フレーム取付けボルトの長孔で調整する。

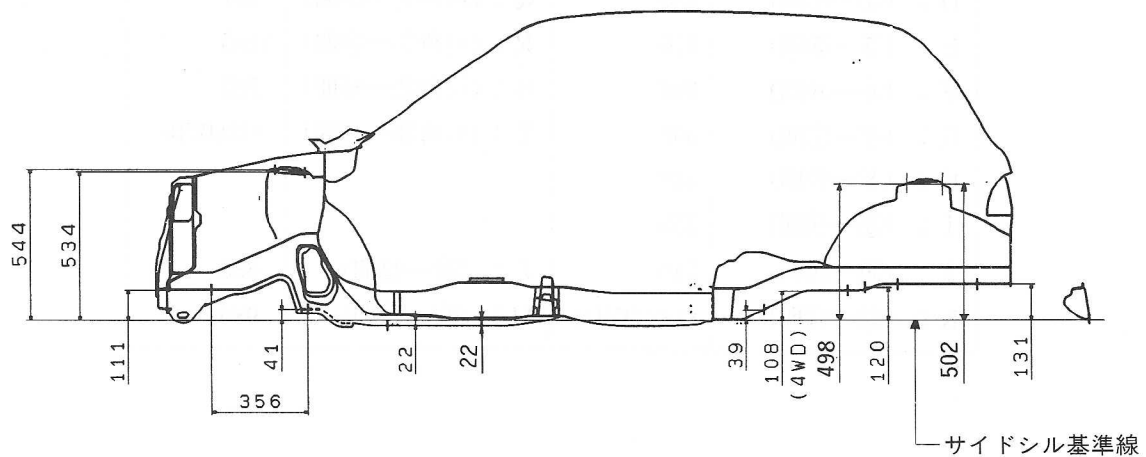
〔7〕 ボデー基準寸法および基準点 (1) アンダ ボデー(3ドア&5ドア共通, 2WD車&4WD車共通)

<平面寸法※1>



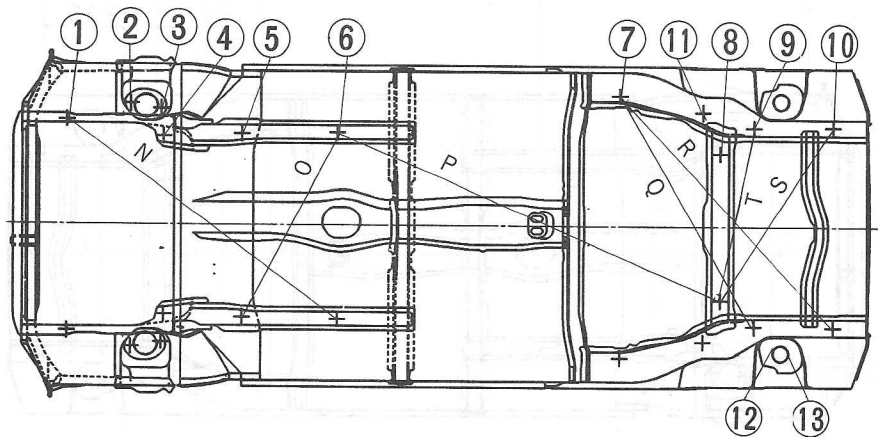
※1：ポイントからポイントまでの水平距離

<垂直距離寸法※2>



※2：サイドシルフランジ付け根を基準にした仮想水平線からポイントまでの垂直距離

<直線距離寸法※3>

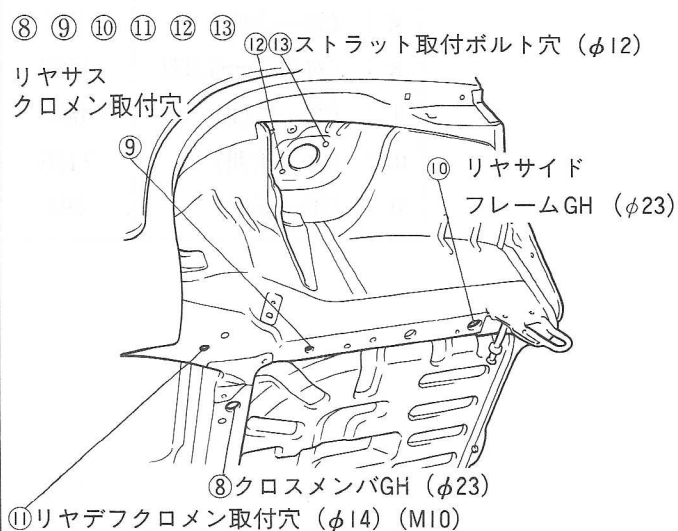
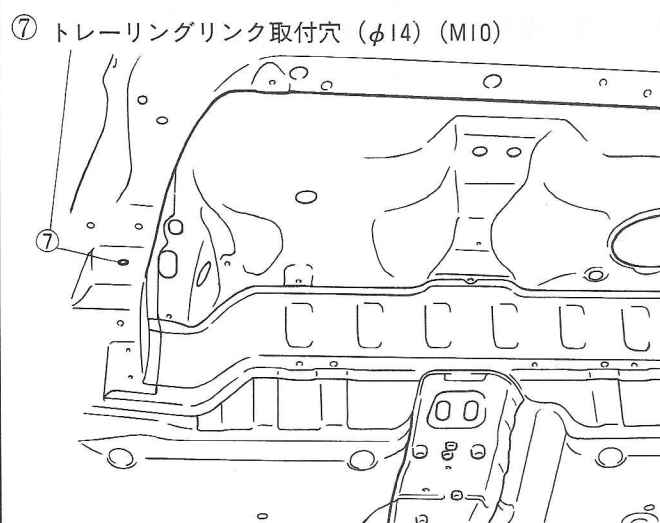
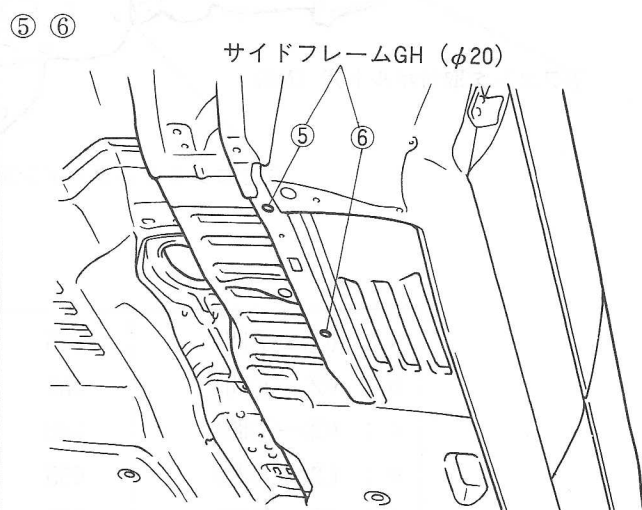
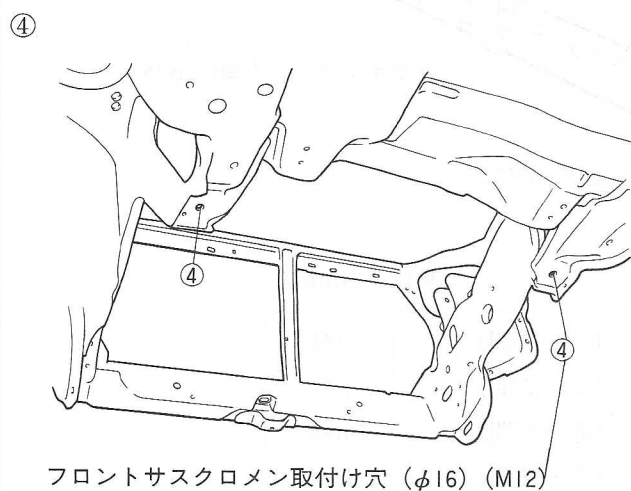
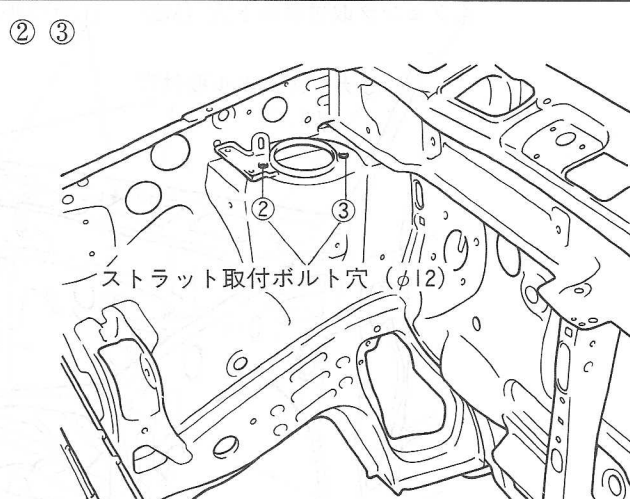
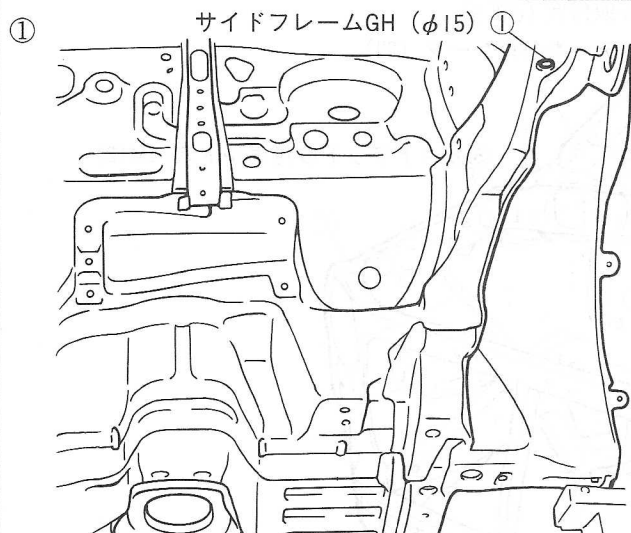


※3：ポイントからポイントまでの直線距離

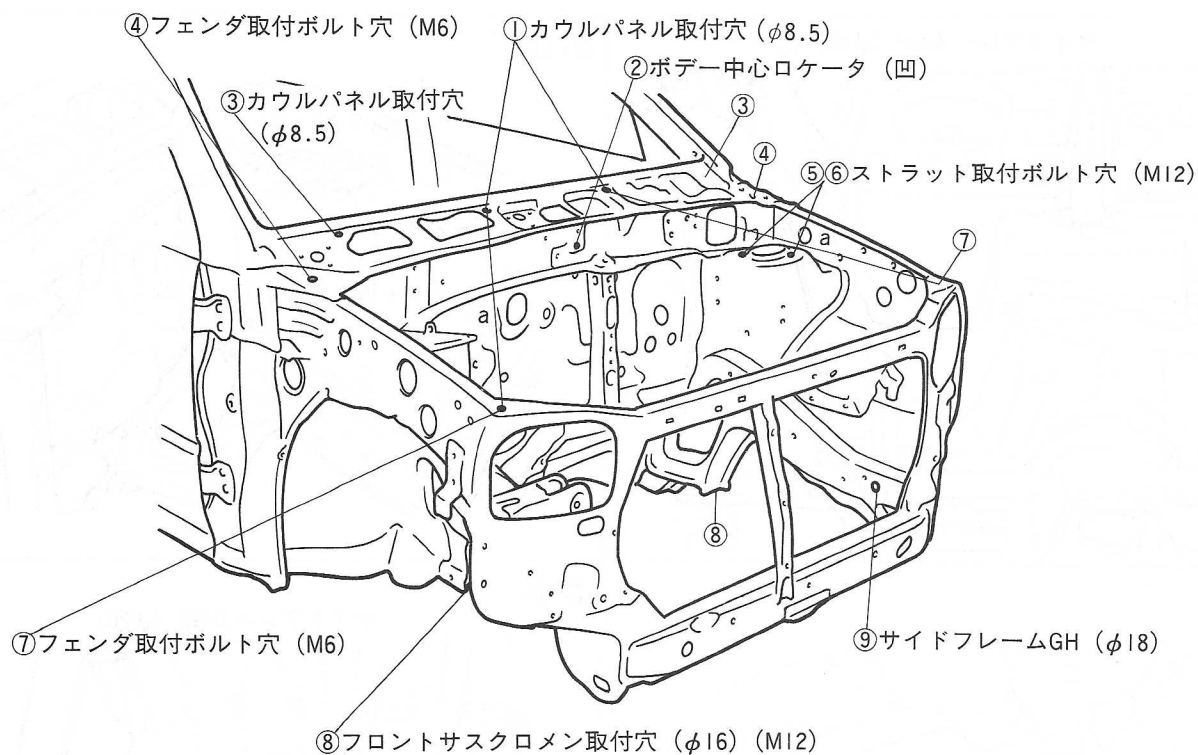
アンダボデー寸法 (mm)			
A : (①—①間)	780	N : (対角①—⑥間)	1244
B : (②—②間)	898	O : (対角⑤—⑥間)	767
C : (③—③間)	860	P : (対角⑥—⑧間)	1549
D : (④—④間)	656	Q : (対角⑦—⑨間)	987
E : (⑤—⑤間)	676	R : (対角⑦—⑩間)	1165
F : (⑥—⑥間)	688	S : (対角⑧—⑩間)	763
G : (⑦—⑦間)	968	T : (対角⑨—⑪間)	813(4WD)
H : (⑧—⑧間)	540		
I : (⑨—⑨間)	735		
J : (⑩—⑩間)	740	L : (⑫—⑫間)	882
K : (⑪—⑪間)	848(4WD)	M : (⑬—⑬間)	980

<基準点の位置>

GH：ゲージホール



(2) エンジンルーム 直線距離



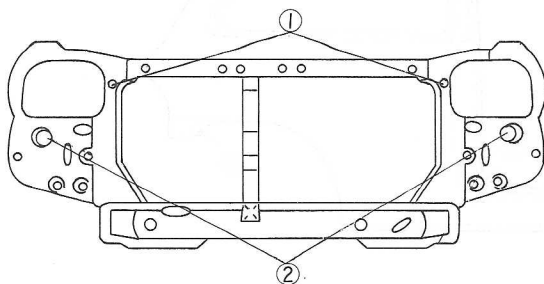
単位：(mm)

a : (①—⑦間)	685	o : (④—⑦間)	491
b : (②—⑥間)	487	p : (⑤—⑤間)	861
c : (②—⑦間)	740	q : (⑥—⑥間)	898
e : (②—⑧間)	655	r : (⑦—⑦間)	1146
f : (②—⑨間)	765	s : (⑧—⑧間)	656
g : (③—③間)	916	t : (⑨—⑨間)	752
k : (対角③—⑦間)	1189		
l : (③—⑦間)	604		
m : (④—④間)	1166		
n : (④—⑤間)	194		

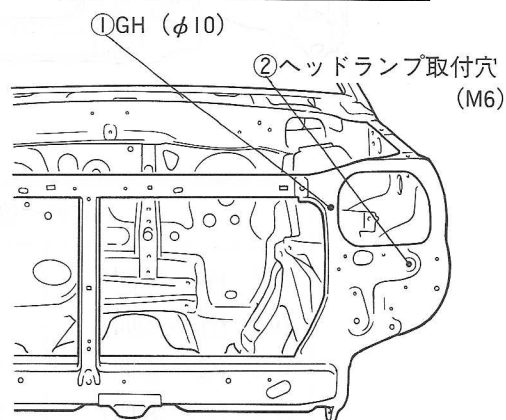
(3) ラジエータ パネル 直線距離

<基準点>

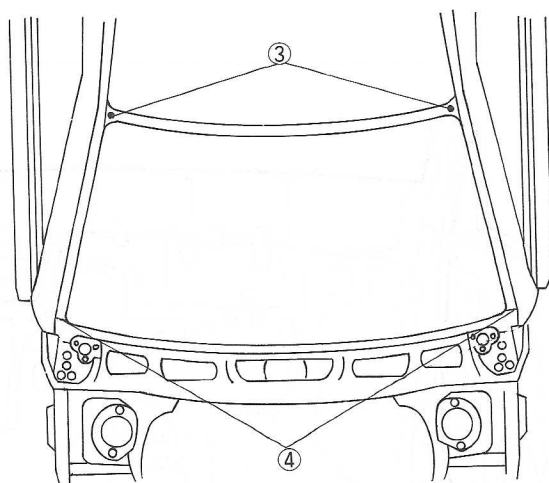
- ①……ゲージホール (φ10)
②……ヘッドランプ取付穴 (M6)



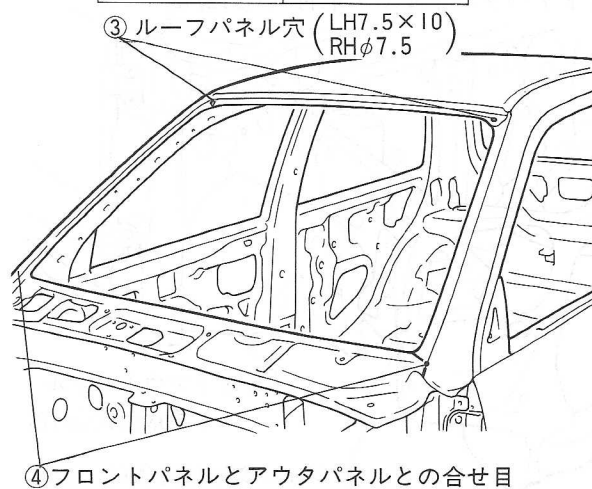
測定箇所	寸法 (mm)
①—①間	806
②—②間	1130
対角①—②間	976



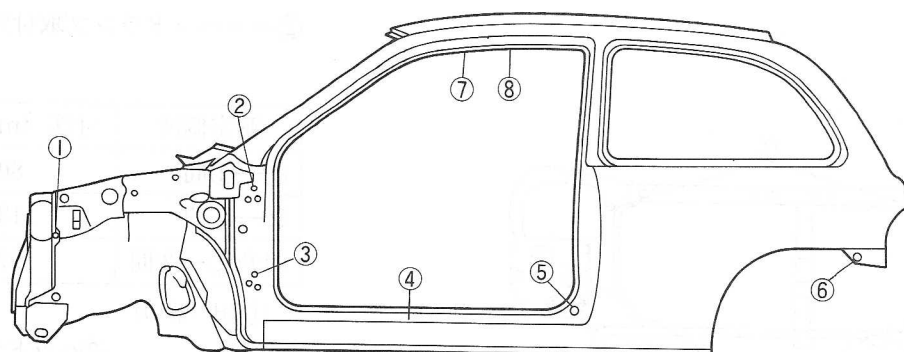
(4) フロントガラス窓枠 直線距離



測定箇所	寸法 (mm)
③—③間	887
④—④間	1197
③—④間	710
対角③—④間	1252



(5) ボデー側面 直線距離 ■ 3ドア車

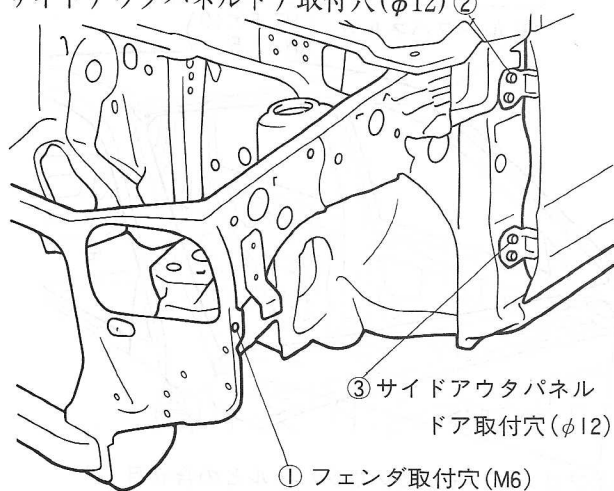


ボデー側面（3ドア車）(mm)			
a : (①—②間)	718	g : (④—⑧間)	1126
b : (①—③間)	703	h : (⑤—⑥間)	992
c : (②—⑤間)	1230	i : (⑤—⑦間)	1020
d : (②—⑧間)	1028	j : (⑤—⑧間)	974
e : (③—⑤間)	1161	k : (⑥—⑧間)	1442
f : (③—⑧間)	1211		

<基準点の位置>

①②③

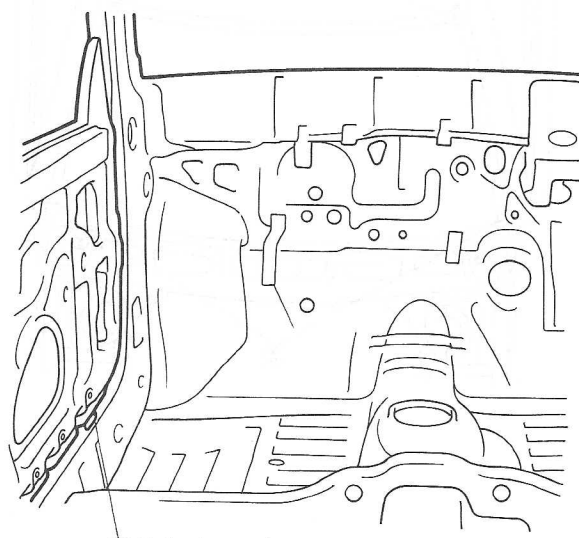
サイドアウトパネルドア取付穴(φ12) ②



③ サイドアウトパネル
ドア取付穴(φ12)

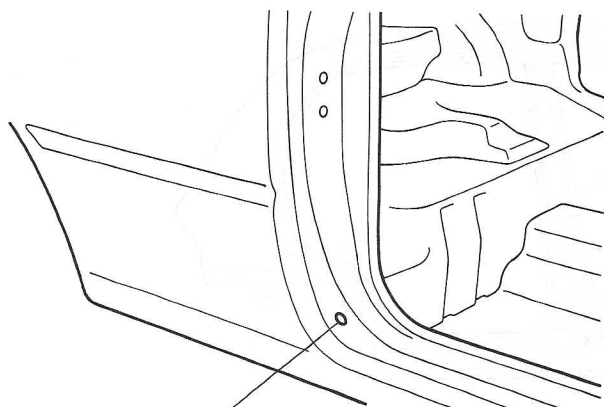
① フェンダ取付穴(M6)

④



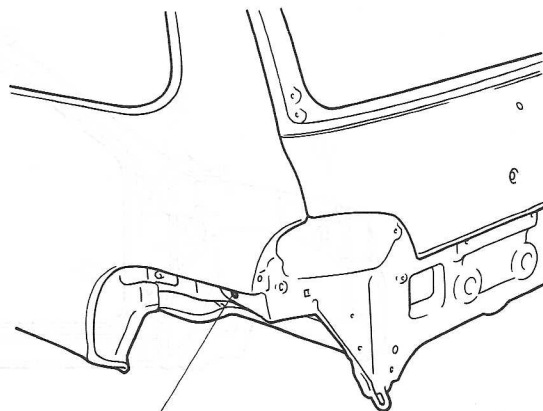
④ 長穴 (6×13) アウトパネルサイド

⑤



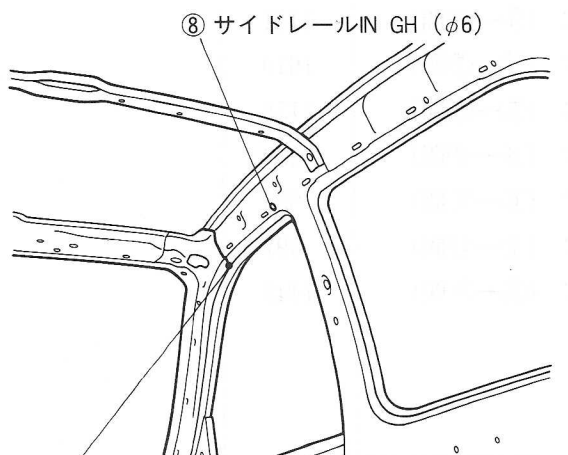
⑤ サイドアウトパネル (φ13.5)

⑥



⑥ サイドアウトパネルGH (φ20)

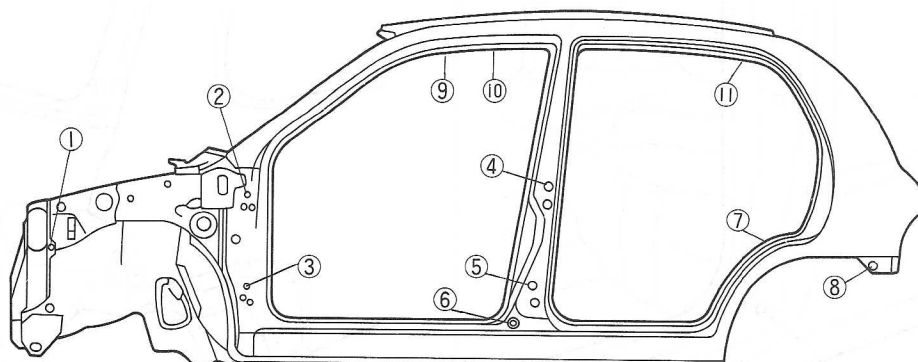
⑦⑧



⑧ サイドレールIN GH (φ6)

⑦ フロントピラーINとサイドレールINとの合せ面

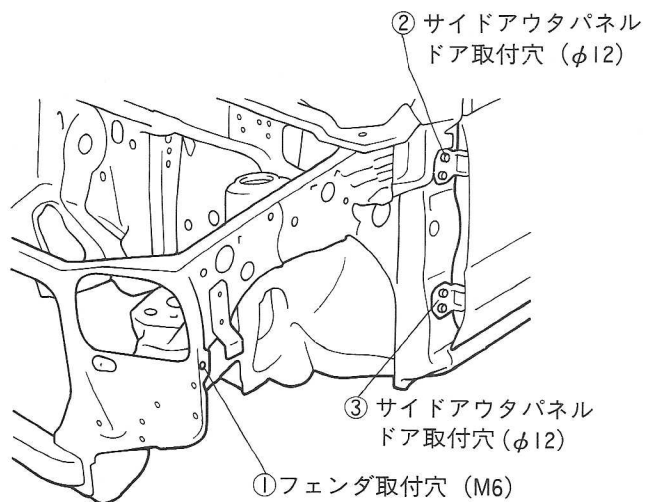
■ 5 ドア



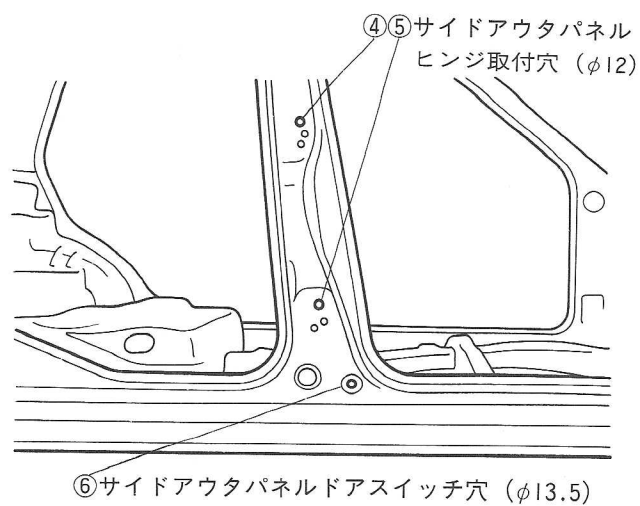
ボデー側面（5ドア車）（mm）			
a : (①—②間)	718	k : (④—⑧間)	1141
b : (①—③間)	703	l : (⑤—⑦間)	1019
c : (②—④間)	1010	m : (⑤—⑧間)	1155
d : (②—⑤間)	1018	n : (⑥—⑨間)	939
e : (②—⑥間)	1000	o : (⑥—⑩間)	938
f : (②—⑩間)	1029	p : (⑦—⑪間)	497
g : (③—④間)	1061	q : (⑧—⑩間)	1442
h : (③—⑤間)	974		
i : (③—⑥間)	913		
j : (③—⑩間)	1211		

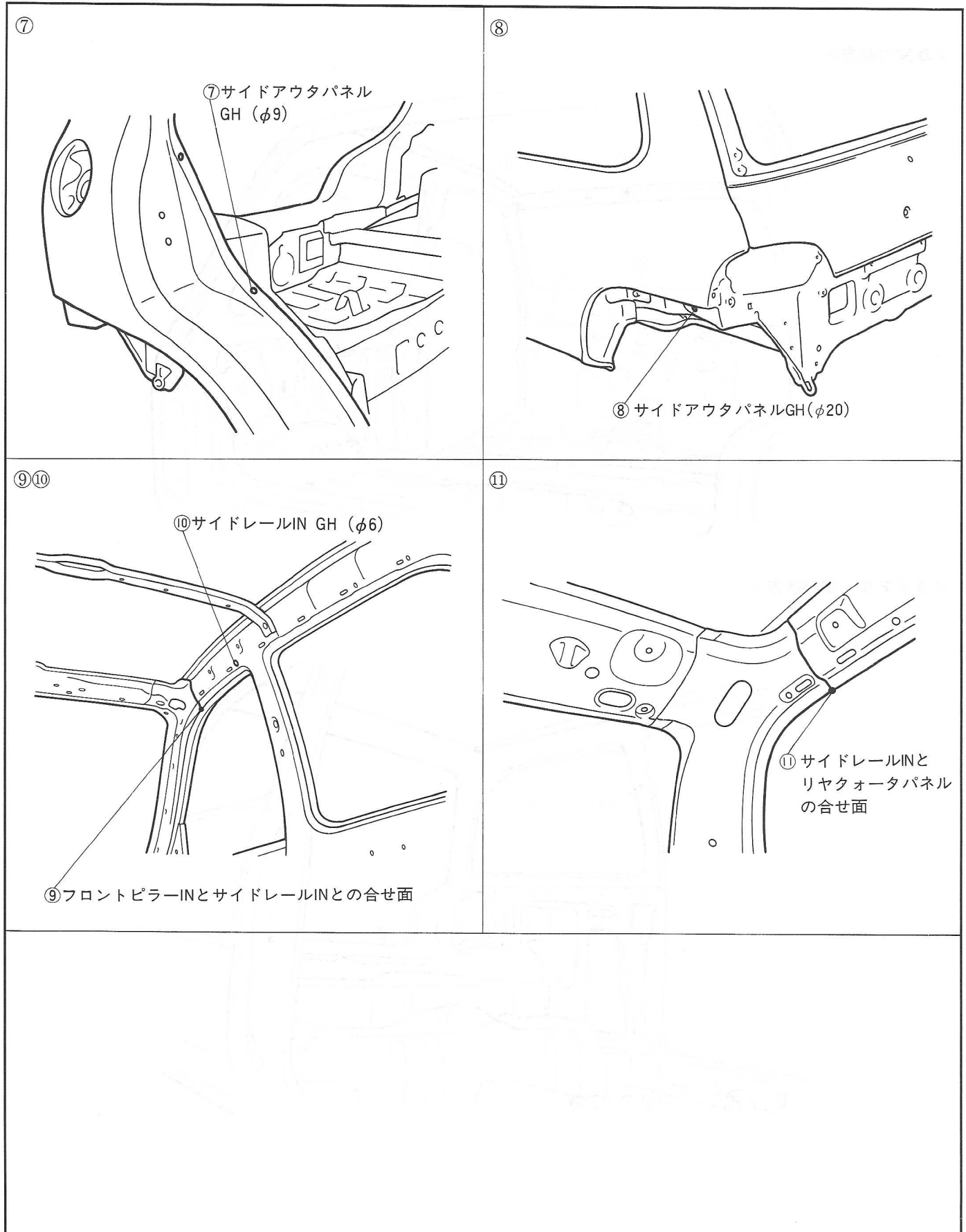
<基準点の位置>

①②③



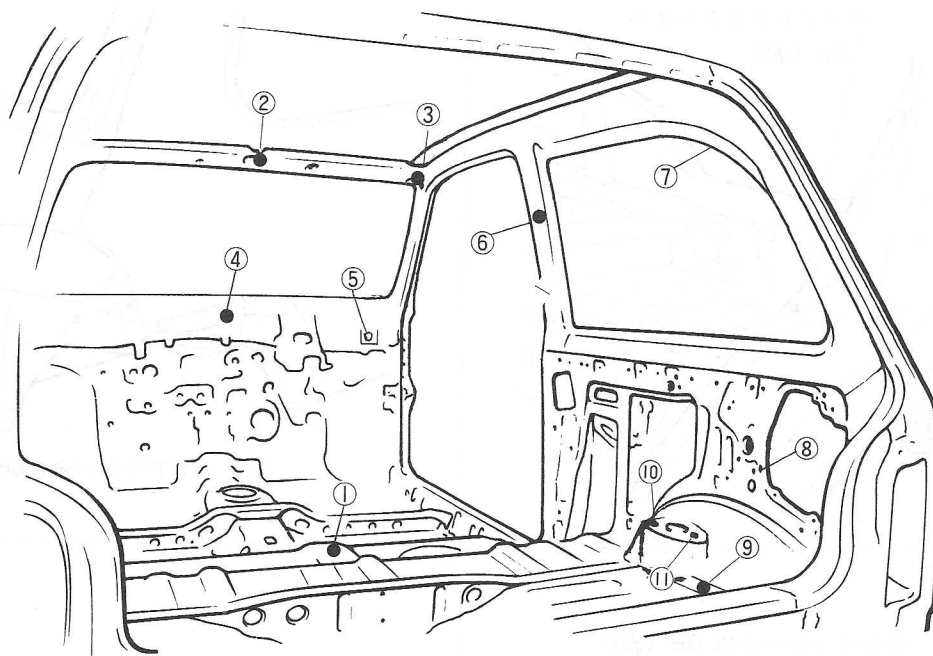
④⑤⑥



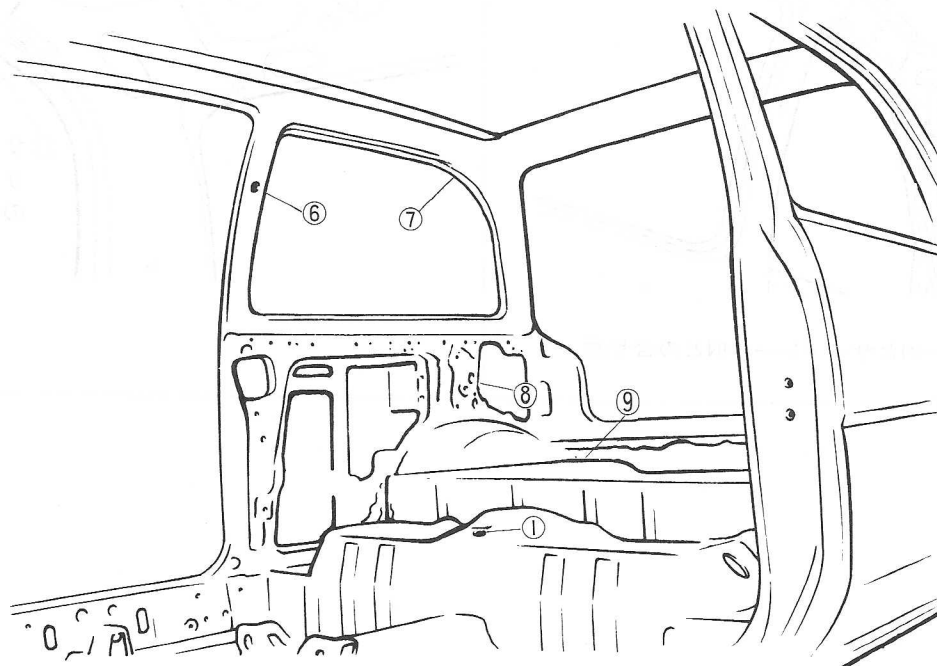


(6) 室内 直線距離

<車室内前方>



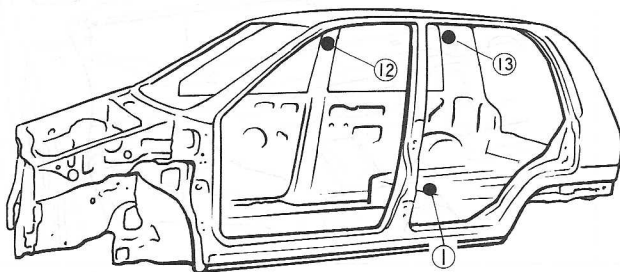
<3ドア車 室内後方>



室内寸法（3ドア車）（mm）			
※①—②間	1157	※③—③間	817
※①—③間	1191	※⑤—⑤間	840
※①—④間	1432	⑥—⑥間	986
※①—⑤間	1465	⑦—⑦間	1050
①—⑥間	920	※⑧—⑧間	1182
①—⑦間	1097	※⑨—⑨間	850
※①—⑧間	1044		
※①—⑨間	1005		
※①—⑩間	856		
※①—⑪間	943		

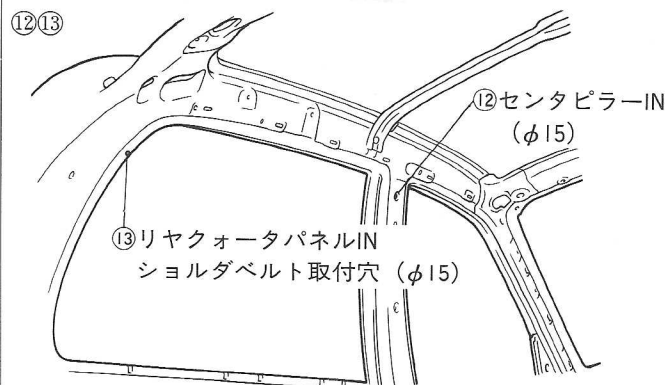
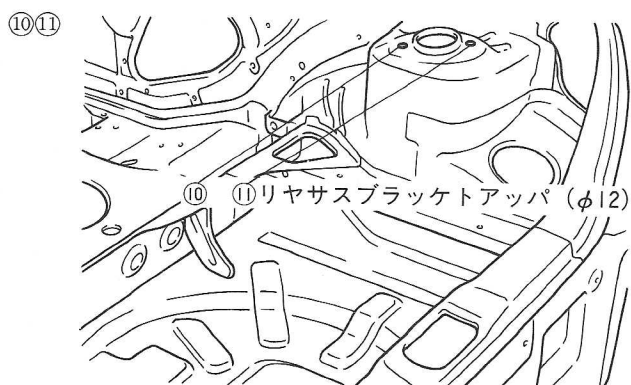
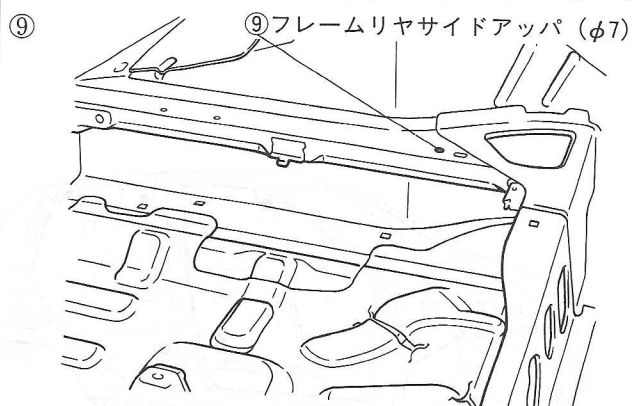
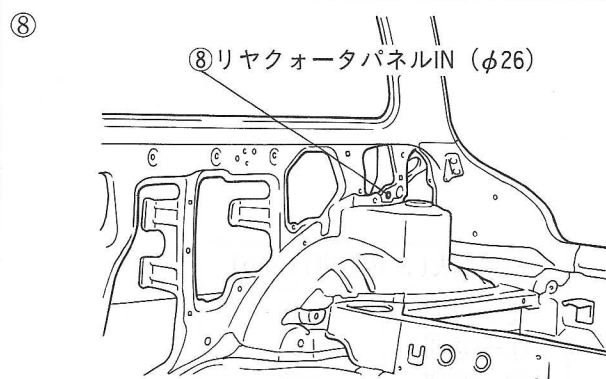
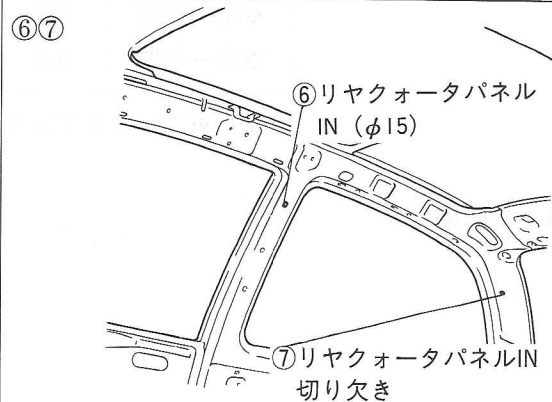
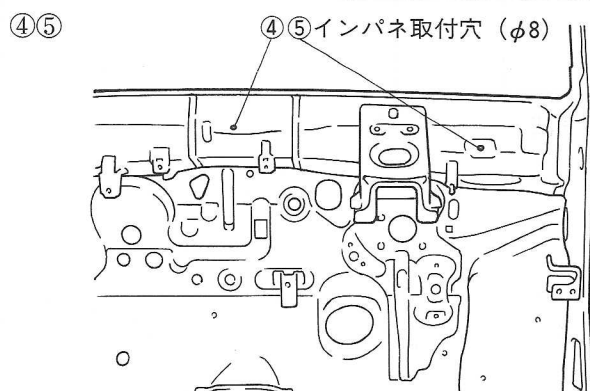
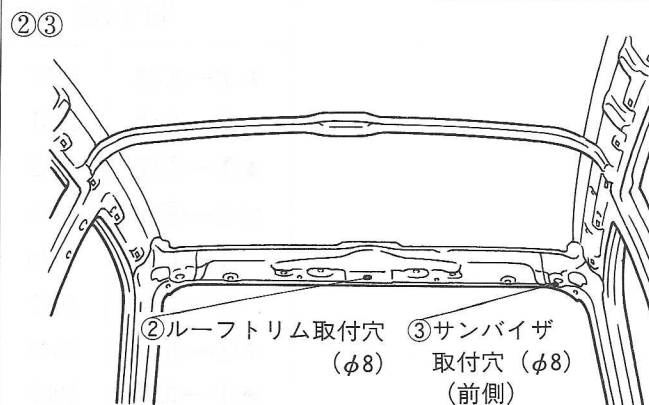
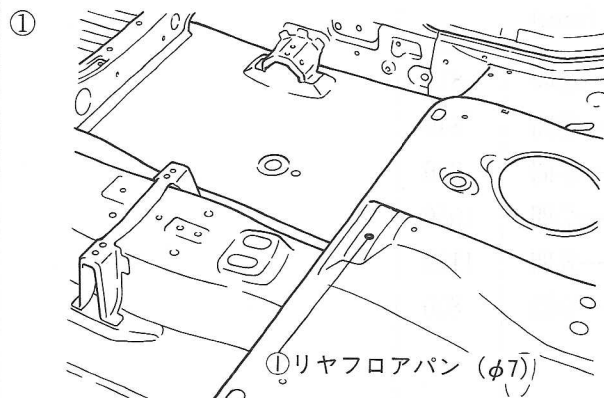
（注）※：は3ドア&5ドア共通寸法

< 5 ドア車 室内後方 >

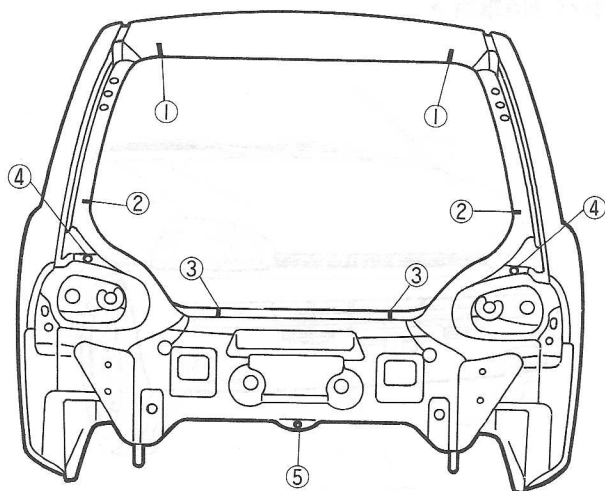


室内寸法（5ドア車）（mm）	
①—⑫間	948
①—⑬間	1053
⑫—⑫間	965

<基準点の位置>

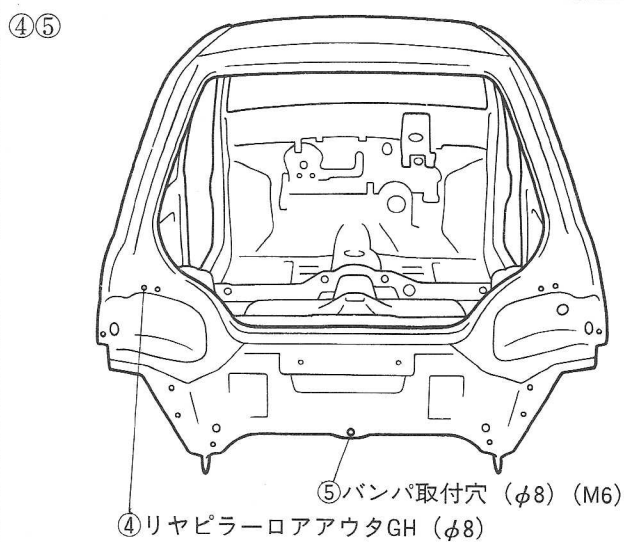
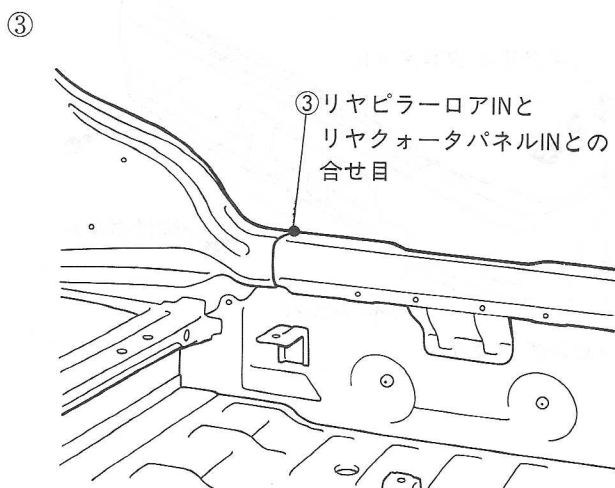
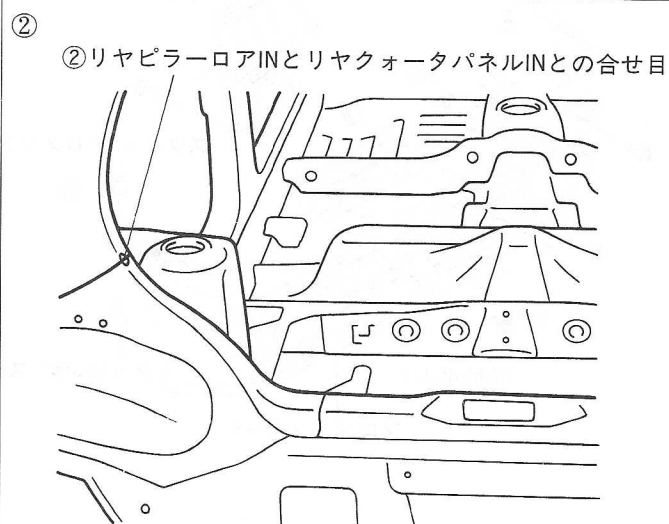
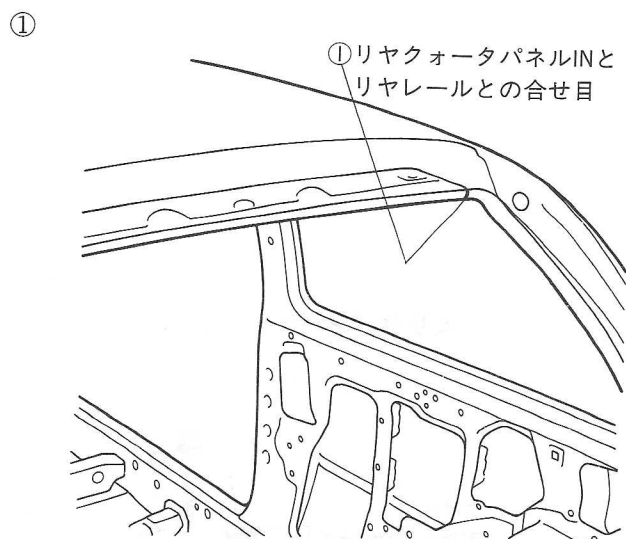


(7) リヤ ゲート 直線距離



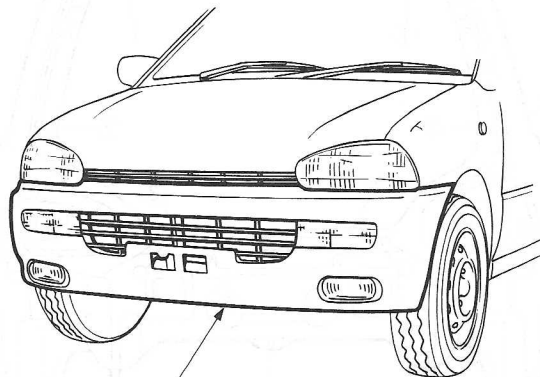
①—①間	720
対角①—②間	1005
対角①—③間	983
①—③間	792
②—②間	1029
③—③間	472
④—④間	1060
④—⑤間	663

<基準点の位置>



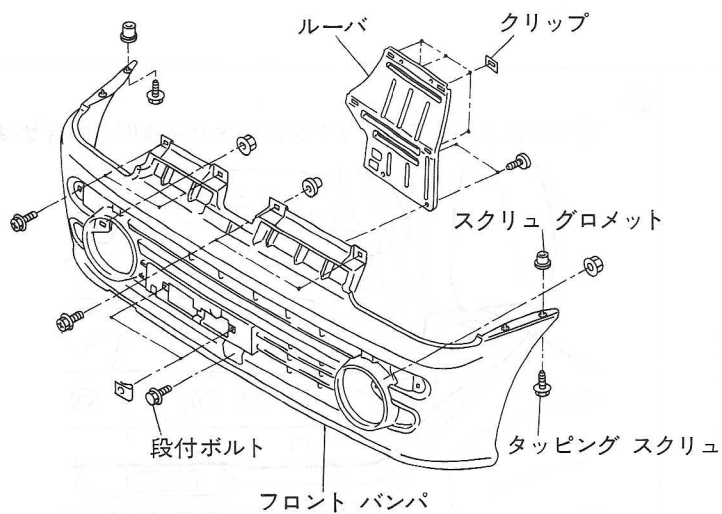
〔1〕 バンパ ■ 構成部品

<フロント バンパ NA車用>

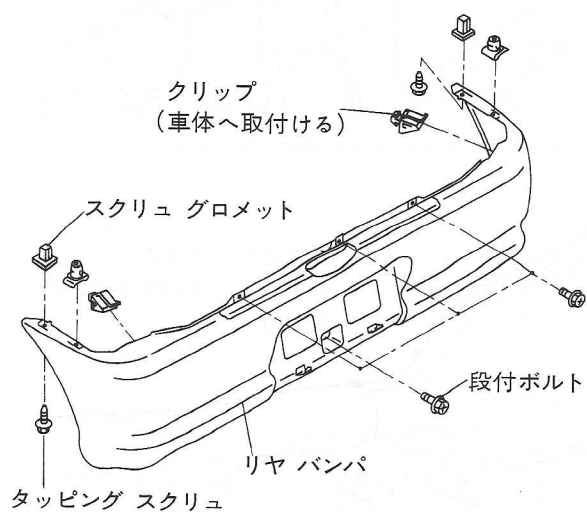


フロントバンパ

<フロント バンパ SC車用>



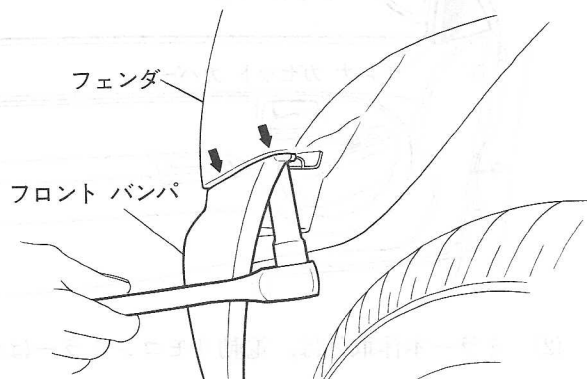
<リヤバンパ>



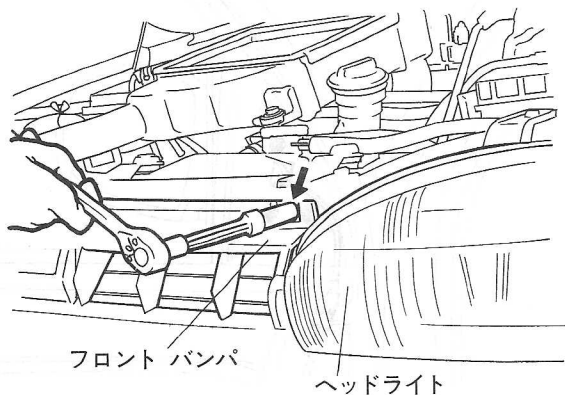
■ 整備要領 (1) フロントバンパ
脱着

＜取外し＞(SC車を示す)

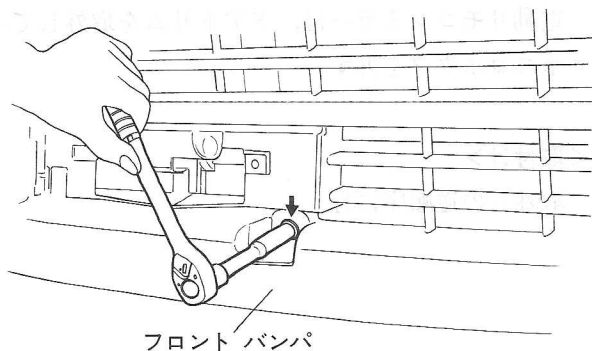
- (1) フードを開ける。
- (2) フロントバンパ左右両端上面のスクリュ（各1個）を取外す。



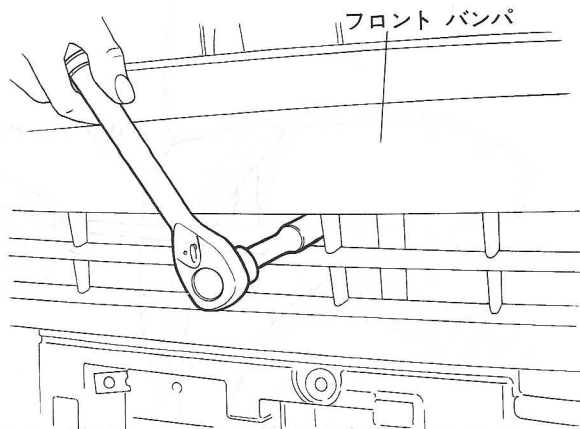
- (3) フロントバンパ前面上部の取付スクリュ（4個）を取外す。



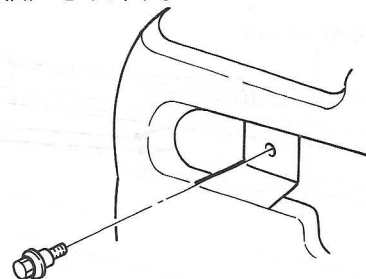
- (4) フロントバンパ中央下部の取付ボルトを取外す。



- (5) フロントバンパ中央上部の取付スクリュを取外す。



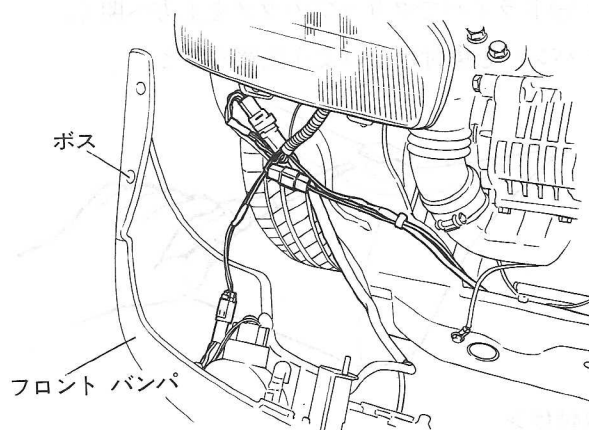
- (6) ターンランプを外し、奥にある段付ボルト（左右各1個）を取外す。



- (7) ライト関係のハーネスコネクタを分離し、フロントバンパを取外す。

注意

バンパのボスをフェンダの穴に確実に入れ込む。



＜取付け＞

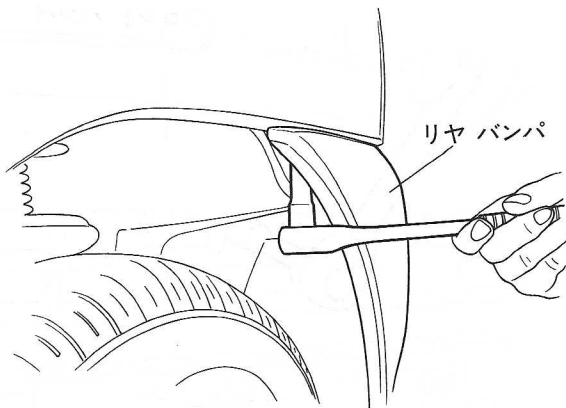
取外しの逆順序に行う。

(2) リヤ バンパ

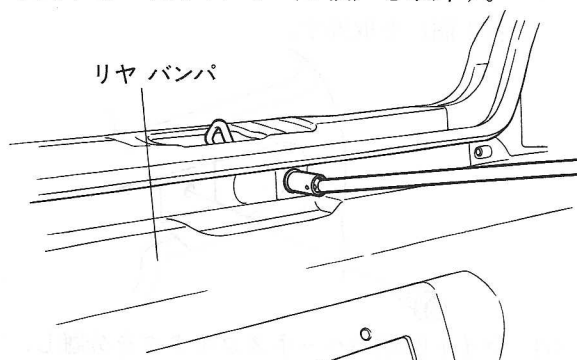
脱着

<取外し>

- (1) リヤバンパの両端の上部スクリュを取外す。



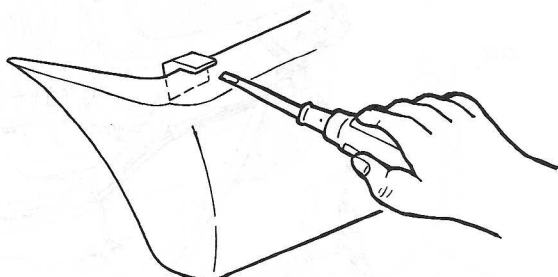
- (2) リヤバンパ後面上端取付ボルト (3個) および中央下端の取付ボルト (1個) を取外す。



- (3) リヤコンビランプ下にあるクリップからバンパを外す。

注意

- ・⊖ドライバでクリップのツメを上方へ開く。
- ・バンパを傷付けないよう注意のこと。



<取付け>

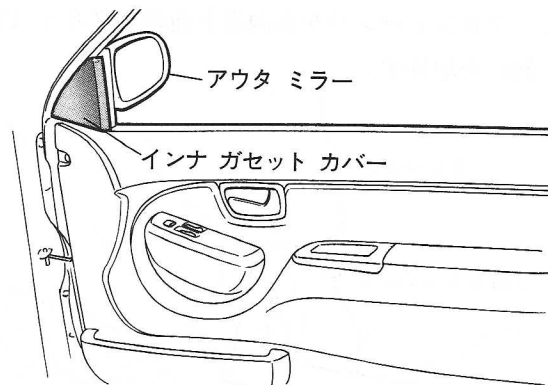
取外しの逆順序に行う。

〔2〕 ドア リヤ ビューミラー ■ 整備要領

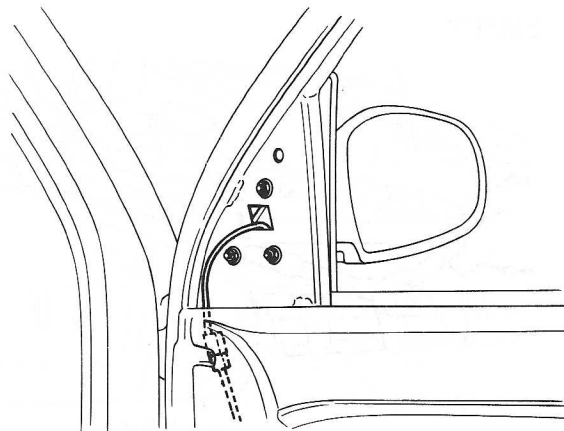
脱着

<取外し>

- (1) インナガセットカバーを外す。



- (2) ミラー本体取付は、電動リモコンミラーはボルト (3個)、マニュアルミラーはナット (3個) を夫々外し、取外す。



注意

電動リモコンミラーは、ドアトリムを取外してハーネスコネクタを外す。

<取付け>

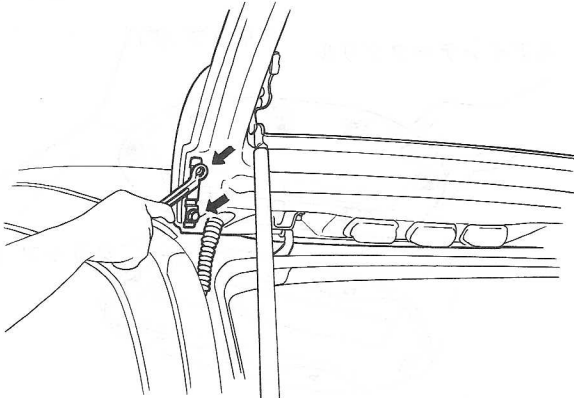
取外しの逆順序に行う。

〔3〕 エアロ パーツ ■ 整備要領 (1) リヤ スポイラ (2) サイド スポイラ

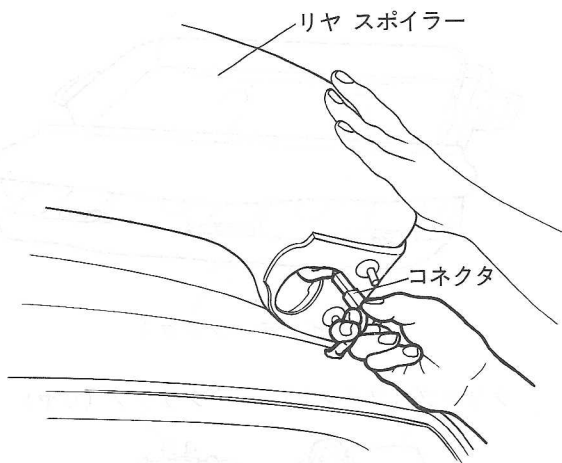
脱着

<取外し>

- (1) リヤゲートを開ける。
- (2) リヤゲート裏側の右はナット (2 個) 左はボルト (2 個) を夫々取外し、板ワッシャを外す。



- (3) リヤスポイラを少し持上げて、ハイマウントストップランプのコネクタを外し、取外す。



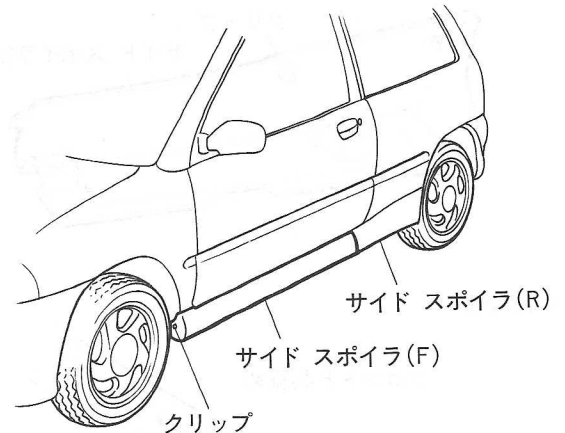
<取付け>

取外しと逆順序に行う。

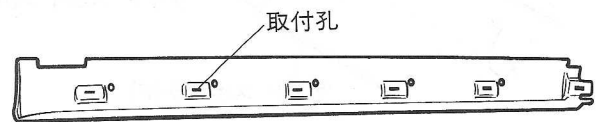
脱着

<取外し>

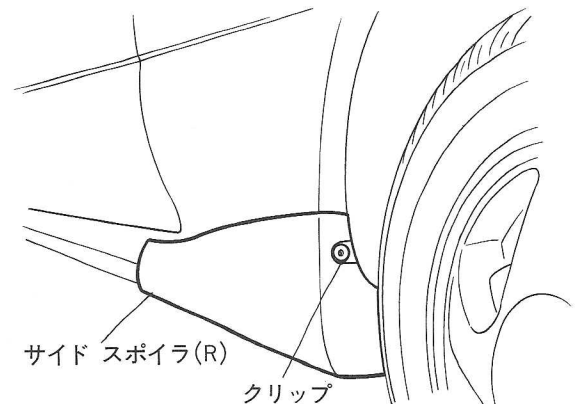
- (1) サイドスポイラ(F)の前方端面のクリップを外す。



- (2) サイドスポイラ(F)の下面のスクリュ (6 個) を外し、前方に引くようにして外す。

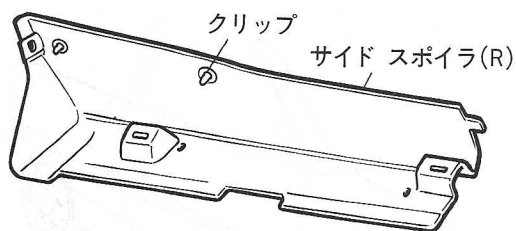


- (3) サイドスポイラ(R)の後方端面のクリップを外す。

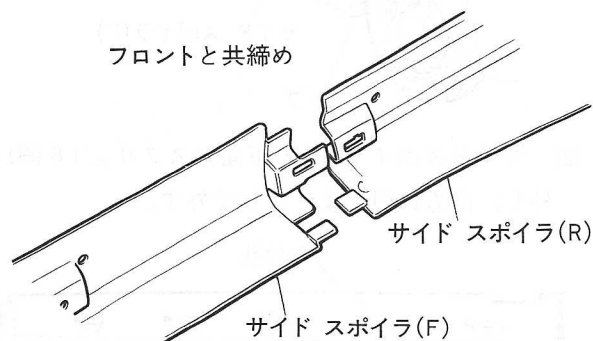


〔4〕 エア インテーク グリル ■ 整備要領

- (4) サイドスポイラの下面の取付スクリュー (1個) を外し, 側面2箇所クリップを外し取外す。



<結合部>

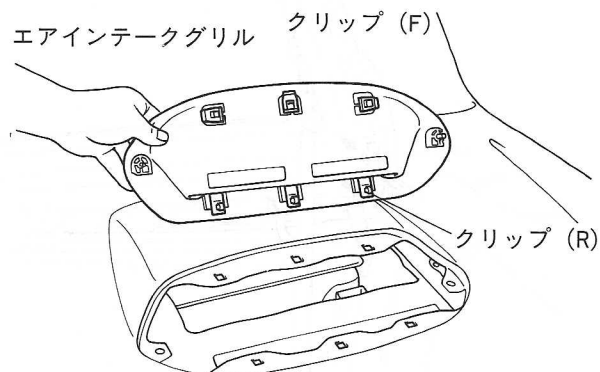


<取付け>

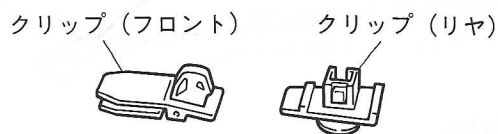
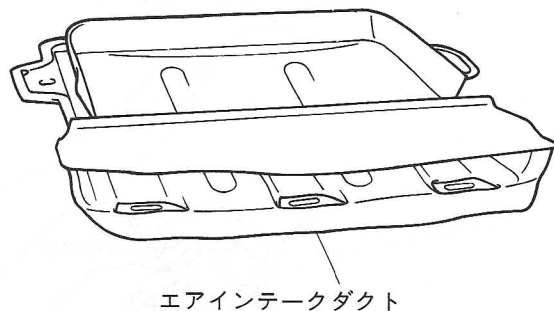
取外しの逆順序に行う。

<取外し>

- (1) フロントフードを開く。
(2) フード裏側よりエアインテークグリルを取付けているクリップを外し (6個), グリルを取外す。



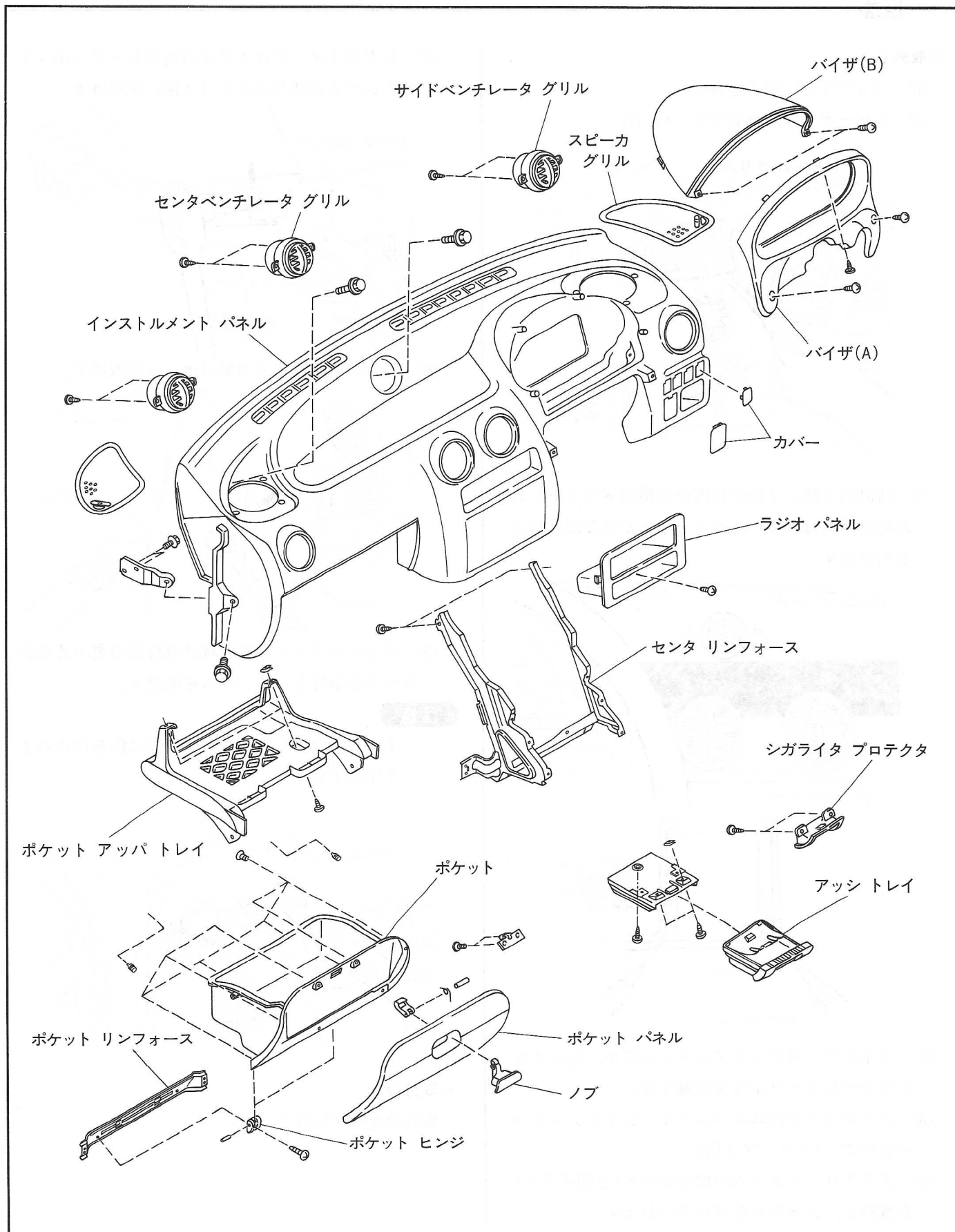
- (3) エアインテークダクトを取付けているクリップ (2個) を外し, ダクトを取外す。



<取付け>

取外しの逆順序に行う。

〔1〕 インストルメント パネル ■ 構成部品

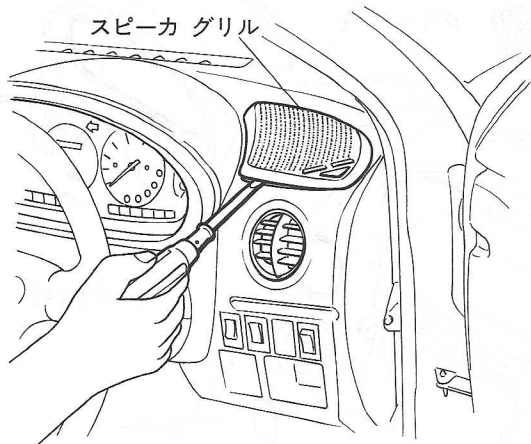


■ 整備要領

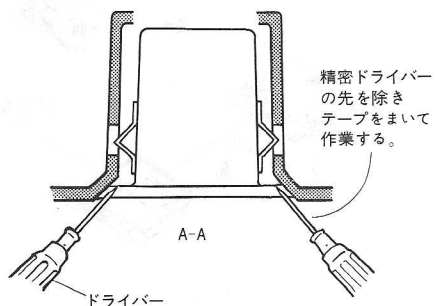
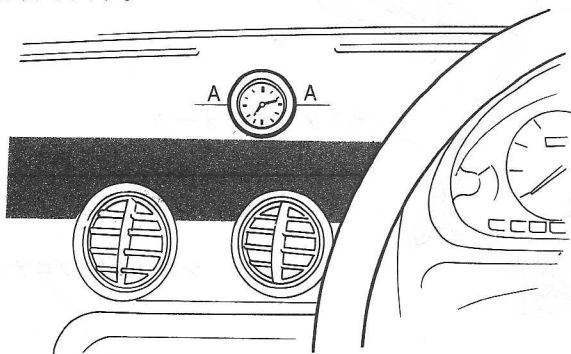
脱着

<取外し>

- (1) バッテリーの⊖端子を外す。
- (2) スピーカグリルを取外す。(左右)

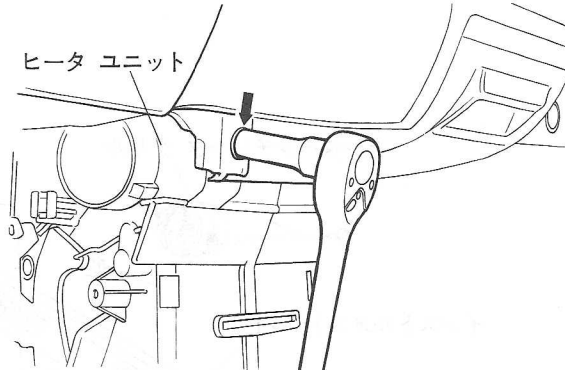


- (3) 時計の3時、9時の位置から精密ドライバーを入れ時計横に付いているバネをたわませながら時計を引き出す。

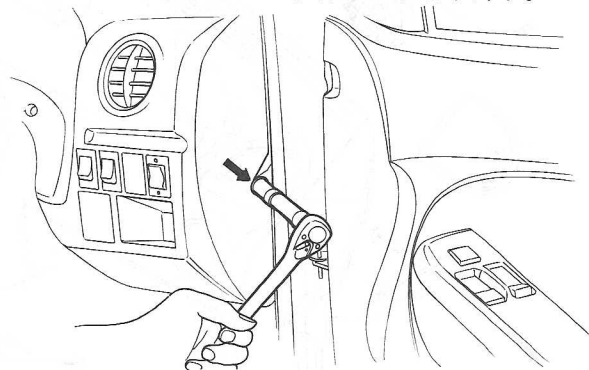


- (4) コネクタ、スピードメータケーブル、ヒータコントロールケーブル等を分離する。
- (5) ステアリングのユニバーサル ジョイントカバーを外す。(クリップ1個)
- (6) ステアリングコラムの取付ボルト(2箇所4本)を取外し、シャフトをフロアにおとす。

- (7) シガライタ・プロテクタの裏のヒータユニットとインパネの結合ボルト(2個)を取外す。



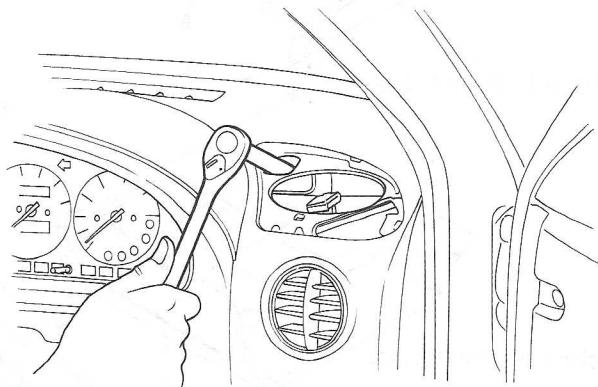
- (8) インパネ両サイドの取付ボルトを取外す。



- (9) スピーカグリルの奥と時計取付部の奥の各取付ボルトを取外し、インパネを取出す。

注意

- ・インパネ取出しの時、ボデー等に傷を付けぬよう注意する。



<取付け>

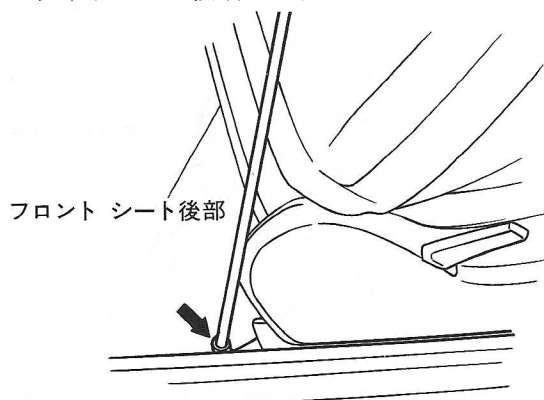
取外の逆順序に行う。

〔2〕 フロント シート ■ 整備要領

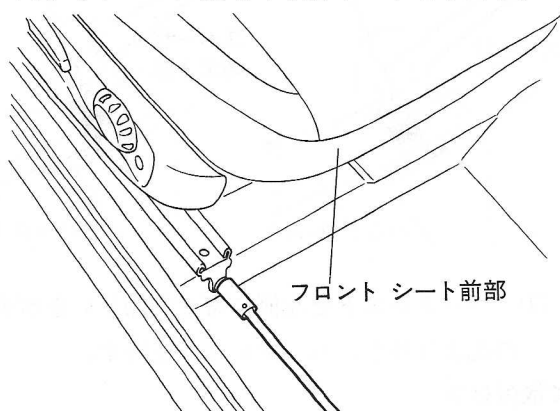
脱着

<取外し>

- (1) バックレストを前に倒し、シートを前方限度までスライドさせる。
- (2) スライドレール後端の取付ボルトを取外す。



- (3) シートを後方限度までスライドさせる。
- (4) スライドレール前端の取付ボルトを取外す。



- (5) シートを車外に出す。

注意

- ・シートを出し入れする際、ボデーに傷つけないよう注意する。

<取付け>

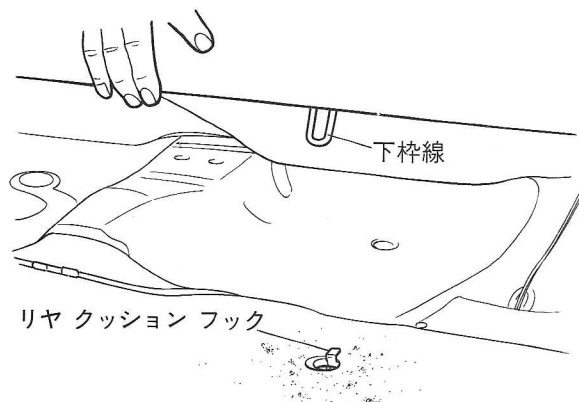
取外しの逆順序に行う。

[3] リア シート ■ 整備要領 (1) クッション (2) バックレスト (一体式)

脱着

<取外し>

- (1) リアクッションを上方に持ち上げ下枠線をフック (リアクッション) から外す。



- (2) シート中央部のシートベルトをシートの孔より抜き出す。
- (3) クッションを前方に移動させ、ボデーから後枠線を外し、クッションを取出す。

<取付け>

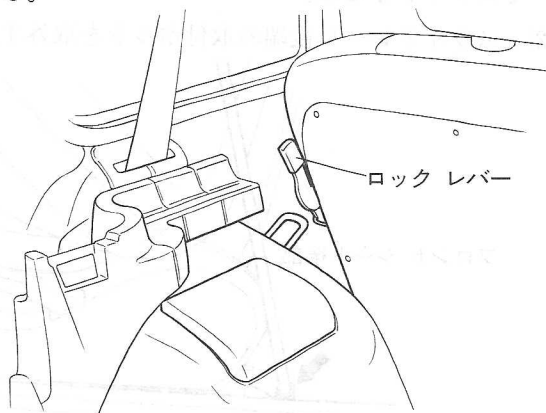
取外しの逆順序に行う。

注意

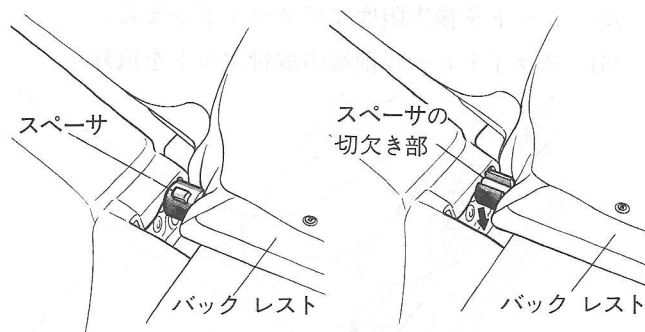
- ・シートベルトはねじれないよう注意する。
- ・取付完了後、クッション前方を持ち上げてみて、確実に固定されていることを確認する。

脱着

- (1) リヤマットを外す。
- (2) ロックレバーを外し、バックレストを前倒しする。



- (3) バックレストの左端下部ピンのスペーサを外す。

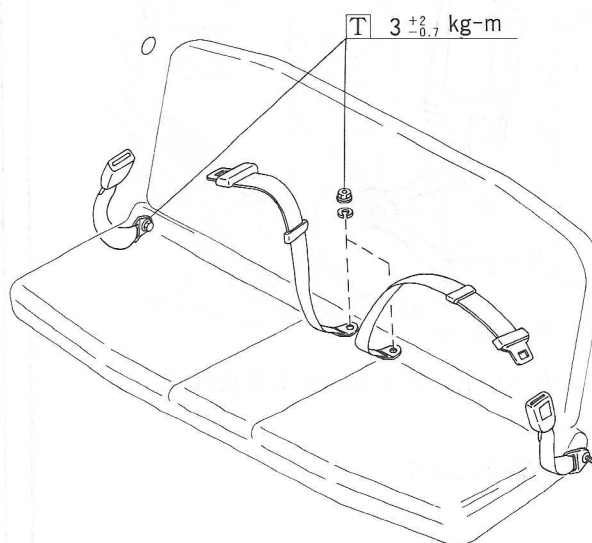
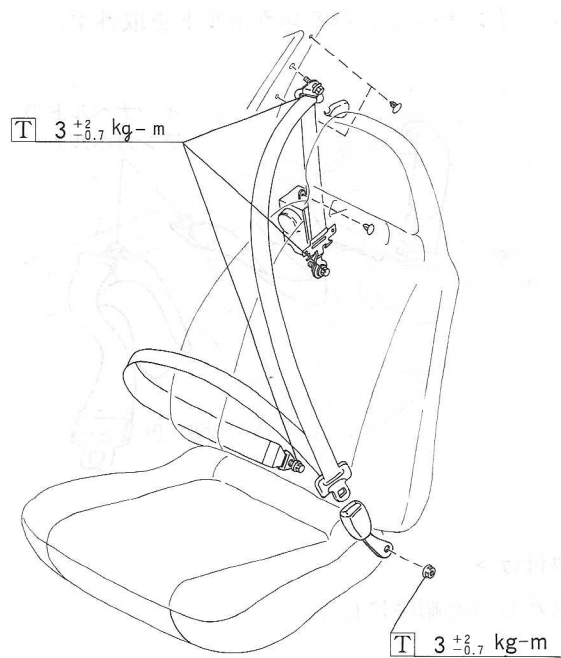
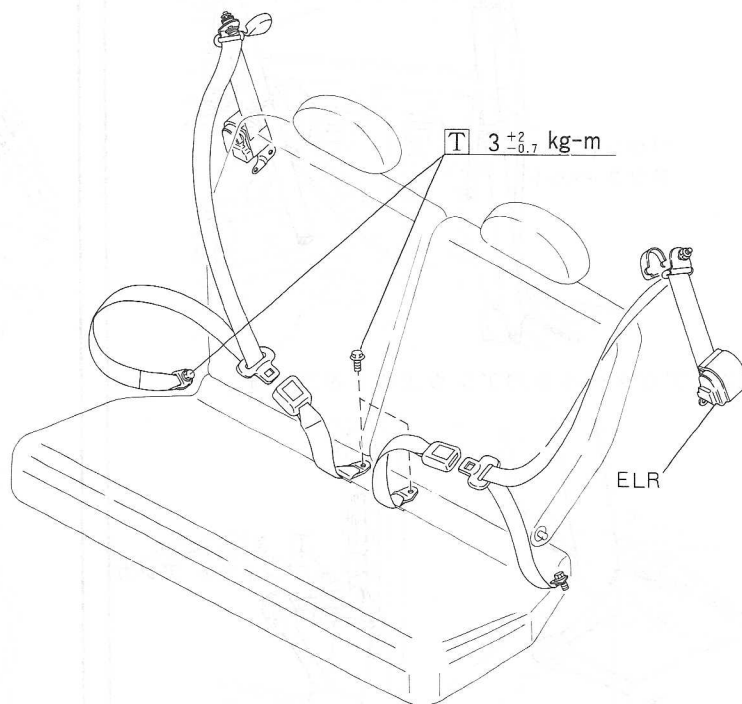
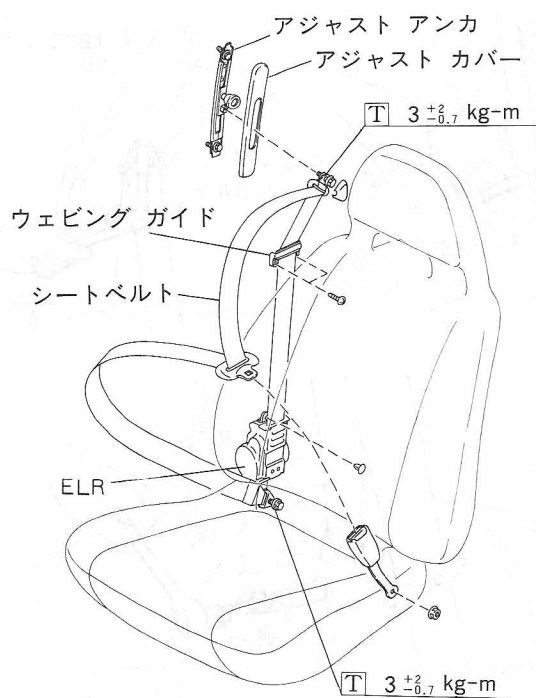


- (4) バックレストを左側に寄せ右側ピンをボデー側の孔より外し、バックレストを外す。

<取付け>

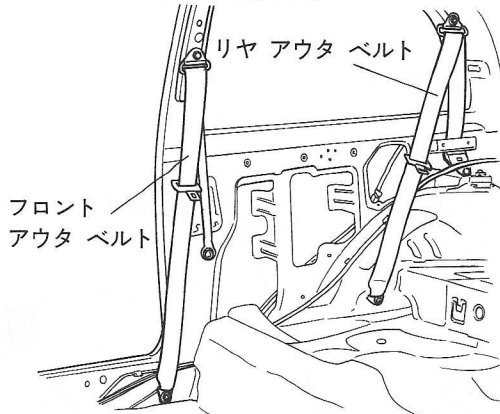
取外しの逆順序に行う。

〔 4 〕 シート ベルト ■ 構成部品

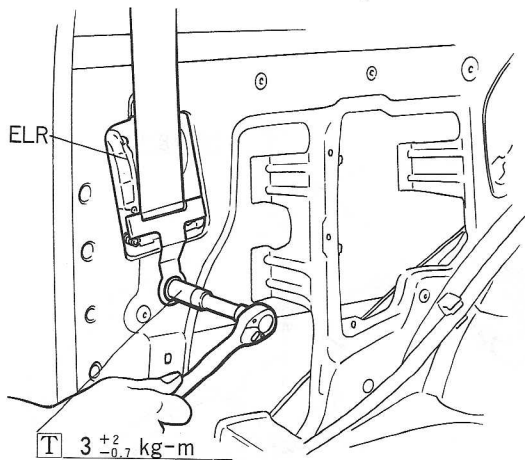
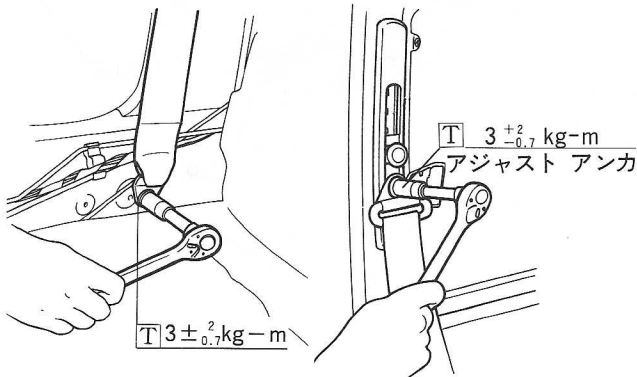


■ 整備要領 (1) フロント シートベルト
脱着

- (1) リヤクッション, リヤバックレストを外す。
- (2) リヤクォータトリムを外す。



- (3) アウタベルトのアンカボルトを取外す。



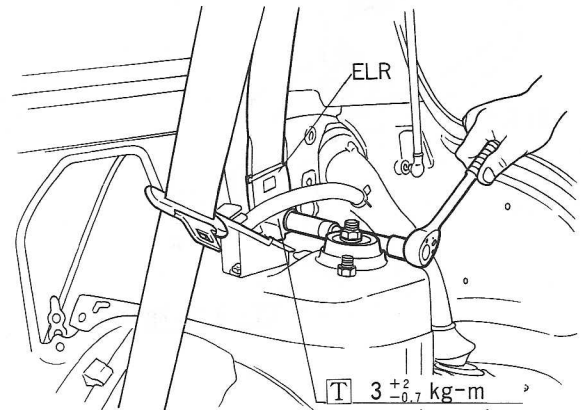
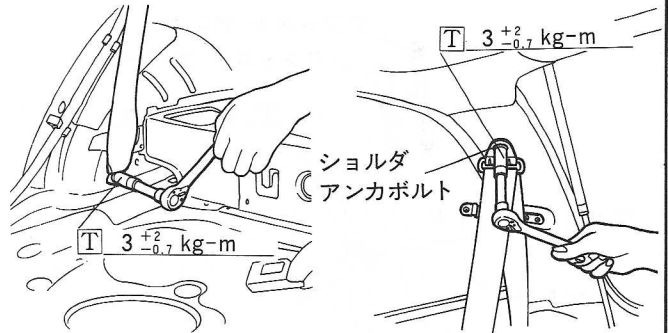
- (4) インナベルトのアンカボルトを取外す。

<取付け>

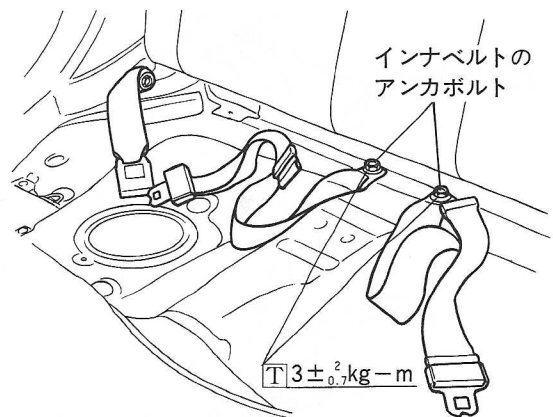
取外しの逆順序に行う。

(2) リヤ シートベルト
脱着

- (1) リヤクッション, リヤバックレストを外す。
- (2) リヤクォータトリムを外す。
- (3) アウタベルトのアンカボルトを取外す。



- (4) インナベルトのアンカボルトを取外す。



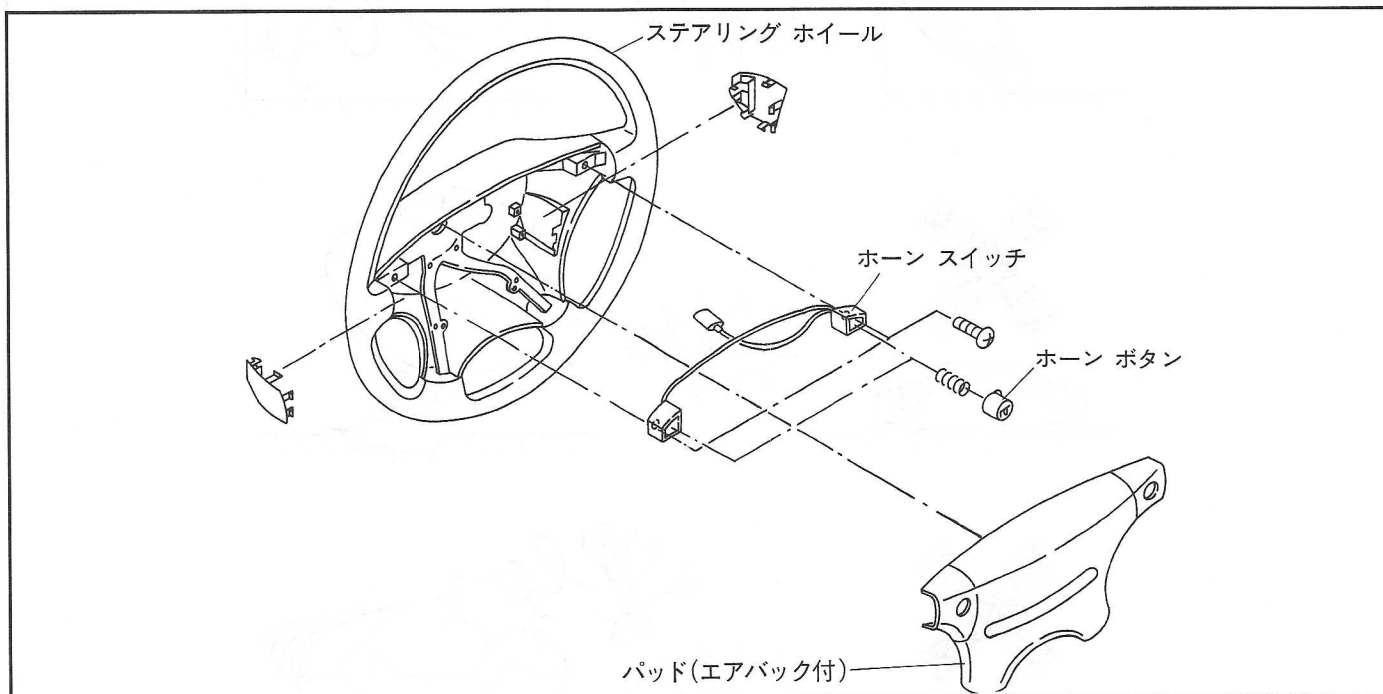
<取付け>

取外しの逆順序に行う。

[5] エアバッグ ■ 準備品

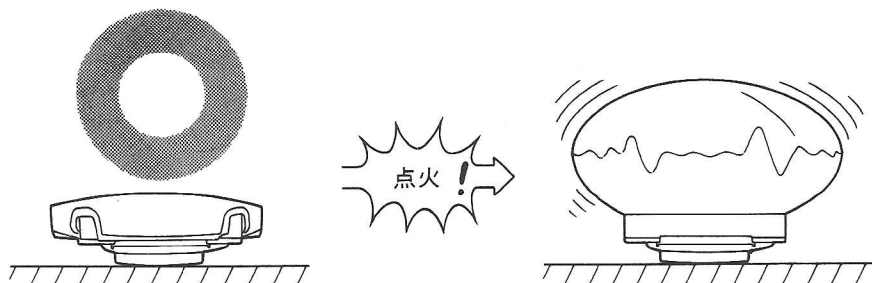
工 具	市 販 品	トルクス®ソケットレンチ(トルクス ビットT30)	ステアリングホイールパッド 脱着用
-----	-------	------------------------------	----------------------

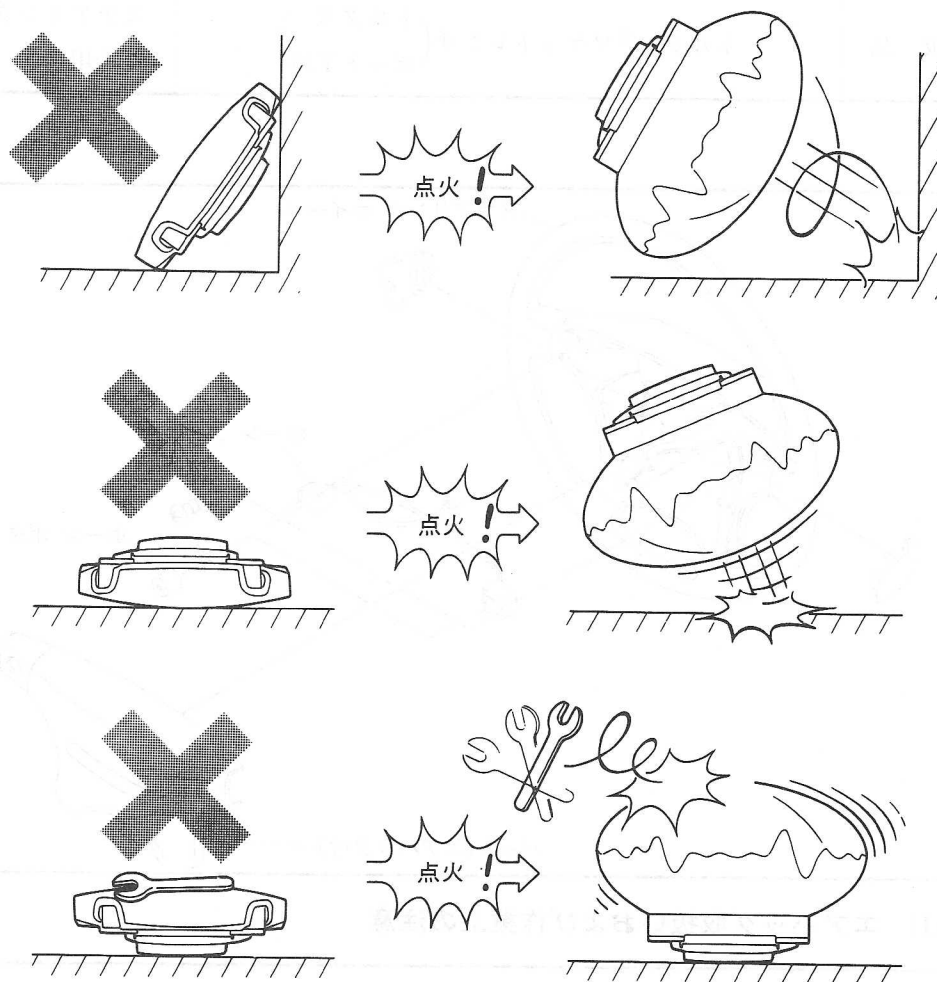
■ 構成部品



■ 整備要領 (1) エアバッグ取扱いおよび作業上の注意

- (1) ステアリングホイールパッドは、絶対に分解しない。
- (2) ステアリングホイールパッドは、衝撃を与えたり磁気を近づけたりしない。
- (3) ステアリングホイールパッドは、高熱や火気にさらさない。
- (4) ステアリングホイールパッドは、グリース、洗剤、オイル、水などが附着した場合は、すみやかにふき取る。
- (5) ステアリングホイールパッドを落下させないこと。また落下させたステアリングホイールパッドは、絶対に使用しない。
- (6) ステアリングホイールおよびパッドを、他の車両に絶対に使用しない。
- (7) 取外したステアリングホイールパッドを保管する時は、パッド面を上にしておくこと。壁に立てかけたり、パッド面に物を置いたり、あるいはステアリングホイールパッドの機能を害するような危険の発生するような恐れのある状態に置いてはならない。





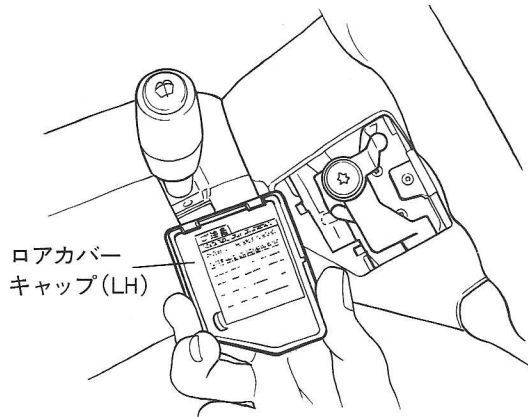
- (8) 車両に大きな衝撃が加わる作業を行う場合は、エアバッグの誤作動を防止するため、ロック解除ボルトを空転するまでゆるめ、エアバッグセンサをロックさせてから作業を行う。
- (9) エアバッグが未展開の軽衝突時でも、必ずステアリングホイールパッドのパッド上面およびエアバッグセンサ部を点検し、へこみ、割れ、変形などが見られる場合は、新品と交換する。(ステアリングホイールパッド点検の項参照)
- (10) 車両またはステアリングホイールパッドを廃却する場合は、必ずエアバッグを展開させる。(ステアリングホイールパッドの廃却の項参照)
- (11) エアバッグが展開した直後のステアリングホイールパッドは高温になっているため、展開後30分放置してから廃却を行う。水などを絶対にかけない。(水をかけると化学反応を起し、可性セーダを生成する)

(2) ステアリング ホイールパッド

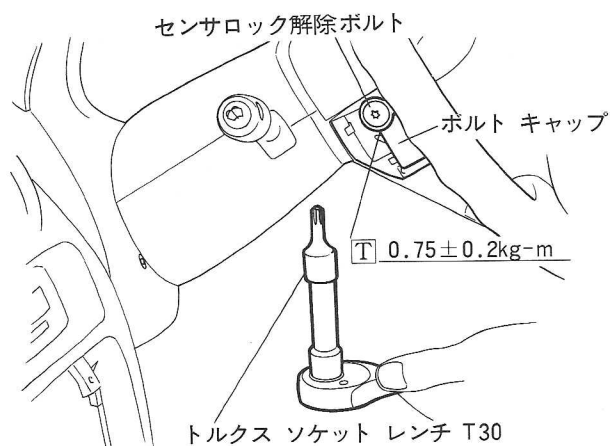
脱着

<取外し>

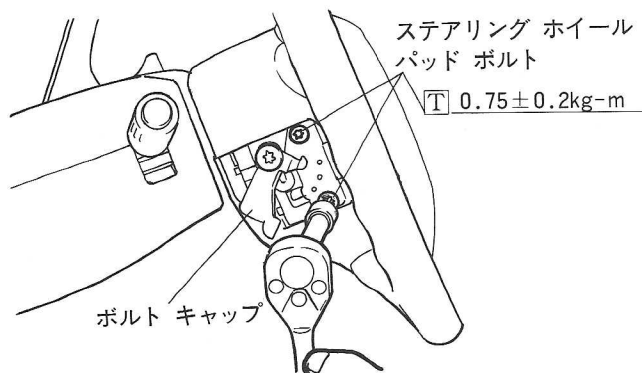
- (1) キャップロアカバー-LH, RHを外す。



- (2) トルクスソケットレンチT30を使用して、センサロック解除ボルトを空転するまでゆるめ、ボルトキャップをずらす。



- (3) トルクスソケットレンチT30を使用して、ステアリングホイールパッドボルト（4個）を取外し、パッドを手前に引き出し取外す。



注意

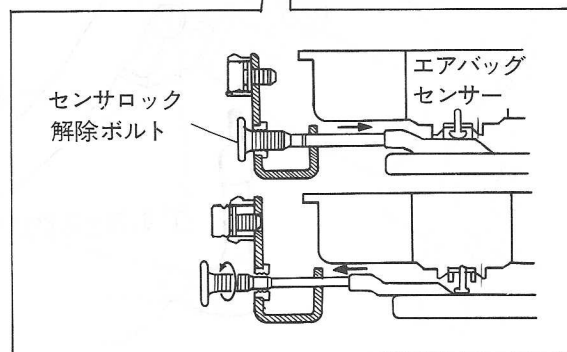
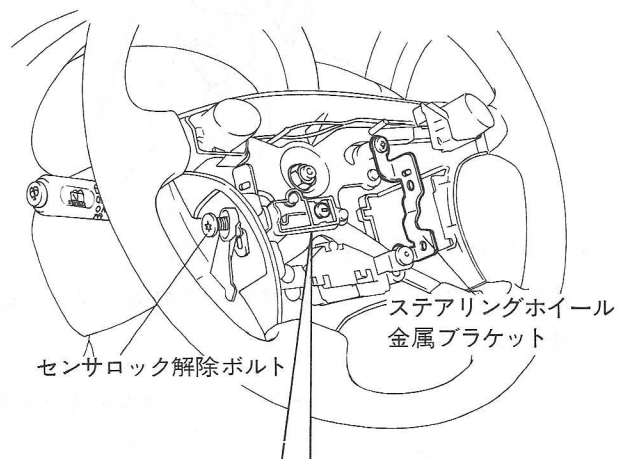
- ・ステアリングホイールパッドは、必ず平坦な安定した場所に保管する。また、パッド面を上にして置き、絶対に物を上に置かない。

<点検>

注意

パッドの分解は絶対に行わない。

- (1) パッド面、エアバッグセンサおよびインフレーターにへこみ、割れ、変形が見られる場合パッドを新品と交換する。
- (2) パッドを落下した場合パッドを新品と交換する。
- (3) ステアリングホイール金属ブラケット部が変形している場合は、ステアリングホイールを新品と交換する。



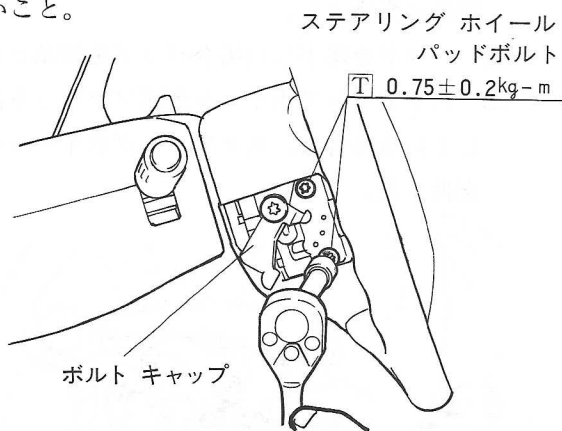
- (4) センサロック解除ボルトをいっぱいまで締め込んだとき、解除ボルトが突き出し、空転するまでゆるめるとき、ボルトが引っ込むことを点検する。またボルトがスムーズに動くことも点検する。
- (5) 新品のパッドが容易に取り付かない場合は、ステアリングホイールを新品と交換する。

<取付け>

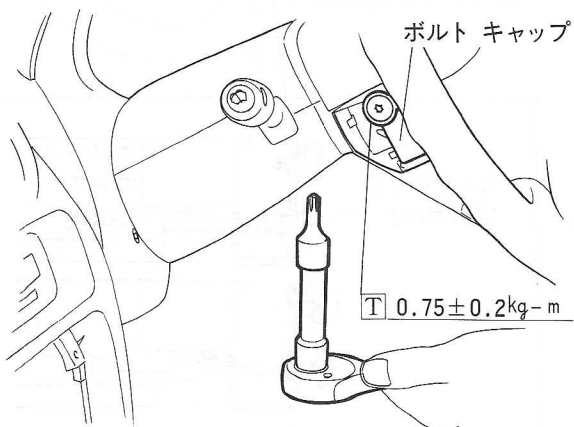
- (1) 作業前、センサロック解除ボルトが空転するまでゆるんでいることを確認する。
- (2) ステアリングホイールパッドをステアリングホイールにセットし、トルクスソケットレンチT30を使用して、ステアリングホイールパッドボルト（4個）を締付ける。

注意

- ・ ホーンボタン用ワイヤハーネスをかみ込ませないこと。



- (3) ボルトキャップをステアリングホイールパッドボルトにカバーしてセンサロック解除ボルトを締付ける。



- (4) キャップロアカバーLH, RHを取付ける。

注意

- ・ カバーが確実に取付いていることを確認する。

(3) ステアリング ホイールパッドの廃却

エアバッグの装備された車両を廃車したり、ステアリングホイールパッドを廃却する場合は、必ずステアリングホイールパッド単体で、下記に示す手順に従って、エアバッグを作動させた後、廃却すること。

もし誤作動した場合、非常に危険なため、絶対に未作動の状態、ステアリングホイールパッドを廃却しないこと。

注意

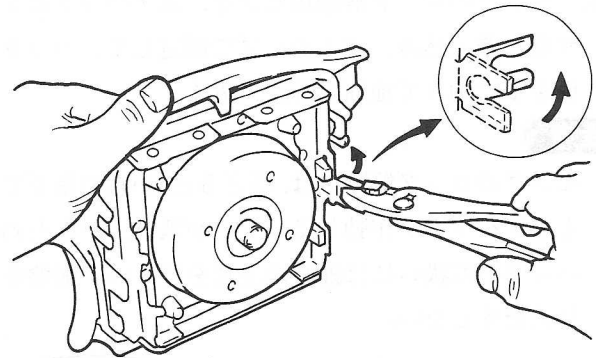
- ・廃却は安全を確保できる平らなコンクリートの上で屋外で行う。
- ・エアバッグセンサのロック解除後は、慎重にステアリングホイールを取扱う。(衝撃をあたえない)
- ・エアバッグを展開させる場合は、必ず5m以上離れる。
- ・ステアリングホイールパッドを置く場合は、必ずパッド面を上にして置く。
- ・エアバッグが展開したステアリングホイールパッドは高温になっているため、展開後30分は大気冷却しておく。絶対に水などかけないこと。
- ・エアバッグが展開したステアリングホイールパッドを取り扱う場合は、保護メガネおよび手袋を着用し、作業終了後は手を洗うこと。
- ・エアバッグが展開したステアリングホイールパッドは、ビニール袋に入れて密封し、廃却する。

<ステアリングホイールパッドの廃却作業>

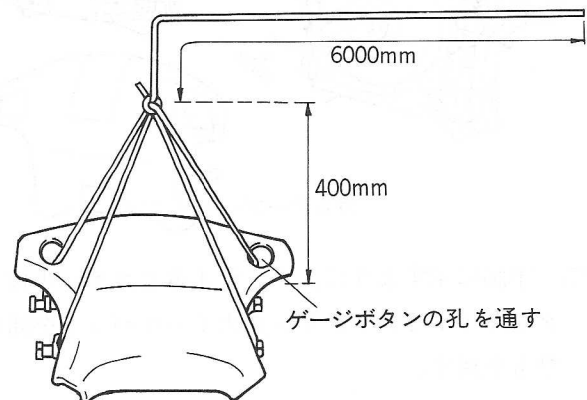
- (1) ステアリングホイールパッドの取外し
前項参照
- (2) ステアリングホイールパッド裏面のブラケットを90°折り曲げる。
- (3) ステアリングホイールパッドの取付穴4個に、ボルトを約10mm締め込む。

ボルトの寸法

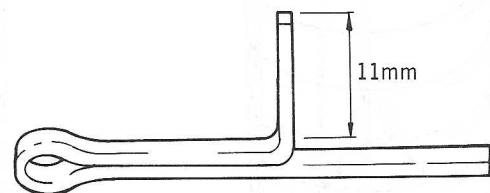
呼び径	6.0mm
首下長さ	35mm以上
ピッチ	1.0mm



- (4) ステアリングホイールパッドが水平につるせるようにひもを結ぶ。



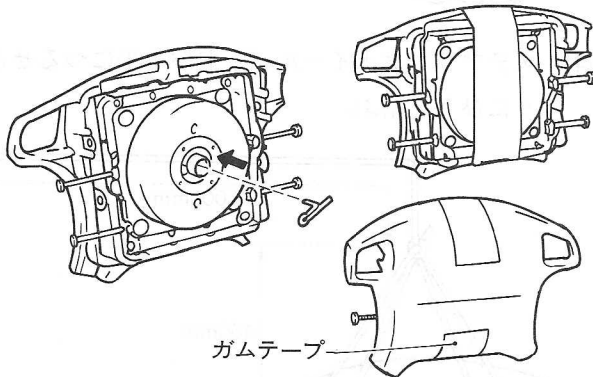
- (5) コッタピンを使用して、エアバッグセンサのロック解除用ピンを作成する。



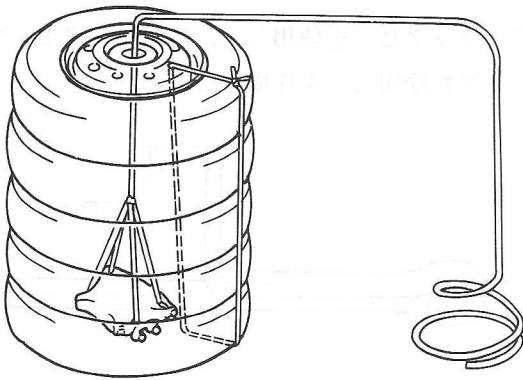
- (6) センサのロック解除用ピンを、エアバッグセンサ部に差し込み、ガムテープで固定して、パッド面を上に向けて地面に静かに置く。

注意

センサのロック解除後は、高さ5 cmからの落下でもエアバックが作動してパッドが飛び上がるため、パッドの取扱いには細心の注意をはらい、衝撃を与えたりしない。



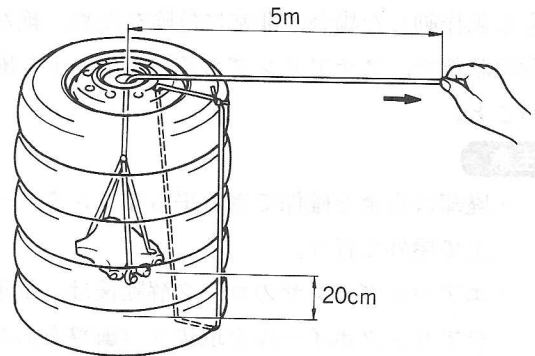
- (7) 下図に示すように、タイヤ4本とホイール付きタイヤ1本でステアリングホイールパッドを囲いひもを通す。



- (8) ステアリングホイールパッドから5 m以上離れ、パッドを20cm程度引き上げる。

注意

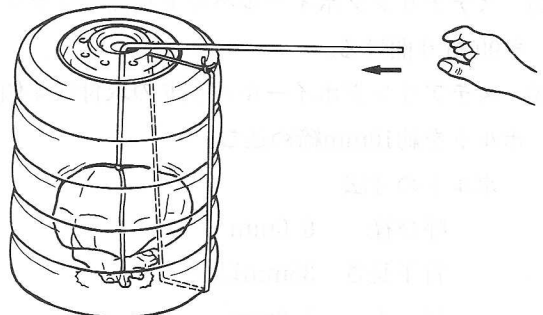
引き上げ前に再度周辺の安全を確認する。



- (9) ひもを離し、ステアリングホイールパッドに落下の衝撃を与え展開させる。

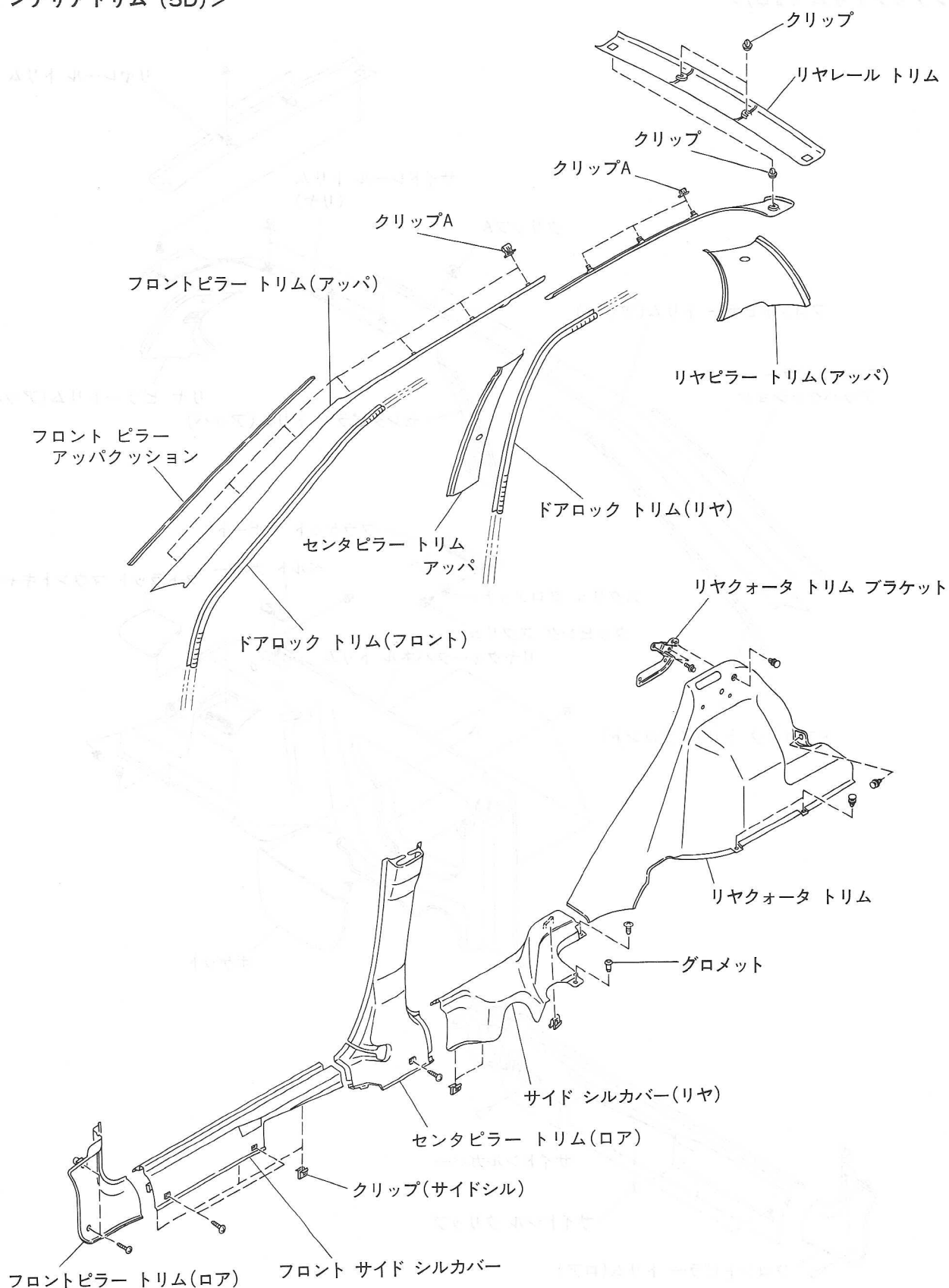
注意

- ・展開前に必ず大きな声で周囲に注意を呼びかける。
- ・展開したステアリングホイールパッド内インフレーターは高温になっているため、展開後30分は大気冷却しておく。水など絶対にかけない。(水をかけると、化学反応を起し可性ソーダを生成する)
- ・センサのロック解除が不十分な場合や、パッドが水平につられていない場合は、エアバッグが展開しない場合がある。そのような場合は、パッドへの衝撃を避け、再度作業を最初からやり直す。
- ・展開したパッドは、ビニール袋に入れ、密封して廃却する。

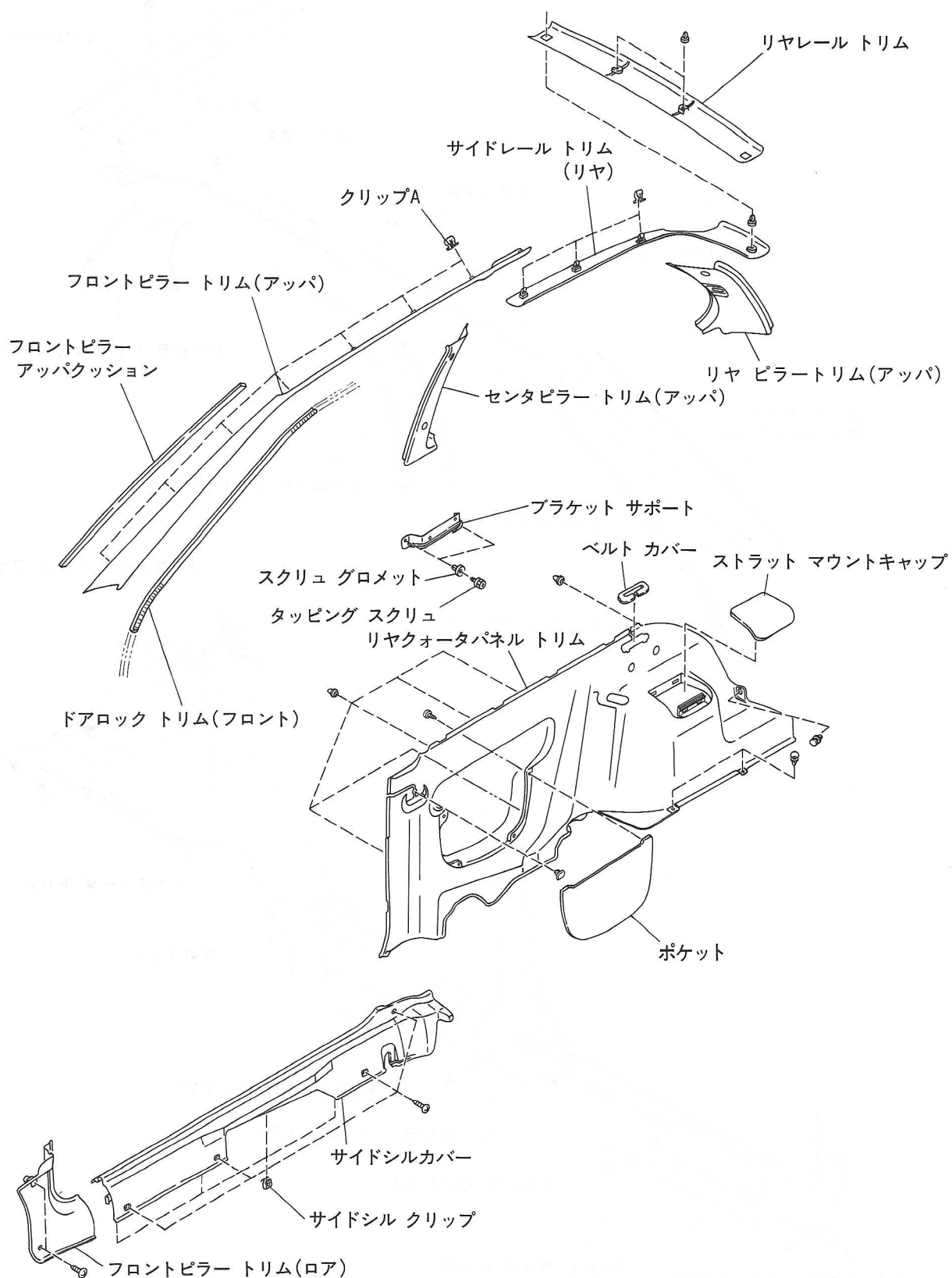


[6] トリム類 ■ 構成部品

<インテリアトリム (5D)>



<インテリアトリム (3D)>

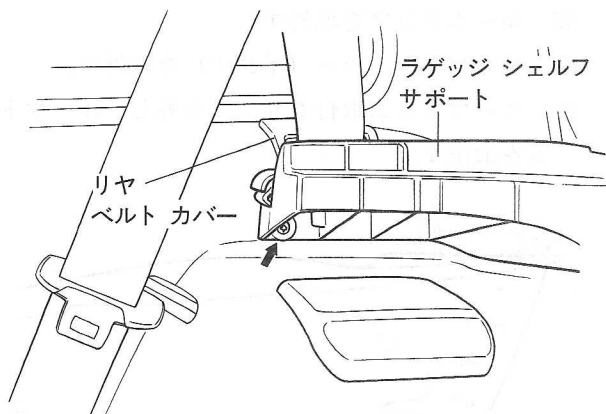


■ 整備要額 (1) リヤ クォータ トリム

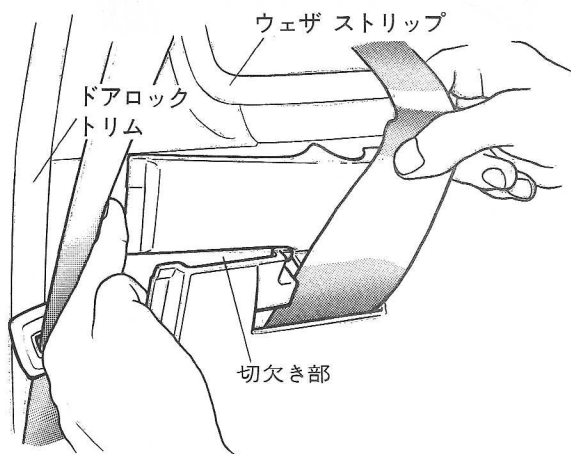
● 3 ドア車

<取外し>

- (1) リヤシートクッションおよびバックレストを取外す。
- (2) ラゲッジシェルフサポートを取外す。
- (3) 後席3点式シートベルト付は、カバーを外し、切り欠き部をひろげて外す。



- (4) シートベルト切欠き部のクリップを外してから、ひろげて取外す。(3ドア車)



- (5) ウェザストリップを外す。(3ドアセダンのみ)
- (6) サイドシルカバーの後方のスクリュを外し、ドアロックトリムを取外す。(3ドア全車)
- (7) クリップを外し、リヤクォータトリムを取外す。

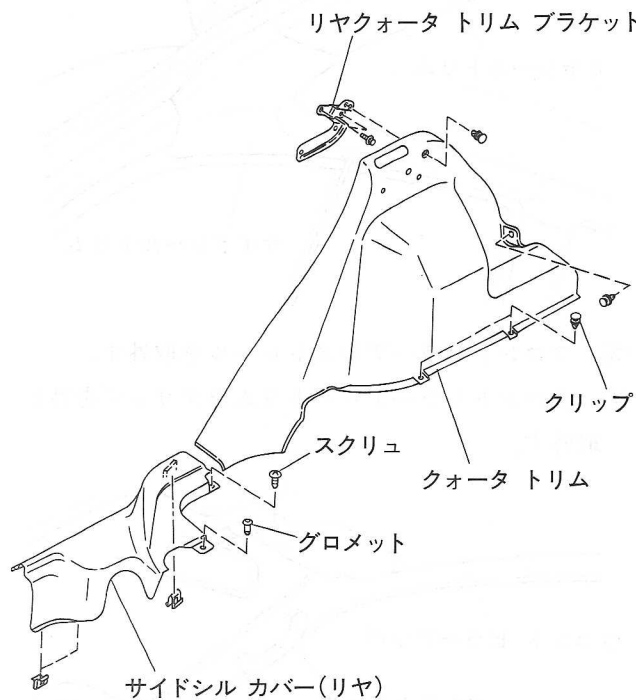
<取付け>

取外しの逆順序に行う。

● 5 ドア車

<取外し>

- (1)~(3) 3ドア車に同じ。
- (4) サイドシルリヤカバーの後方のスクリュを外す。
- (5) クリップを外し、トリムを取外す。



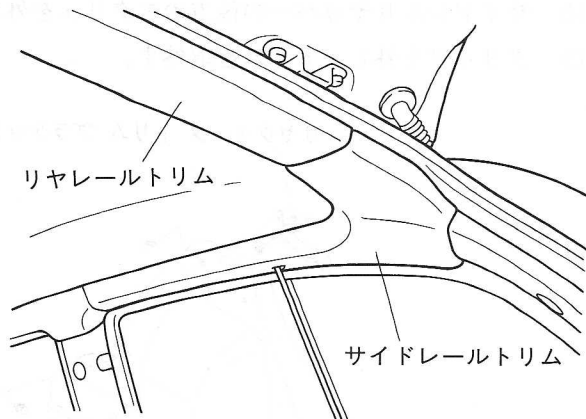
<取付け>

取外しの逆順序に行う。

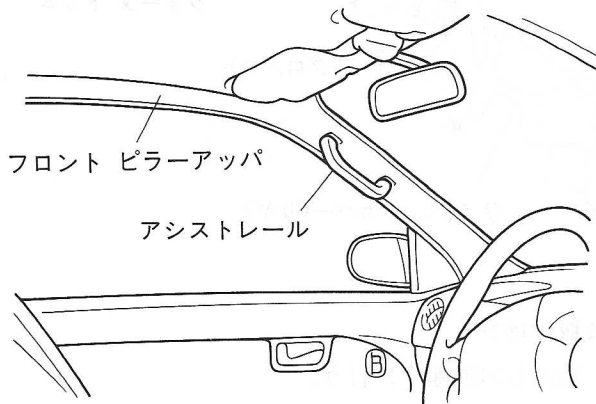
(2) ピラー トリム

<取外し>

- (1) サイドレールトリムをクリップを外し取外す。
- (2) リヤレールトリムをクリップを外し、取外す。



- (3) フロントピラーアシストレールを取外す。
- (4) フロントピラーアップパトリムをクリップを外し取外す。



<取付け>

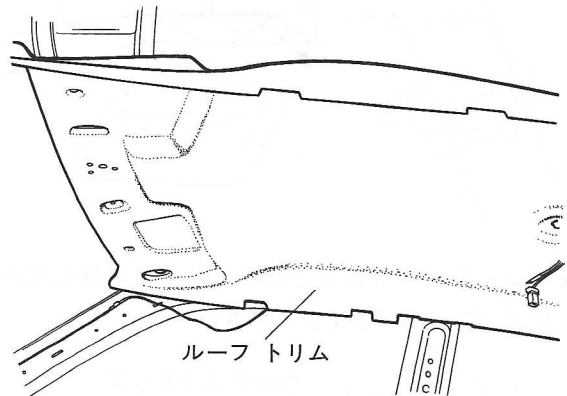
取外しの逆順序に行う。

(3) ルーフ トリム

脱着

<取外し>

- (1) バッテリーの⊖端子を外す。
- (2) トリムレール (サイド), トリム (フロントピラーアップパ) およびトリム (リヤレール) を外す。
- (3) アシストレール (リヤ) を取外す。
- (4) サンバイザおよびフック (サンバイザ) を取外す。
- (5) ルームランプを取外す。
- (6) リヤビューミラー (インナ) を取外す。
- (7) ルーフトリム取付クリップを外し、ルーフトリムを取出す。

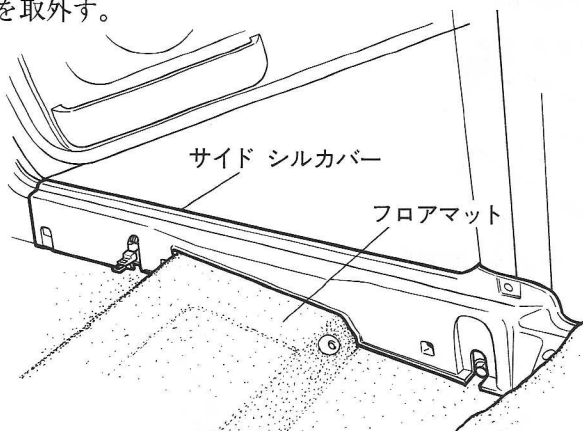


[7] フロアマット ■ 整備要領

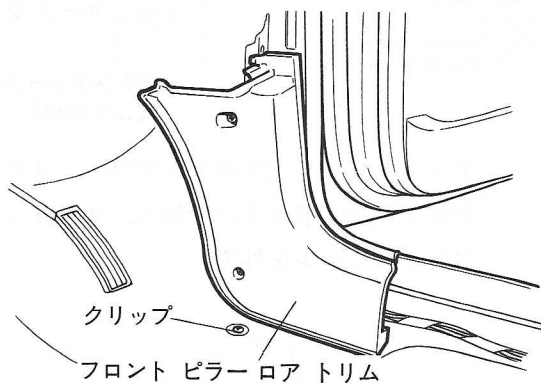
脱着

<取外し>

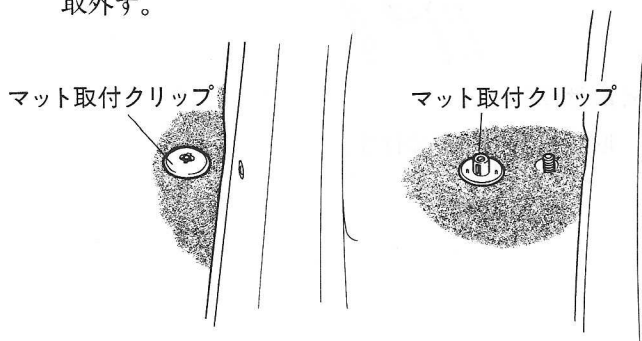
- (1) フロントシートを取外す。
- (2) サイドシルカバーを取外す。5ドア車はトリアム (セントピラーロア), カバー (サイドシルリア) を取外す。



- (3) フロントピラーロアトリアムを取外す。



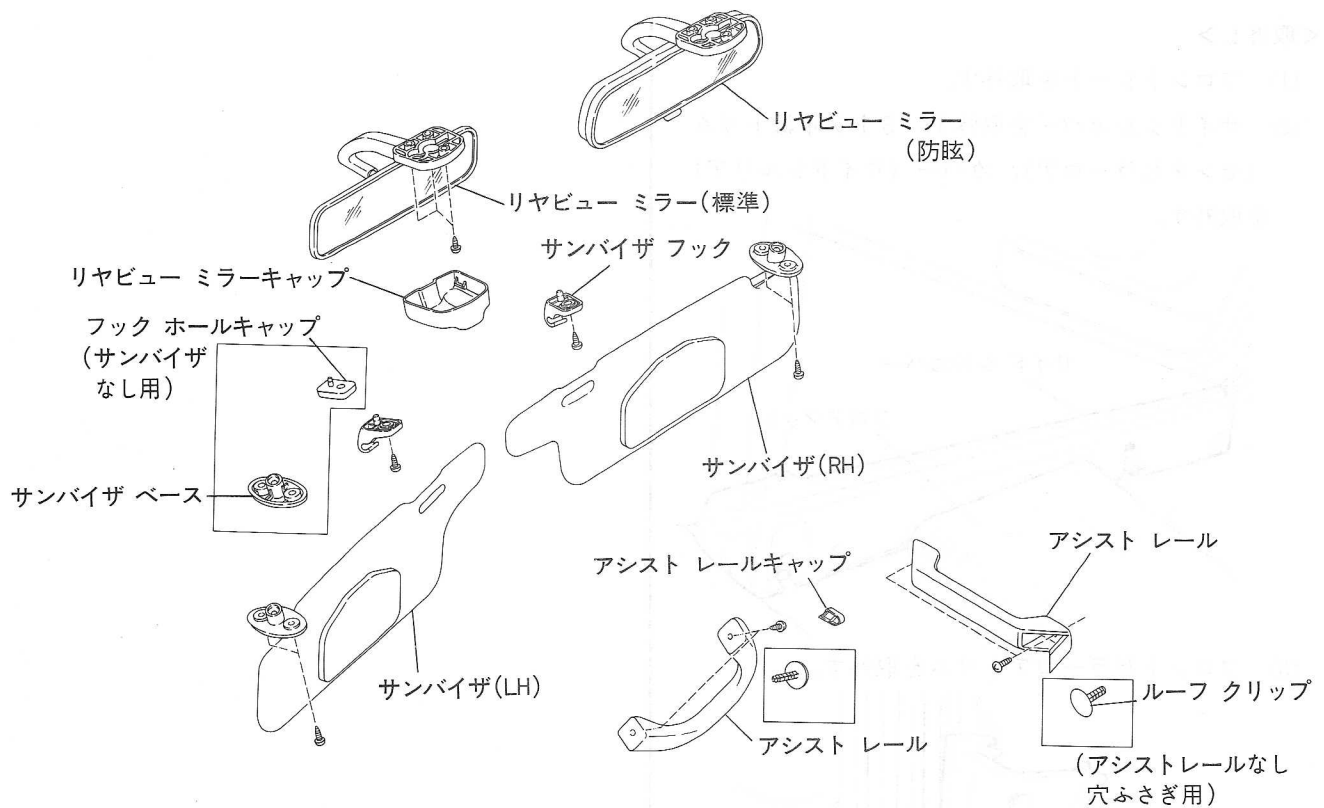
- (4) コンソールボックスを取外す。
- (5) フットレストを取外す。(一部のみ)
- (6) フロアマットの取付クリップを外し, マットを取外す。



<取付け>

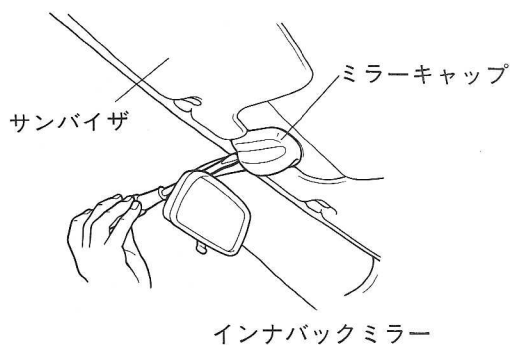
取外しの逆順序に行う。

[8] インテリア アタッチメント ■ 整備要領



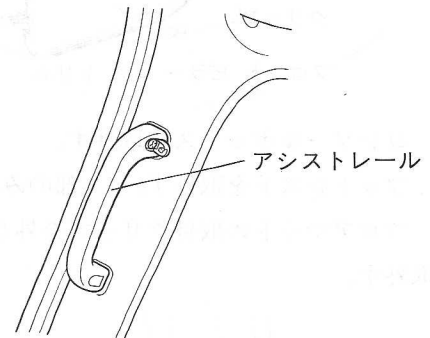
<取外し>

- (1) リヤビューミラーキャップ
キャップ前方の切り欠き部に⊖ドライバを差し込み横に回して取外す。



- (2) 各部品の取付スクリュを外し、各部品を取外す。

- (3) アシストレール (フロントピラー, リヤ)
キャップを⊖ドライバで外し、スクリュを取外しアシストレールを外す。



<取付け>

取外しの逆順序に行う。